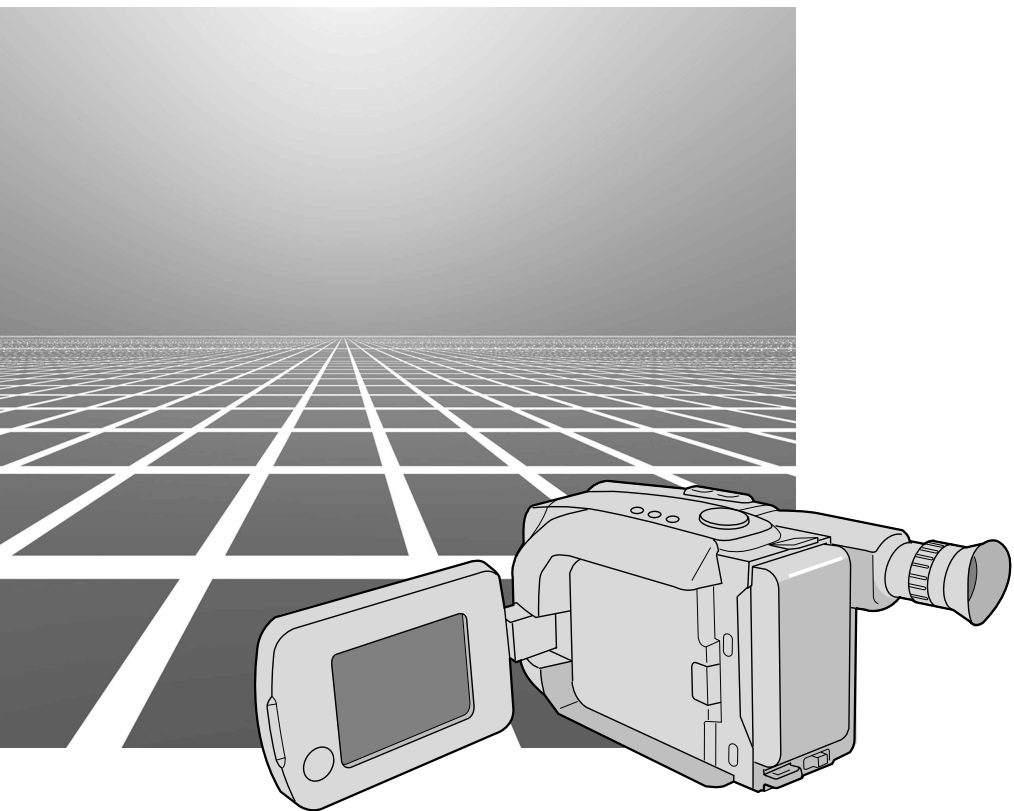


VHSビデオムービー/デジタルスチルカメラ

型名 GR-AXM700



はじめに

準備

撮影(基本)

撮影(応用)

再生

接続
編集

その他

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかを、お確かめください。

DSC
DIGITAL
STILL CAMERA

VHS

LYT0250-001A

ご使用の前に

大切な録画の前に

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、ビデオムービーおよびテープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合の、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機はVHS方式のビデオムービーです。**VHS**(**SVHS**)マークの付いたコンパクトビデオテープをご使用ください。

リサイクルについて



Ni-Cd

この製品に使用する電源にはニカド電池があります。
ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換や廃棄の際はリサイクルにご協力ください。

- 電池の電極間ショート(短絡)防止のため、リサイクルに出す時には絶縁テープで電極をふさいでください。

著作権について

あなたがビデオムービーで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。)

本文中の記号の見方



操作上の注意などが書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。



知っているとちょっと便利な内容が書かれています。



キーポイントやテクニックをまとめて説明しています。



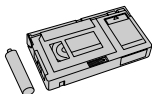
参照ページや参照項目を示しています。

付属品について

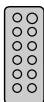
本機の付属品をお確かめください。



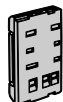
ACパワーアダプター
AA-V15



カセットアダプター
C-P6
(単三乾電池 付属)



リモコン
RM-V705



バッテリー
BN-V12



ボタン電池
CR2025
(リモコン動作確認用
です。本体には内蔵
されています。)



ノイズフィルター
(2個)
(別紙「ノイズフィル
ターの取り付け方」
参照)



ショルダーストラップ



映像 / 音声コード
長さ: 約1.5m



DCコード
長さ: 約2m



パソコン接続ケーブル
(Windows®用)



CD-ROM
(Windows®用のソフトが
入っています。)

もくじ

いますぐ撮影したい

●ビデオテープにいますぐ撮影したい

4

●デジタルスチルカメラでいますぐ撮影したい

6

安全上のご注意

8

使用上のご注意

18

各部のなまえ

22

液晶画面とファインダー内の表示

24

準備する

●バッテリーを充電する

26

●バッテリーを取り付ける

27

●室内で電源を使うとき

28

●車内で電源を使うとき

28

●グリップバンドを調節する

29

●ショルダーストラップの取付け

29

●画面の明るさ調節する

30

●スピーカーの音量を調節する

30

●ファインダーを調節する

31

●三脚の取付け

31

●録画モードを選ぶ

32

●テープの長さを選ぶ

32

●テープを入れる

33

撮影する（基本編）

●テープに撮影する

34

●D.S.C. 機能を使って撮影する

36

●テープに静止画を撮る

38

●オートを使う

40

●対面撮影をする

30

●ズームを使う

41

●クイックレビュー

42

●リテイク

42

●ビデオライト

43

●手ぶれ補正

43

●日時を入れて撮る

44

●撮影の基本

46

撮影する（応用編）

●シネマ効果をつける

47

●映像に変化をつける（場面切替）

48

●感度をあげる（感度アップ）

50

●タイトルを入れて撮る

51

●自分だけのタイトルを作る

52

●映像に変化をつける（演出 / 効果）

54

●ピントを合わせる

56

●白バランスを調節する

58

●白バランスを記憶する

59

●明るさを調節する

60

●メニューを使って機能設定をする

61

●セルフタイマー撮影をする

64

●アニメ撮影をする

66

●タイムラプス撮影をする

68

再生する

●テープを再生する

70

●トラッキングの調節

71

●静止画再生

71

●高速再生

71

●カウンターメモリ

71

●カセットアダプターを使う

72

D.S.C.（デジタルスチルカメラ）再生

●D.S.C. を再生する

73

●再生メニューの詳細設定

74

●インデックス画面

76

●スライドショー

77

●プロテクト（削除防止）をかける

78

●画像を削除する

80

接続と編集

●テレビにつないで見る

82

●ビデオデッキにつないで見る

83

●ダビングする

83

●パソコンにつないで見る

84

●リモコン

86

●DSC からテープへのインサート

88

●映像を入れかえる（インサート編集）

90

●音声を入れかえる（アフレコ編集）

92

●ビデオを自動で編集する

94

その他

●海外でお使いになるには

100

●ボタン電池（時計用）を入れかえる

101

●日時を合わせる

102

●故障かな？と思ったら

104

●主な仕様

110

●保証とアフターサービス

111

●サービス窓口案内

112

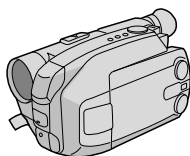
●索引

114

ビデオテープに いまずぐ撮影したい

 は参照ページです。

必要なもの



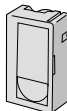
本体



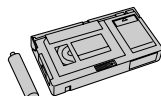
ACパワーアダプター
AA-V15



DCコード

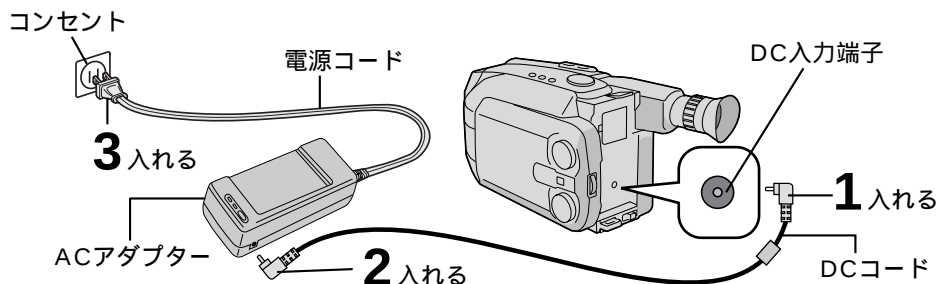


VHS(S-VHS)
マーク付き
コンパクトビデオ
テープ(別売)

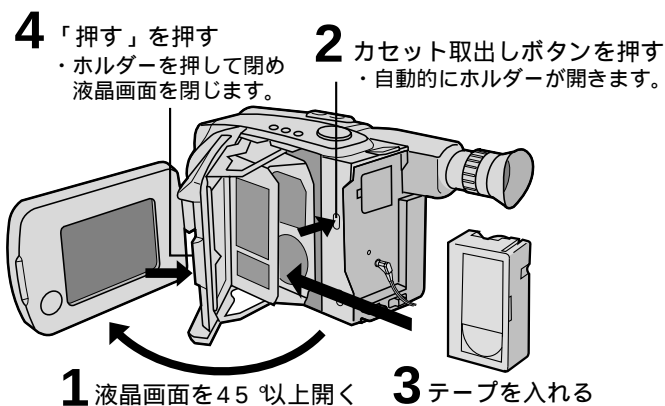


カセットアダプター
C-P6

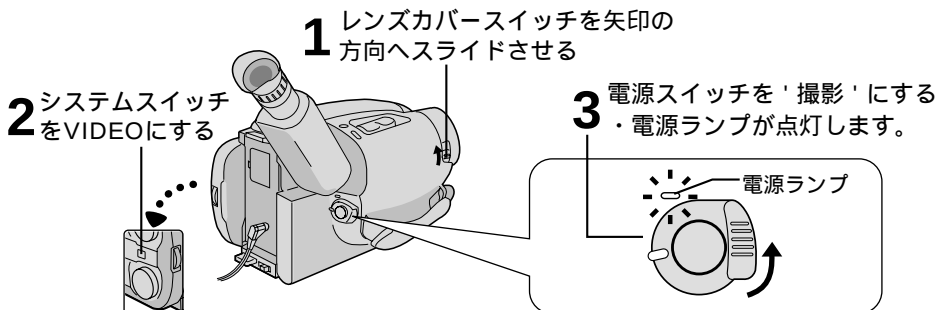
1 電源をつなぐ (28 ページ)



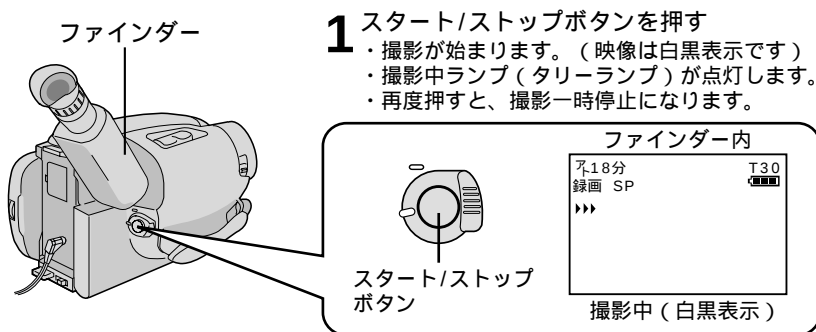
2 テープを入れる (33 ページ)



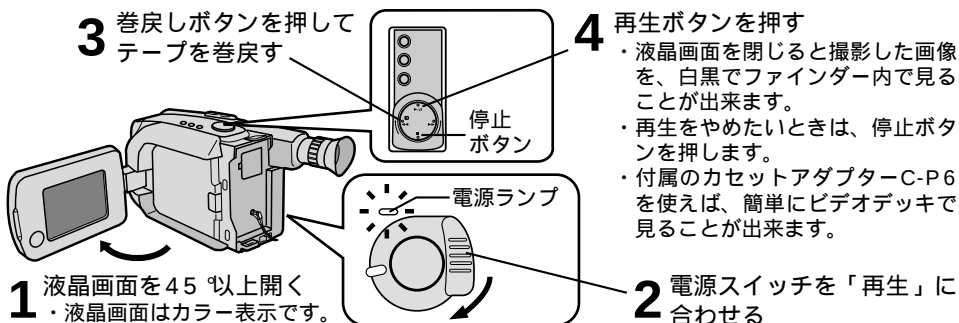
3 電源を入れる (☞32 ページ)



4 撮る (☞34 ページ)



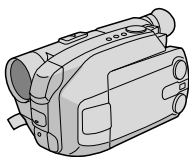
5 再生する (☞70 ページ)



デジタルスチルカメラで いますぐ撮影したい

 は参照ページです。

必要なもの



本体

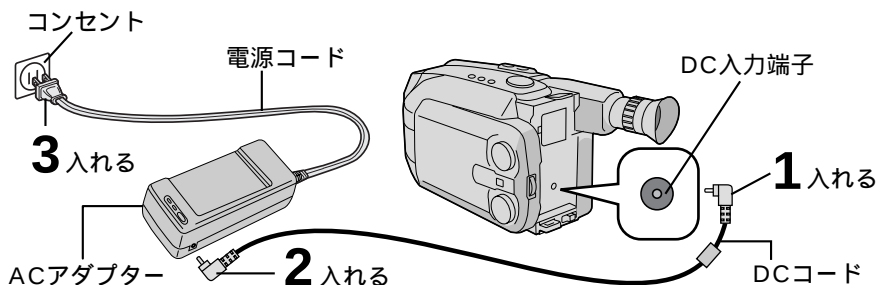


ACパワーアダプター
AA-V15

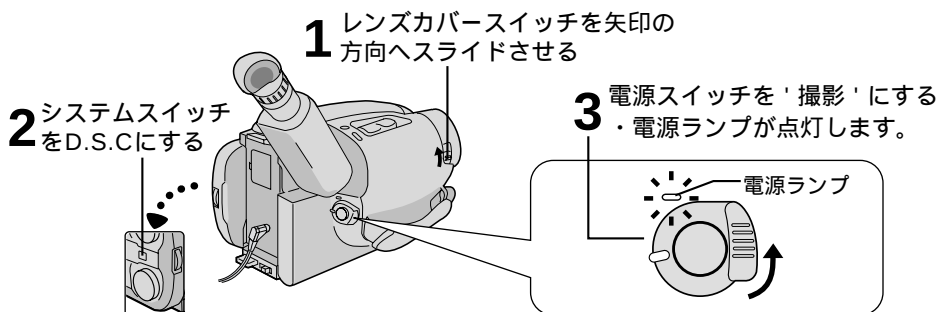


DCコード

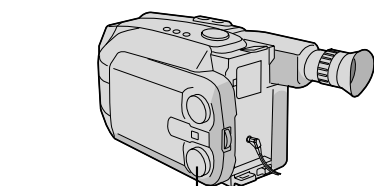
1 電源をつなぐ (28 ページ)



2 電源を入れる (32 ページ)

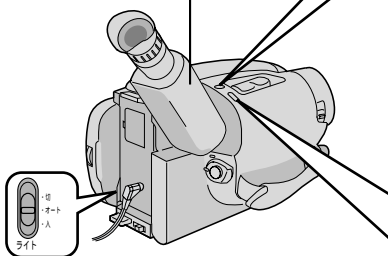


3 撮る (☞ 36 ページ)

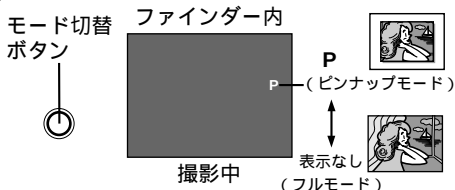


シーンダイヤル：スタンダード

ファインダー



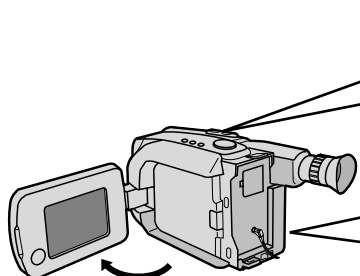
- 1** モード切替ボタンを押す
- ・シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
 - ・モード切替ボタンを押すたびに
ピンナップモード ↔ フルモード
が交互に切り替わります。



- 2** 記念写真ボタンを押す
- ・画像が内蔵メモリーに記録されます。
 - ・ライトスイッチが“オート”のときは、暗いと自動的にランプが点灯します。



4 再生する (☞ 73 ページ)



- 1** 液晶画面を45°以上開く

ズームボタン

戻し — (ページ) — 送り



電源ランプ



- 3** ズームボタンを押して撮影した写真を表示させます。

- ・Tを押すと 次の画像を表示します。
- ・Wを押すと 前の画像を表示します。

- 2** 電源スイッチを「再生」に合わせる

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

- 注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



手のはさまれる

- してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



接触禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

- 必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号



一般的指示



プラグをコンセントから抜く

警告

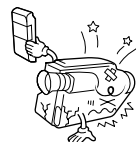
■ 煙が出たり、へんな臭いがするときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



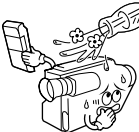
■ 落としたり、壊れたときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



■ 内部に水や異物が入ったときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



■ 電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因になります。



■ 持ち運ぶときには、ファインダーを持たない

- ・ファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、けがの原因となります。



■ 不安定な場所に置かない

- ・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
- ・落ちたり、倒れたりして、ムービーの故障やけがの原因となります。



■ 指定の電源電圧以外で使用しない

- ・火災や感電の原因となります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告

■ 電源コードを傷つけない

- ・ 火災や感電の原因となります。
- ・ 次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける



■ 内部に物を入れない

- ・ カセットの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを
入れないでください。
- ・ 火災や感電の原因となります。
- ・ 特にお子様にご注意ください。



■ 内部の部品に触らない

- ・ カセットの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
- ・ 感電や故障の原因となります。



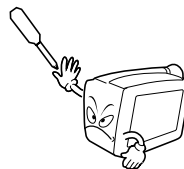
■ 機器を接続するときは、電源を切る

- ・ 電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。



■ 分解や改造はしない

- ・ 火災や感電の原因となります。
- ・ お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。
絶対おやめください。
- ・ 内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



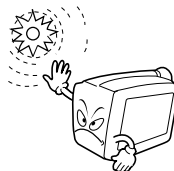
■ 自動車などの運転中に使用しない

- ・ 運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
- ・ 交通事故の原因となります。



■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない

- ・ レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品
が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。



警告

■ めらさない

- ・ 火災や感電の原因となります。
- ・ 風呂場では使用しないでください。
- ・ 雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
- ・ 水などの入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。



■ 雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

- ・ 感電の原因となります。



■ 電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

- ・ 接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・ 最後までしっかりと接続してください。



■ 電源プラグにはこりや金属物を付着させない

- ・ ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・ ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。



■ 上に乗らない

- ・ 倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。



⚠ 注意

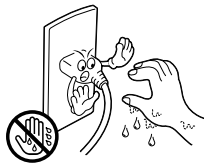
■ 電源コードはコードの部分を持って抜かない

- ・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- ・プラグの部分を持って抜いてください。



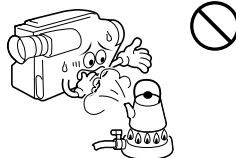
■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ・感電の原因となることがあります。



■ 次のような場所には置かない

- ・砂浜などの砂ぼこりのある所
- ・湿気やほこりの多い所
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
- ・熱器具の近くなど
- ・真夏の車内など高温になる所
- ・直射日光の強い所
- ・火災や感電の原因となることがあります。



■ 上に重い物を置かない

- ・バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。



■ カセットの出し入れ口に手を入れない

- ・手をはさまれてけがをする原因となります。
- ・特にお子様にご注意ください。



■ 本体に衝撃を与えない

- ・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。
- ・液晶画面は、傷つきやすいものですので、表面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。



■ 指定以外のアクセサリを使わない

- ・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
- ・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリの取扱説明書もよくお読みください。



⚠ 注意

- 照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。



- 本機やアクセサリなどを布などでおった状態で使用しない

・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。



- コード類は正しく配置する

・ACアダプターの電源コードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。



- 長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。



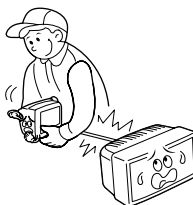
- 別売の三脚を不安定な状態で使用しない

・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。



- 移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・カセットも取り出しておいてください。



- バッテリーやショルダーストラップは正しく取り付ける

・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。



⚠ 注意

■ お手入れするときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・ 電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。



■ 5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

- ・ 内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
- ・ 湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
- ・ 費用については、販売店にご相談ください。



■ 強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

- ・ 故障の原因となることがあります。
- ・ テレビの上や近くでは使用しないでください。
- ・ RFユニットやACアダプターを使用しているときは、なるべくムービーから遠ざけてご使用ください。



■ 飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

- ・ 本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。



■ 付属のCD-ROMをオーディオ用CDプレーヤーで再生しない

- ・ オーディオ用CDプレーヤーやCDラジカセでCD-ROMを再生しようとすると、過大な信号が流れて、回路やスピーカーに障害を与えることがあります。



■ CD-ROMの取り扱いについて

- ・ 鏡面(文字などが印刷されている面と反対の面)を汚したり、傷を付けないようにしてください。また、表裏どちらの面にも文字を書いたり、シール等を貼らないでください。
- ・ 汚れたときは柔らかい布で中心孔から外側へ放射状に軽く拭き取ってください。
- ・ 従来のレコード・クリーナーやスプレーは使わないでください。
- ・ ディスクを曲げたり、鏡面に触れたりしないでください。
- ・ ほこり、直射日光、高温多湿の場所は避けてください。



AC アダプター、バッテリーや電池について

⚠ 危険

- AC アダプターを指定の電源電圧以外で使用しない
・火災や感電の原因となります。



- AC アダプターは指定以外のムービーやバッテリーには使わない
・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、ムービーやアクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。



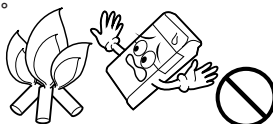
- AC アダプターを分解や改造はしない
・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



- バッテリーを充電するときは、指定の AC アダプターを使う
・性能や形状が異なると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。



- バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない
・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。



AC アダプター、バッテリーや電池について

⚠ 危険

- 高温の場所（60℃以上）に置かない

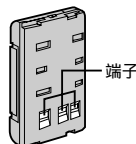
- ・ 発熱、破裂、発火の原因となります。



- バッテリーの端子部（⊕ と ⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

- ・ ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。

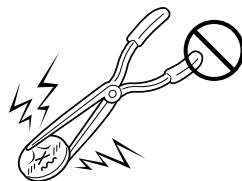
- ・ 持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



- 電池の端子部（⊕ と ⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

- ・ 液漏れ、発熱の原因となります。

- ・ 持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



- 電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

- ・ 液漏れ、破裂などの原因となります。



AC アダプター、バッテリーや電池について

はじめに

危険

■ 指定以外のボタン電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーやボタン電池を使わない



- ・液漏れを起こしたボタン電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
- ・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
- ・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- ・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■ ボタン電池は幼児の手の届かない所に置く



- ・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■ 電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕ とマイナス⊖ の向き）に注意する



- ・機器の指示通りに電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■ 通電中の AC アダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない



- ・温度が上がリ、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

ご使用の前にお読みください。

ムービーについて

使用上の注意

電源(バッテリーやACパワーアダプターなど)をはずすときは、必ずムービーの電源スイッチが“電源切”になっていることを確かめてください。

・ムービーの動作中に電源をはずすと、テープを傷めたり、誤動作の原因となります。

つゆつきについて

よく冷えたビールをコップにつくと、コップのまわりに徐々に水滴が付きます。この状態を‘つゆつき’といいます。



つゆつき表示が出たら
ムービーは停止します。

湿気は大敵 つゆつきが発生するとムービーの心臓部であるヘッドドラムの周りに徐々に水滴が付き、テープが貼り付き傷ついてしまいます。



つゆつきはこんなときにおこります

- ・ムービーを寒いところから急に暖かいところへ移動したとき。
- ・湿気の多いところでの使用時。
- ・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるとき。

つゆつき後再び使い始めるには

電源を切って数時間待ちます。その後電源を入れて数分待ち、つゆつき表示が消えてからご使用ください。消えない場合は点検が必要です。お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

つゆつきのトラブルを防ぐには

つゆつきのおこるような環境

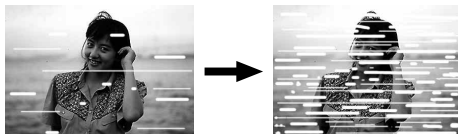
- ・寒い所から暖かい所
 - ・冷房のきいた所から温度・湿度の高い所
- での使用は、移動時にムービーとテープをしばらくおいて、その環境になじませてからお使いください。
- ・例えば、スキー場で撮影後、暖房のきいた部屋に入るときはビニール袋等にムービーを入れて(一緒に空気も入れる)移動し、しばらくその状態で環境になじませるとつゆつき防止に効果的です。
 - ・つゆつきはレンズにもおこります。きれいに撮影できませんのでつゆつきがなくなってから撮影してください。
 - ・通常、つゆつきは徐々に進行し、10～15分間は現象が現れないことがあります。
 - ・寒冷地域では露が凍結し、霜になることがあり、さらに時間がかかります。



ヘッドの汚れについて

ヘッドが汚れるとテープ再生時に、右のような症状が出ます。

クリーニングカセット TCC-2(別売) を使ってヘッドを清掃してください。



ヘッドの汚れる原因は

高温・多湿

- しばらくその環境になじませた後ご使用ください。



テープの傷

- 傷のあるテープは磁性粉がはがれヘッド汚れの原因となります。

空気中のほこり・ちり 長時間の使用

- クリーニングカセットでクリーニングしてください。

ヘッドは摩耗します

クリーニングカセットで清掃しても鮮明な映像が映らない場合はチェックまたは交換が必要です。お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

お手入れについて

ボディーの汚れは

お手入れのときは、電源をはずしておこなってください。

- 乾いた柔らかい布などで拭きとってください。
- ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用の際は、その注意書に従ってください。



レンズや液晶画面はいつもきれいに

- レンズブロワーでほこりを落とし、レンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。汚れたままでは、カビなどが発生する場合があります。
- 液晶画面は、軽く半円を描くように拭き取ってください。強くこすると汚れがのびるだけであって落ちにくくなります。

定期点検のすすめ

ヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしています。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ1000時間をめどに点検されることをおすすめします。

使用上のご注意（つづき）

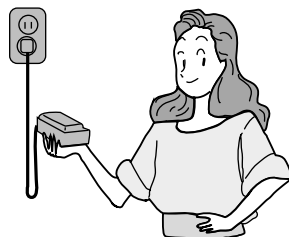
バッテリーについて

上手な充電と使い方で長持ちさせましょう。

上手な充電と使い方

使用前に充電を！

- バッテリーは使用しなくても自己放電する特性があります。
したがって充電せずに出荷しています。使用する直前か前日に充電してください。
- 充電するときは、周囲の温度が 10 ～ 35 の場所でおこなってください。



バッテリーは完全に使いきってから充電を！



- 使いきらないで充電するとバッテリーの容量低下の原因になります。
付属のACパワーアダプターにはリフレッシュ機能がついています。5回の充電につき1回を目安にリフレッシュしてください。（☞27ページ）

長時間使用しないときは機器からはずす

- 電源を切っても微少電流が流れています。

使用時間が短くなってきたら

バッテリーには寿命があります！

- 長時間（約1年）保存されたバッテリーは、はじめの使用時間が若干短めになります。
充電と放電（使いきる）を数回繰り返すとバッテリーの容量が回復します。

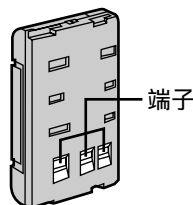
（完全に使いきる）→（充電）を繰り返しても使用時間が短いときは、寿命がきていますので新しいバッテリーをお求めください。

次の場合にも撮影時間が短くなります。

- 寒冷地など温度の低いところでの撮影
- ズームを使った撮影

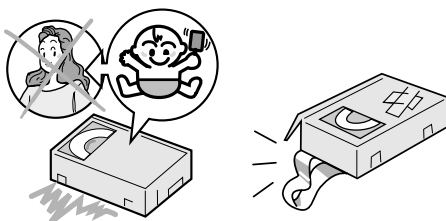
ご注意ください

バッテリーを持ち運ぶときはビニール袋などで包んで、端子にキーホルダーやネックレスなどの金属類が触れぬようにしてください。事故の原因になります。



テープについて

- 撮影済みテープに新しく撮影すると、前の映像と音は自動的に消えます。
- テープは裏返しでは使えません。
- テープを走行させないでテープの出し入れを繰り返さないでください。

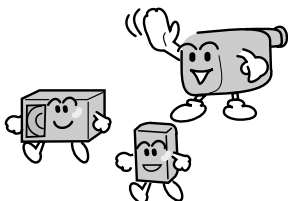


正しい保存のしかた

ムービーは

ふだん使用しないときは、テープを出し、電源を切りバッテリーをはずしておく

- 機能に支障をきたす場合がありますのでときどき電源を入れ、チェックしてください。



テープは

ケースに入れ、湿気が少なく風通しの良い、カビの発生しにくいところに立てておく



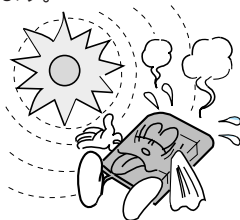
バッテリーは

長時間使用しないときは放電して保存する



温度が上がらない乾燥したところに保存する

- 高温の場所に置くと寿命が短くなり、自己放電も多くなります。



各部のなまえ

☞ は参照ページです。

SP-EP録画モードボタン (☞32ページ)

日付/時刻 (☞44ページ)

カウンターR/Mボタン (☞71ページ)

手振れ補正ボタン (☞43ページ)

巻戻し (☞70ページ)

/リテイクR (☞42ページ)

/📺(クイックレビュー)

ボタン (☞42ページ)

再生/一時停止ボタン
(☞70ページ)

早送り (☞70ページ)

/リテイクFボタン

(☞42ページ)

停止ボタン
(☞70ページ)

モード切替ボタン
(☞7ページ、37~39ページ)

記念写真
ボタン
(☞7ページ)

ボタン電池
(時計用)
取り付け部
(☞101ページ)

レンズカバー
スイッチ (☞34ページ)

電源ランプ
グリップバンド
(☞29ページ)

メニューダイヤル
(☞61ページ)

電源スイッチ (☞34ページ)

スタート/ストップボタン (☞34ページ)

端子カバー
手前に引いて
開けます。

JLIP端子

(JLIP : Joint Level Interface & Protocol)

- 別売のJLIP対応機種を使って、パソコンにつなぎ、ムービーを動かすための端子です。
- 自動編集 (94 ~ 99ページ) をするときには、市販のφ 3.5mmミニプラグコードをつなぎます。

DIGITAL

音声出力

DC OUT

映像出力

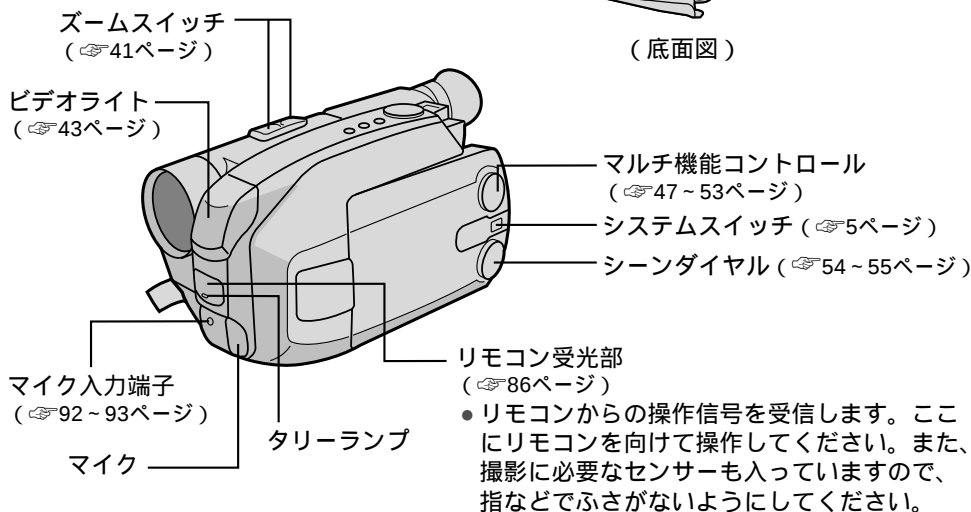
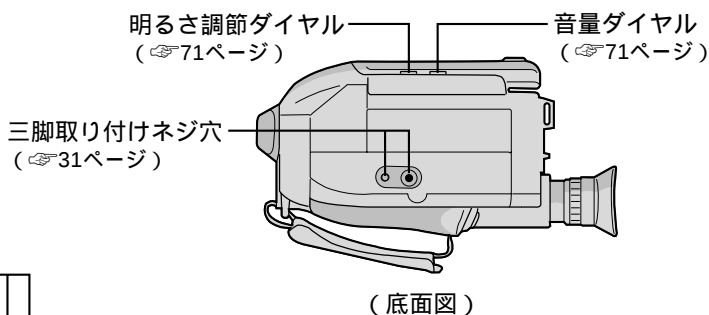
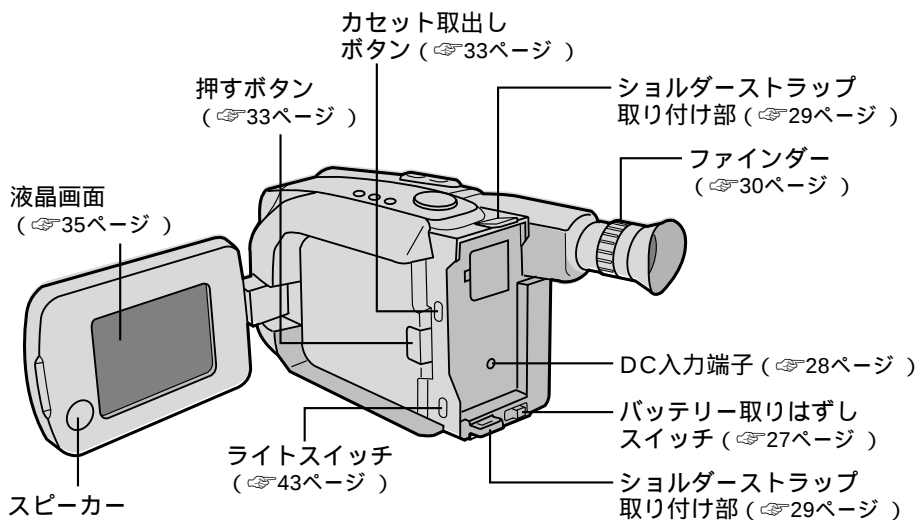
DC OUT端子

- RFユニット
RF-V5 (別売)
に電源を供給します。

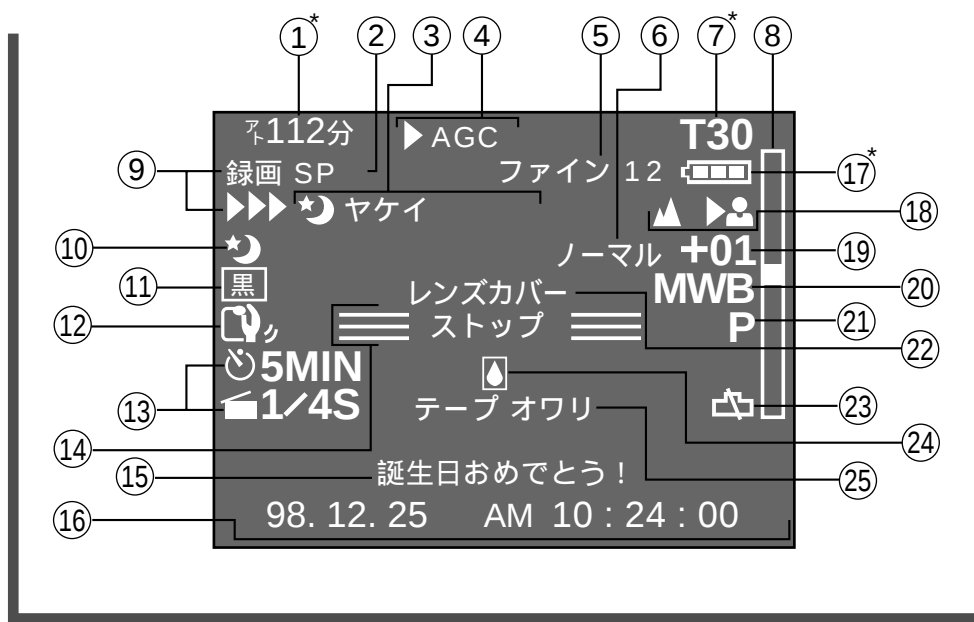
DIGITAL(デジタル)端子
(☞84ページ)

音声出力端子
(☞82ページ)

映像出力端子
(☞82ページ)

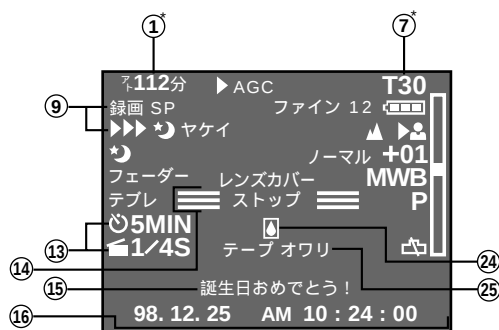


液晶画面とファインダー内の表示



ビデオのみの表示

(システムスイッチ:VIDEO)

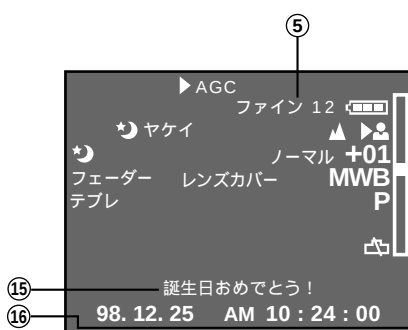


⑬ はアニメ表示(66ページ)のみ

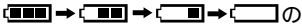
⑮ ~ ⑯ は表示を記録できます。

D.S.C.(デジタルスチルカメラ)のみの表示

(システムスイッチ:D.S.C.)



⑮ ~ ⑯ は表示は出来ませんが記録は
できません。

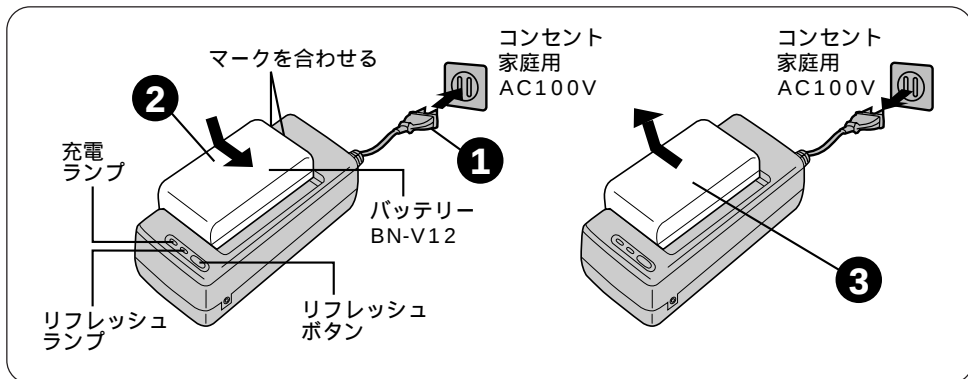
- ① テープ残量表示 (👉35ページ) / *テープ表示
- テープのおおよその残り時間を表示します。
 - テープが終わりに近づくとテープ残量表示が表示され点滅します。
 - テープが入っている状態で電源スイッチを'再生'に切り替えると、消去防止用のツメにかかわらず  (テ - プ表示) が点灯したあと消灯します。
 - テープが入っていないときや、消去防止用のツメが'OFF'になったり折れているテープなどが入っていると  が点滅します。
- ② 録画モード表示 (👉32ページ)
- ③ ⑩ シーンダイヤル表示 (👉54ページ)
- ③を表示したあと、約1秒後に⑩が表示されます。
- ③ ⑪ 場面切替表示 (👉48ページ)
- ③を表示したあと、約2秒後に⑪が表示されます。
- ④ マルチ機能表示 (👉47～52ページ)
- ⑤ 記念写真残量表示 (👉37ページ)
- D.S.C.メモリーの残りの枚数を表示します
- ⑥ 感度アップ表示 (👉50ページ)
- ⑦* テープの長さ表示 (👉32ページ)
- ⑧ ズーム表示 (👉40ページ)
- ⑨ 録画表示 (👉35ページ)
- ⑫ 手振れ補正表示 (👉43ページ)
- ⑬ セルフタイマー表示 (👉64ページ)
- / アニメ表示 (👉66ページ)
- ⑭ 撮影一時停止表示 (👉34ページ)
- ⑮ タイトル表示 (👉51ページ)
- ⑯ 日時表示 (👉44ページ)
- ⑰* バッテリーアラーム表示
- バッテリーの充電容量が少なくなると  のように表示が変わり、終わりに近づくと  が点滅します。( が表示されていても容量いっぱいとはかぎりません。) バッテリーが終わると自動的に電源が切れます。充電したバッテリーにかえてください。
- ⑱ フォーカス表示 (👉56ページ)
- ⑲ 明るさ調節表示 (👉60ページ)
- ⑳ 白バランス表示 (👉58ページ)
- ㉑ 記念写真モード表示 (👉7ページ)
- ㉒ レンズカバー表示
- 電源を入れたとき、レンズカバーが閉まっていると約5秒間点滅します。
- ㉓ 時計表示 (👉101ページ)
- ムービーの電源を入れたときに10秒間点滅したら、時計用のボタン電池が入っていないか容量がなくなっています。新しいボタン電池を入れてください。(👉101ページ)その後時計を合わせ直してください。(👉102ページ)
- ㉔ つゆつき表示 (👉18ページ)
- つゆつきが起こり、撮影や再生ができなくなると表示します。電源を切って数時間待ち、その後電源を入れて表示が消えてからムービーを操作してください。
- ㉕ テープオワリ表示 (👉35ページ)

*印：液晶画面を開くと、液晶画面上に約5秒間表示され自動的に消灯します。

準備する

バッテリーを充電する

ムービーはバッテリーで動きます。ACパワーアダプターAA-V15(付属)で、まずバッテリーを充電しましょう。



1

付属のACパワーアダプターの
電源コードをコンセントに差
し込む

2

バッテリーを差し込む

- 充電ランプが点滅します。
- 点滅から点灯に変わったら充電完了です。

3

バッテリーをはずす

- 電源コードもはずします。

バッテリー 充電 / リフレッシュ時間の目安表

バッテリー	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約 1 時間 10 分	約 3 時間 30 分
BN-V15	約 1 時間 25 分	約 5 時間
BN-V22	約 2 時間 10 分	約 7 時間
BN-V25	約 2 時間 40 分	約 10 時間
BN-V50	約 2 時間 50 分	約 8 時間 30 分
BN-V65	約 2 時間 10 分	約 7 時間

AC パワーアダプター AA-V15 使用の場合

- リフレッシュ時間は容量いっぱいまで充電した状態からの目安です。

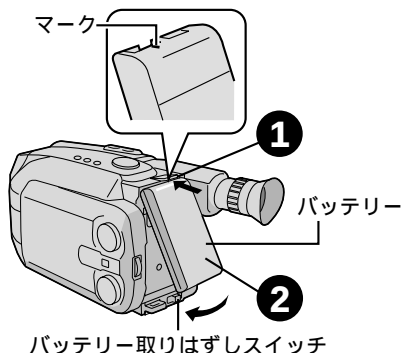


- AC パワーアダプター AA-V15 は、AC (交流) 100 ~ 240V、50 / 60Hz 仕様です。海外でもお使いになれます。(> 100 ページ)
- バッテリー以外に室内や車内で使える電源もあります。(> 28 ページ)
- 充電中や、リフレッシュ中に、DC コードを AC パワーアダプターに接続すると、電源がムービーに供給され、バッテリーの充電やリフレッシュは中断されます。

- バッテリーは使い切らないまま充電すると容量が低下します。使いかけのバッテリーは使いきるか、リフレッシュ (放電) してから充電してください。
- バッテリーは使用しなくても自己放電する特性があります。使用する直前か前日に、充電してください。
- バッテリーは撮影予定時間の約 3 倍分をご用意されることをおすすめします。

バッテリーを取り付ける

充電したバッテリーをマークに合わせて取り付けます。



バッテリーを取り付ける

- ① バッテリーをマークに合わせて取り付ける
- ② カチッと音がするまで差し込む

バッテリーを取りはずす

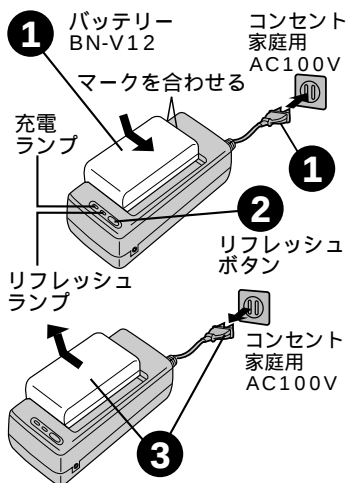
バッテリー取りはずしスイッチを三角マークの方向にスライドさせる。

気をつけてください：

ムービーの電源が入っているときはバッテリーなどの電源を取りはずさないでください。誤動作の原因になります。取りはずすときは、電源を切ってください。

バッテリーをリフレッシュする

バッテリーの性能を長持ちさせるために、リフレッシュ機能で5回の充電につき1回を目安にリフレッシュ（放電）することをおすすめします。



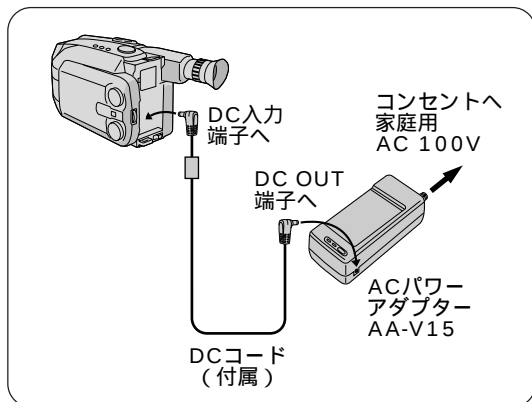
付属の AC パワーアダプターの

- ① 電源コードをコンセントに差し込み、バッテリーを差し込む
- ② リフレッシュボタンを押す
 - ・リフレッシュランプが点灯し、リフレッシュが始まります。リフレッシュランプが消えたとリフレッシュ（放電）完了です。そのままバッテリーを取り付けていると充電ランプが点滅し、充電が始まります。
 - ・AC パワーアダプターの電源プラグを、コンセントに差さずにリフレッシュボタンを押すと、充電せずにリフレッシュすることが出来ます。
 - ・リフレッシュ済み（容量が残っていない状態）のバッテリーは、AC パワーアダプターに取り付けてもリフレッシュされません。
- ③ バッテリーを取りはずす
 - ・取り付けたときと逆の方向へバッテリーをスライドさせます。取りはずしたら AC パワーアダプターの電源プラグを抜いてください。

準備する（つづき）

室内で電源を使うとき

AC パワーアダプター AA-V15（付属）を使って、ご家庭のコンセントから直接電源を利用できます。



① AC パワーアダプターを電源につなぐ

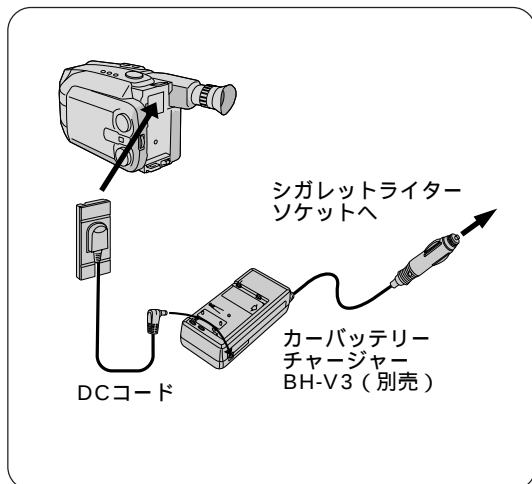
AC パワーアダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。

② ムービーへ電源を供給する

DCコード（付属）で、AC パワーアダプターとムービーをつなぎます。使い終わったらACパワーアダプターの電源プラグを抜いてください。

車内で電源を使うとき

カーバッテリーチャージャー BH-V3（別売）を使います。くわしくはBH-V3の取扱説明書をご覧ください。



① カーバッテリーチャージャーを電源につなぐ

カーバッテリーチャージャーの電源プラグを、シガレットライターソケットに差し込みます。

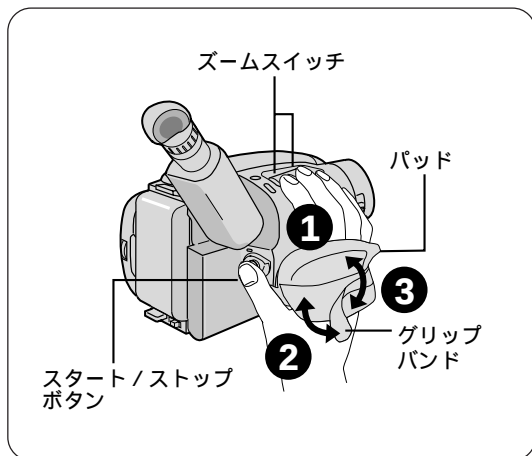
- バッテリーの充電もできます。（BN-V50の充電はできません。）
- 日本車、米国車、欧州車 対応です。
- 電源供給のみの、カーバッテリーコード AP-V7（別売、12V マイナスアース車専用）もあります。

② ムービーへ電源を供給する

- DCコードで、カーバッテリーチャージャーとムービーをつなぎます。
- 取りはずすときは、取り付けたときと逆の方向へスライドさせます。
- 使い終わったらカーバッテリーチャージャーの電源プラグを抜いてください。

グリップバンドを調節する

手の大きさに合わせてグリップバンドを調節します。

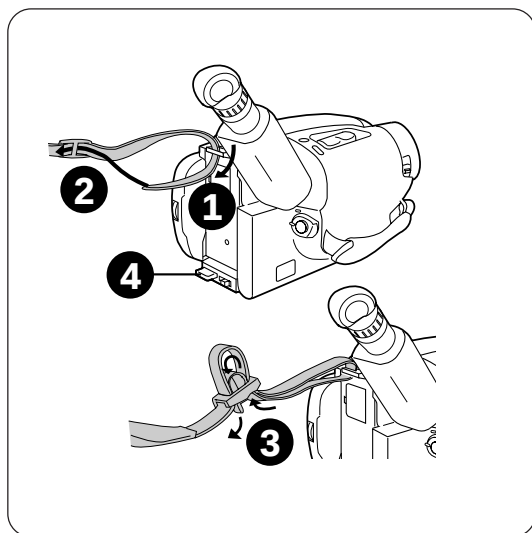


- 1 パッドをはずす
- 2 グリップバンドを調節する
手を入れて、ズームスイッチとスタート/ストップボタンを操作しやすく調節してください。
- 3 パッドをはりつける

準備

ショルダーストラップの取付け

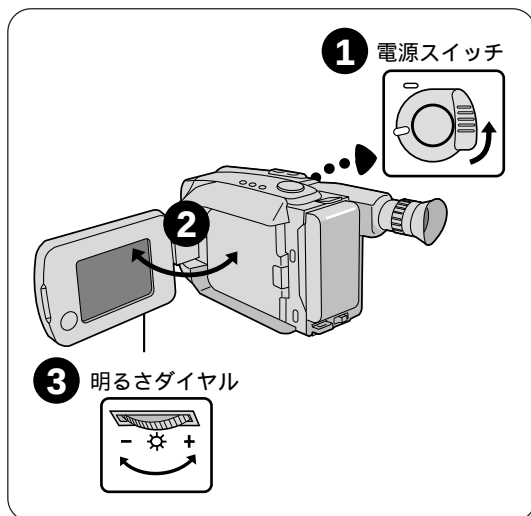
旅行などで外出するときにショルダーストラップを取り付けると、肩に掛けて移動できます。



- 1 取り付け部に通す
ショルダーストラップの先をショルダーストラップ取り付け部に通します。
- 2 バックルに通す
ショルダーストラップの先をバックルに通します。
- 3 長さを調節する
バックルに通っているショルダーストラップを少しゆるめて、長さを調節します。
- 4 もう一方についても同様に①～③を繰り返す
ショルダーストラップを引っ張り、確実に取り付けられたか確認します。

画面の明るさを調節する

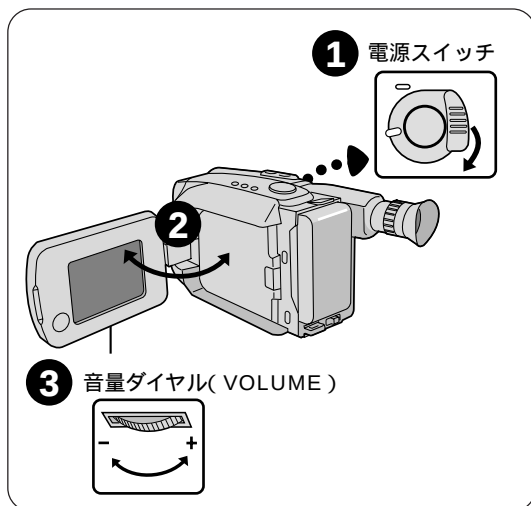
液晶画面の明るさを調節してから、撮影や再生をおこないます。



- 1 電源を取り付ける
ムービーにバッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを '撮影' または '再生' にします。
- 2 液晶画面を 45 °以上開く
- 3 明るさダイヤルを回す
画像の明るさを調節します。

スピーカーの音量を調節する

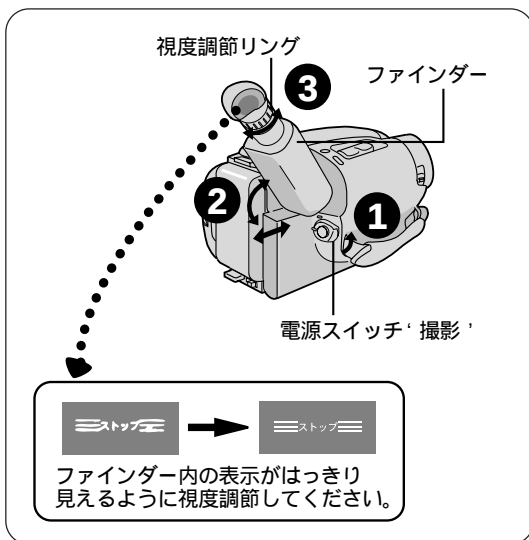
スピーカーの音量を調節してから、再生をおこないます。



- 1 電源を取り付ける
ムービーにバッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを '再生' にします。
- 2 液晶画面を 45 °以上開く
- 3 音量ダイヤルを回す
スピーカーの音量を調節します。
・液晶画面を閉じるとスピーカーから音は出ません。

ファインダーを調節する

ファインダー内の画面が見やすいように調節します。

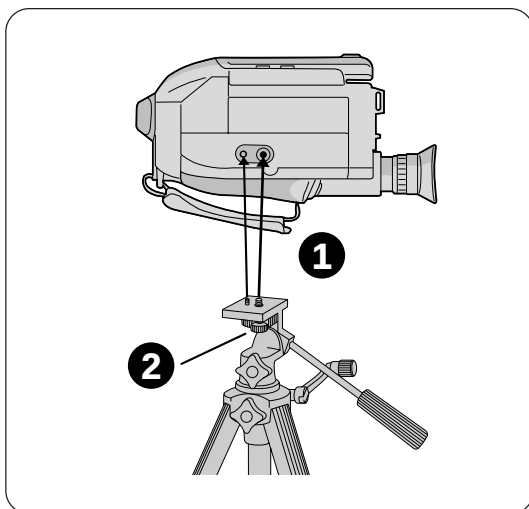


- 1 電源を取り付ける
ムービーにバッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを '撮影' にします。
- 2 ファインダーを手前に引き出し、見やすいように位置と角度を調節する
• 位置は前後に、角度は90°動きます。
- 3 ファインダーのピントを調節する
視力に合わせてファインダー内の表示が見やすくなるように視度調節リングを回して調節します。

準備

三脚の取付け

記念写真の撮影や遠くの被写体を拡大して撮るときに便利です。

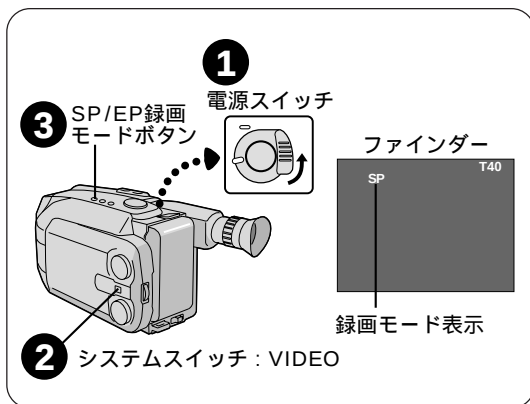


- 1 三脚のネジと本体のネジ穴を合わせる
- 2 三脚のネジをまわして固定する
ガタつかないように、ネジおよび足の長さも調節します。

準備する（つづき）

録画モードを選ぶ

SP (高画質モード) と EP (長時間モード) の2種類の録画モードがあります。
EPは撮影時間がSPの3倍になります。テープを経済的に使いたいときにおすすしめします。
(標準専用のVHSビデオでは再生できませんのでご注意ください。)



① 電源を入れる

電源スイッチを‘撮影’にします。

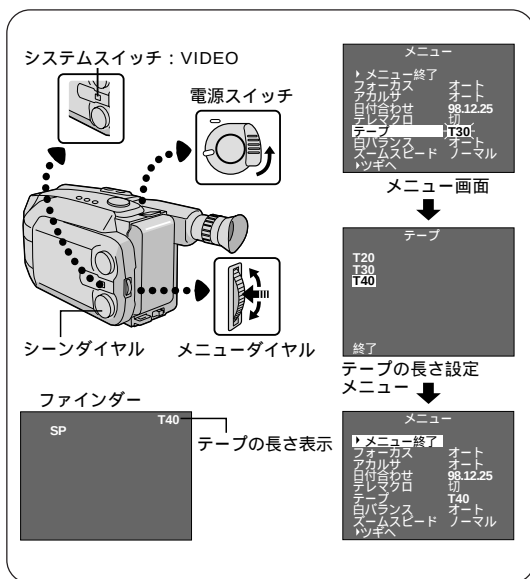
② システムスイッチをVIDEOにする

② 録画モードをえらぶ

SP/EP 録画モードボタンを約 1 秒以上押します。押すごとにファインダー内に、えらんだ録画モードの表示 (SP、EP) ができます。

テープの長さを選ぶ

テープの残量表示を正しく表示するために、お使いになるテープに合わせテープの長さを選びます。



① メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを ' 撮影 ' にします。
- シーンダイヤルを ' スタндарт ' に、システムスイッチを ' VIDEO ' に合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

② テープを選ぶ

- メニューダイヤルを回して「テープ」を選び、メニューダイヤルを押します。

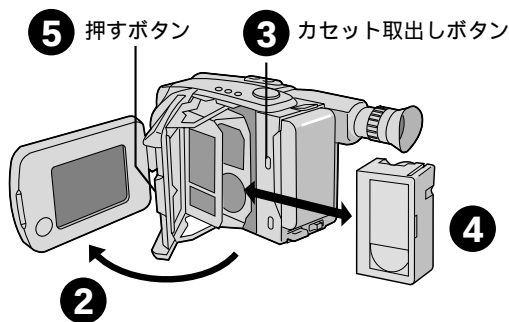
③ 使用する テープの長さを選ぶ

- メニューダイヤルを回してお使いになるテープの長さに合わせてます。
(T20 = 20分テープ、T30 = 30分テープ、T40 = 40分テープ)

④ メニュー画面を閉じる

- メニューダイヤルを 2 回押してメニュー画面を閉じます。

テープを入れる



1 電源を取り付ける
バッテリーなどの電源を取り付けます。

2 液晶画面を 45 °以上開く

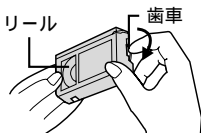
3 カセットカバーをあける
カセット取出しボタンを押します。
・カセットカバーは自動的に開きます。
無理に手であけないでください。

4 テープを入れる
テープの窓側を外にして、奥まで確実に入れてください。
・取り出すときは、入れるときと同様に**1**～**3**の操作をしてテープを取り出してください。

5 カセットカバーをしめる
カチッと音がして確実にしめるまで、押すボタンを押してください。
・ファインダーを使うときは、液晶画面を閉じてください。



テープのたるみはなくしてから使う
テープのたるみは、テープを痛める原因になります。ご使用前に、歯車をリールと一緒に動くまで矢印方向に回してたるみをなくしてください。



テープの出し入れだけを繰り返すと、たるみの原因になります。

誤って大切な記録を消さないために
REC
OFF ← ON
消去防止用ツメ (フタ)



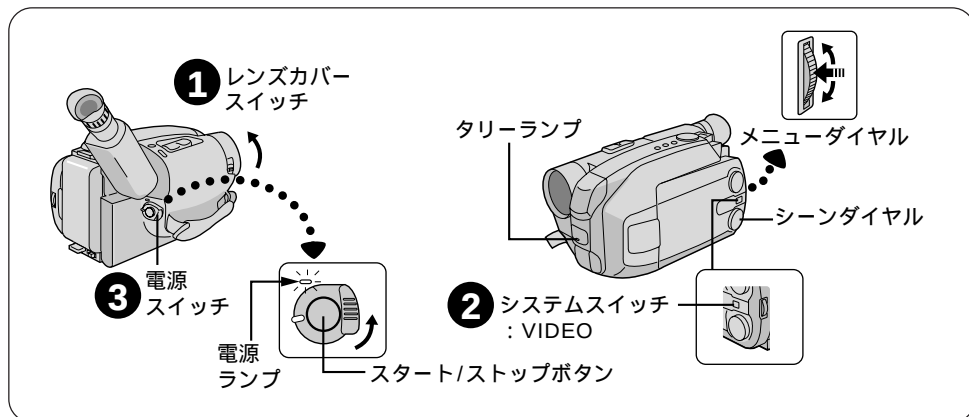
ドライバー
「ツメ」の部分がスライド式でない場合は「ツメ」を折ります。再び撮影するときは、ツメの部分にセロハンテープを二重に貼ってください。

撮影する(基本編)

テープに撮影する(VIDEO モード)

撮影をする前に、以下の準備をしてください。

- ・電源を準備する(☞26 ページ)
- ・テープの長さをえらぶ(☞32 ページ)
- ・録画モードをえらぶ(☞32 ページ)
- ・テープを入れる(☞33 ページ)



1

レンズカバーをあける

レンズカバースイッチを矢印の方向へスライドさせます。

- ・レンズカバーはムービーのレンズを保護します。持ち運びするときは、しめておいてください。

2

システムスイッチを VIDEO にする

ビデオテープに画像が記録されるモードにします。

3

電源を入れる

バッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを‘撮影’にします。電源ランプが点灯し、撮影一時停止になります。



次の撮影まで時間があくときは

- ・ムービーの電源を切ってください。バッテリーの消耗を防ぎます。
- ・5分以上ムービーの操作をせず撮影一時停止を続けると、節電のため自動的に電源が切れます。撮影を続けたいときは、電源スイッチを‘切’にしてから‘撮影’にします。再び撮影一時停止になり、次の撮影がきれいにつながります。(撮影をやめて5分以内にズームなどの操作をすると、そこから5分間で電源が切れます。)

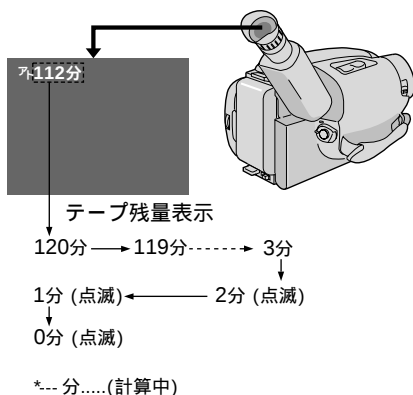
- ・撮影一時停止が5分以上続いている状態で、スタート/ストップボタンを押すと、撮影開始まで多少時間がかかります。

4

撮影する

スタート/ストップボタンを押し、撮影を始めます。

- 撮影中はタリーランプが点灯します。
- 表示している日時も記録します。
( 44 ページ)
- 撮影中はファインダー内に  の表示がでます。撮影をストップすると、撮影一時停止表示  ストップ  が出来ます。
- ファインダー内にテープ残量表示が出ます。(残量表示はおおよそその値です。テープによって違いがあります。)
- 残り2分を切るとテープ残量表示は点滅し、テープが終わるとファインダー内に ' テープオワリ ' の表示が出ます。
- 液晶画面を見ながら撮影するときは、液晶画面を 45 ° 以上開いてください。
- ファインダー内の映像は白黒ですが、液晶画面ではカラーでご覧になれます。

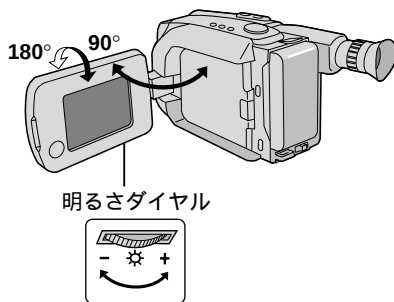


摄影(基本)

5

撮影をやめる

もう一度スタート/ストップボタンを押せば、撮影一時停止になります。



テープの途中から撮影するときは
テープの位置がずれて、再び撮影するときに前の
記録が消えることがあります。
リテイク(👉42ページ)で、撮りはじめたいとこ
ろを頭出ししてから撮影をはじめてください。

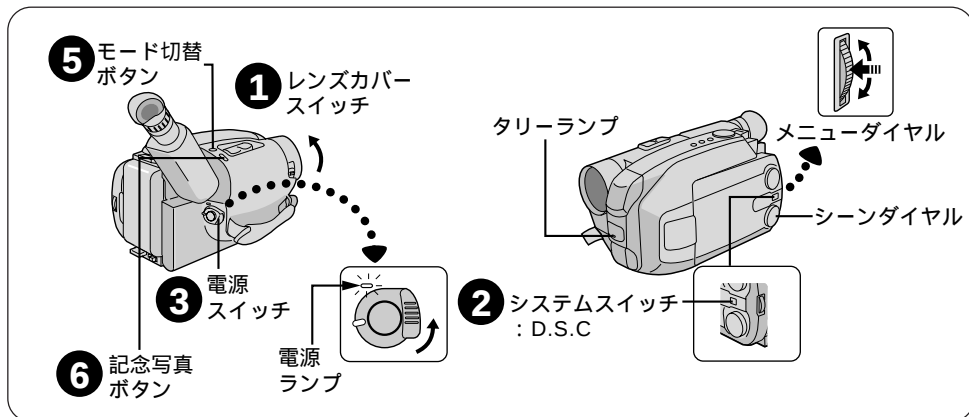
カメラリハーサル状態にするには
電源スイッチを‘撮影’にすれば、テープを入れな
くともムービーで撮っている映像を見ることがで
きます。
この状態で映像 / 音声コードをつなげば外部映像
機器に出力することができます。
(接続のしかたは  82 ページ)

D.S.C.機能を使って撮影する - 記念写真(D.S.C.モード) -

D.S.C.とはDigital Still Camera(デジタルスチルカメラ)の略称です。D.S.C.モードで撮影した記念写真画像は内蔵メモリーのみに記憶されます。

撮影をする前に、以下の準備をしてください。

- ・電源を準備する(☞26ページ)

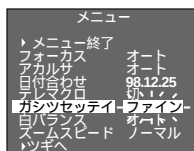


- 1 レンズカバーをあける
レンズカバースイッチを矢印の方向へスライドさせます。
・レンズカバーはムービーのレンズを保護します。持ち運びするときは、しめておいてください。

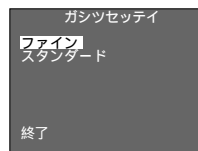
- 2 システムスイッチをD.S.C.にする
・メモリーに静止画像が記録されるモードになります。

- 3 電源を入れる
バッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを「撮影」にします。
・電源ランプが点灯し、撮影する画像が表示されます。

- 4 画質設定をする
・シーンダイヤルを「スタンダード」に合わせます。
・メニューダイヤルを押してメニューを表示させます。
・メニューダイヤルで画質設定を選び「ファイン」または「スタンダード」を選びます。
・ファインモードでは22枚、スタンダードモードでは44枚撮ることができます。



メニュー画面

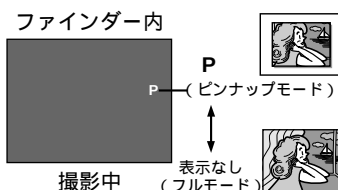


画質設定の設定メニュー

5

モード切替ボタンを押す

- モード切替ボタンを押すたびに、ピンナップモードとフルモードが交互に切り替わります。
- シーンダイヤルを'オート'にすると、強制的にフルモードになります。

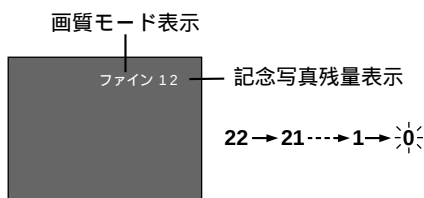


6

撮影する

記念写真ボタンを押します。

- 撮影した画像が約2秒間表示されメモリーに記憶されます。
- 画面にあと何枚撮れるか表示されます。



メモリーに記憶した画像について

誤操作(画像削除中に電源を切ったり(☞81ページ)や静電気、電気ノイズの影響を受けたり、また故障・修理のときにメモリー内容が破壊・変化・消失する場合があります。大切な画像はパソコン(☞84ページ)やビデオテープ(☞88ページ)に保存することをおすすめいたします。

メモリー内容の破壊・変化・消失については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。



サンプルの写真を削除するには

工場出荷時は、6枚のサンプル写真がメモリーに記憶されています。削除するにはプロテクトを解除して(☞78ページ)から削除(☞80ページ)してください。

枚数を多く撮りたいときは

画質設定を'スタンダード'にしてください。最大44枚撮影可能です。

メモリーが一杯になったときは

- 記念写真残量表示が0(0が点滅)になりますが、シャッターは押すことができます。しかし画像は記憶されません。

ビデオテープが入っていれば、システムスイッチを'VIDEO'にして記念写真撮影(☞38ページ)をおこなえます。

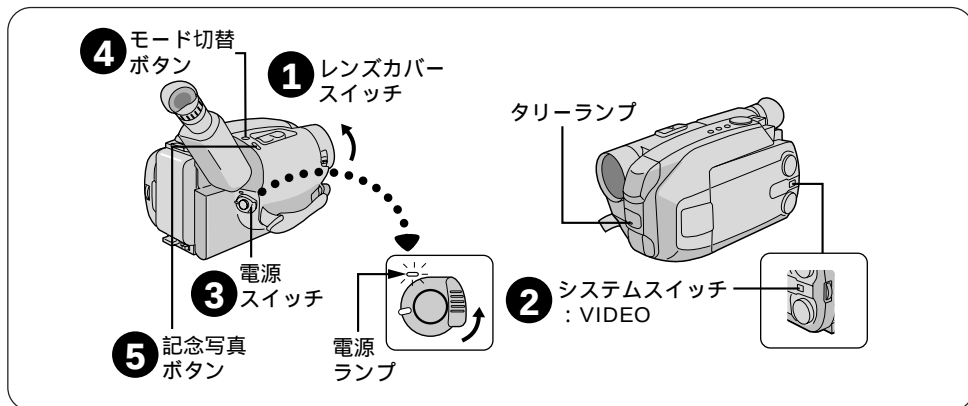
- 大切な画像はパソコン(☞84ページ)やビデオテープ(☞88ページ)に保存し、不要な画像は削除(☞80ページ)して記念写真残量を増やしてください。

テープに静止画を撮る - 記念写真(VIDEOモード) -

VIDEO モードで記念写真撮影した画像はビデオテープと内蔵メモリーに保存されます。

撮影をする前に、以下の準備をしてください。

- ・電源を準備する (➡ 26 ページ)
- ・テープの長さをえらぶ (➡ 32 ページ)
- ・録画モードをえらぶ (➡ 32 ページ)
- ・テープを入れる (➡ 33 ページ)

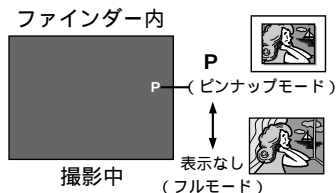


- 1** レンズカバーをあける
レンズカバースイッチを矢印の方向へスライドさせます。
- ・レンズカバーはムービーのレンズを保護します。持ち運びするときは、しめておいてください。

- 2** システムスイッチを VIDEO にする
ビデオテープとメモリーに静止画像が記録されるモードになります。

- 3** 電源を入れる
バッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを ' 撮影 ' にします。電源ランプが点灯し、撮影一時停止になります。

- 4** モード切替ボタンを押す
- ・モード切替ボタンを押すたびにピンナップモードとフルモードが交互に切り替わります。

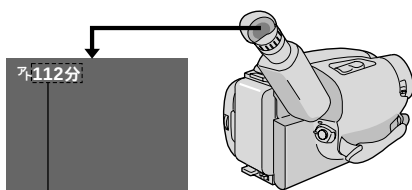


5

撮影する

記念写真ボタンを押します。

- ・記念写真の画像は、ビデオテープと内蔵メモリーのどちらにも記録されます。
- ・メモリーが一杯になったときは、テープのみに記録されます。
- ・'テープオワリ'表示が点滅している時は、記念写真ボタンを押してもシャッターは切れません。新しいテープを入れてください。
- ・画質はD.S.C.モードで設定（☞37ページ）された画質で記録されます。
- ・撮影中はタリーランプが点灯します。
- ・表示している日時はテープにのみ記録されます。（☞44ページ）
- ・撮影中はファインダー内に $\overrightarrow{\text{録画}}$ の表示がでます。撮影をストップすると、撮影一時停止表示 $\equiv$ ストップ $\equiv$ が出ます。
- ・ファインダー内にテープ残量表示が出ます。（残量表示はおおよその値です。テープによって違いがあります。）
- ・残り2分を切るとテープ残量表示は点滅し、テープが終わるとファインダー内に'テープオワリ'の表示が出ます。
- ・液晶画面を見ながら撮影するときは、液晶画面を45°以上開いてください。
- ・ファインダー内の映像は白黒ですが、液晶画面ではカラーでご覧になれます。



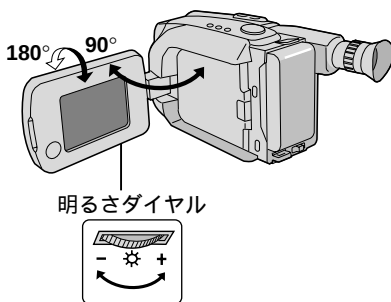
テープ残量表示

120分 → 119分 3分
1分 (点滅) ← 2分 (点滅)
0分 (点滅)

*...分.....(計算中)

撮影(基本)

液晶画面を見ながら撮影する場合



明るさダイヤル



テープの途中から撮影するときは

テープの位置がずれて、再び撮影するときに前の記録が消えることがあります。リテイク（☞42ページ）で、撮りはじめたいところを頭出ししてから撮影をはじめてください。

カメラリハーサル状態にするには

電源スイッチを'撮影'にすれば、テープを入れなくてもムービーで撮っている映像を見ることができます。

この状態で映像/音声コードをつなげば、外部映像機器に出力することができます。

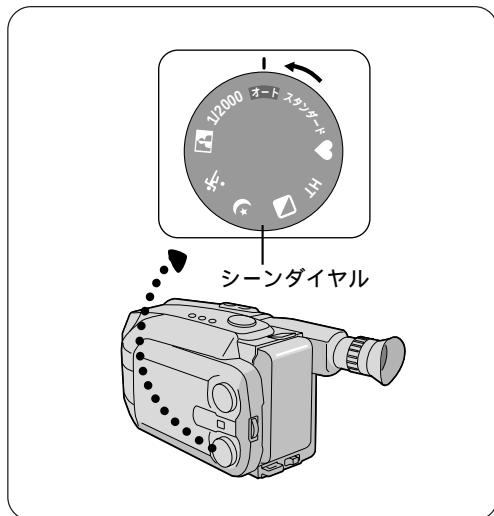
（接続のしかたは☞82ページ）

次の撮影まで時間があくときは

- ・ムービーの電源を切ってください。バッテリーの消耗を防ぎます。
- ・5分以上ムービーの操作をせず撮影一時停止を続けると、節電のため自動的に電源が切れます。撮影を続けたいときは、電源スイッチを'切'にしてから'撮影'にします。再び撮影一時停止になり、次の撮影がきれいにつながります。（撮影をやめて5分以内にズームなどの操作をすると、そこから5分間で電源が切れます。）
- ・撮影一時停止が5分以上続いている状態で、スタート/ストップボタンを押すと、撮影開始まで多少時間がかかります。

オートを使う

シーンダイヤルを‘オート’に合わせると、基本的な操作に必要なボタンを押しても動作しません。初めての方でも簡単に撮影できます。



1 シーンダイヤルを合わせる

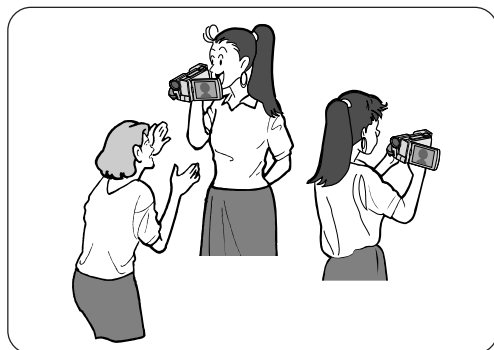
‘オート’に合わせます。撮影時に使える機能は、以下の9つのみとなります。

- ズーム (☞40 ページ)
- * クイックレビュー (☞42 ページ)
- * リテイク (☞42 ページ)
- * 場面切替 (☞48 ページ)
- ビデオライト (☞43 ページ)
- 手振れ補正 (☞43 ページ)
- シネマ (☞47 ページ)
- 感度アップ (☞50 ページ)
- タイトル (☞51 ページ)

- * 印：システムスイッチがD.S.C.になっていると使用できません。
- いろいろな機能を使いたいときは、シーンダイヤルを‘スタンダード’に合わせてください。

対面撮影をする

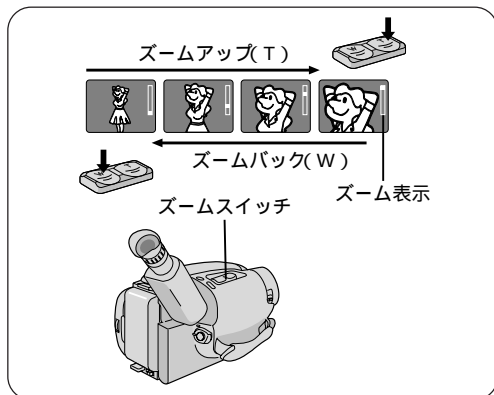
液晶画面を見ながら撮影することができます。相手に自分が撮られている映像を見せながら撮影したり、自分も中に入って一緒に撮ることができます。



液晶画面は上に180°、下に90°回転します。液晶画面にご自分を映し、映り具合を見ながら撮影することもできます(対面撮影)。液晶画面を開いて180°回転させ、レンズをご自分に向けて撮影してください。ビデオ日記などをお撮りになりたいときにご利用いただけます。

ズームを使う

撮影中に被写体をズームアップすることができます。被写体が遠いところにいるときや、画面に変化を付けたいときなどにご利用いただけます。



1 ズームスイッチを押す

T 側：ズームアップ

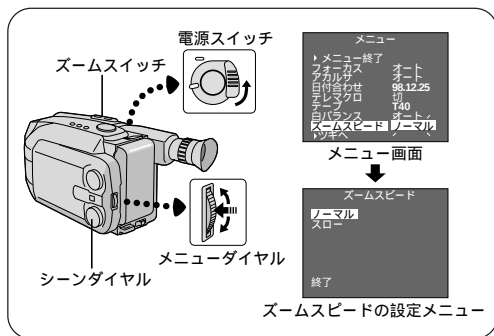
W 側：ズームバック

- ズームのスピードはズームスイッチを軽く押すと'ゆっくり'、強く押すと'速く'なります。また、シーンダイヤルが'オート'以外であれば'ゆっくり'と'速く'のスピードを変えることができます。

撮影基本

ズームスピードの設定

ズームスピードを合計 4 つのスピードの中から選ぶことができます。



- メニュー画面を表示させる
 - 電源スイッチを '撮影' にします。
 - シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
 - メニューダイヤルを押します。
- ズームスピードを選ぶ
 - メニューダイヤルを回して 'ズームスピード' を選び、メニューダイヤルを押します。
- 使用するズームのスピードを選ぶ
 - メニューダイヤルを回してお使いになるズームのスピードを選びます。(ノーマル = 通常速度、スロー = 低速ズーム)
- メニュー画面を閉じる
 - メニューダイヤルを2回押してメニュー画面を閉じます。

ズームスピード (速い順に 1 から 4 です。)

メニュー - 内 (ズームスピード)	ズームボタンの押し方	
	強く	軽く
ノーマル	1	3
スロー	2	4

：シーンダイヤルが 'オート' のとき



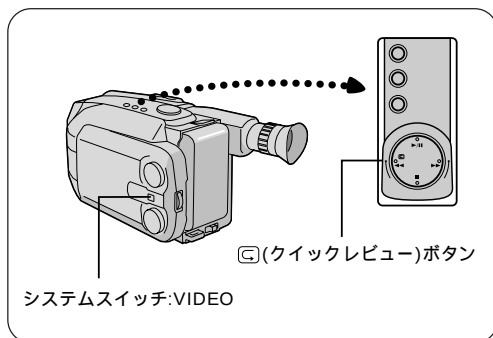
近づいて大きく撮る (マクロ撮影)

- ズームを最広角 (W 側) にしてレンズ前面から約 1cm まで接写できます。被写体に近づき撮影したいものを画面の中央に入れてください。

- 'テレマクロ' (62 ページ) を '入' にすれば、ズームを最望遠 (T 側) にして、被写体に約 60cm の距離まで近づいて撮影できます。

クイックレビュー

ビデオテープに撮影した映像の確認をすることができます。

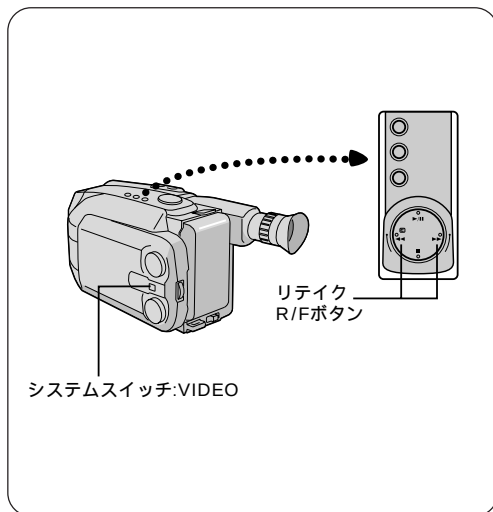


1 撮影一時停止で □ ボタンをポンと押してすぐ離す

- 最後のシーンを約 2 秒間再生し、撮影の確認ができます。再生が終わると元の状態に戻ります。
- クイックレビューで再生がはじまったとき、映像が乱れることがありますが、故障ではありません。

リテイク

撮影中、失敗したなと思ったときや、テープの途中から録画するとき、ボタンひとつで撮り始めたいところを探せます。



1 撮影一時停止の状態ではリテイク R ボタンまたはリテイク F ボタンを押し続ける 再生される映像を見て撮り始めたいところを探す

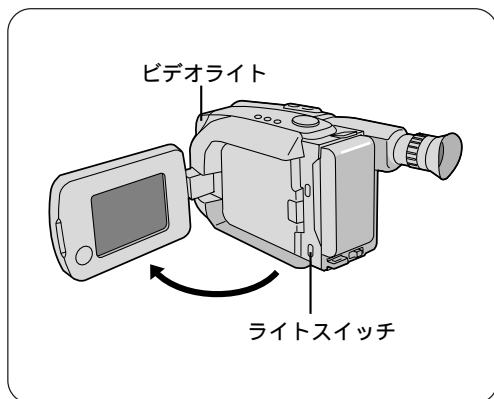
- リテイク R ボタンは巻戻しの方向へ、リテイク F ボタンは早送りの方向へ再生します。
- リテイク中、映像が乱れることがありますが故障ではありません。

2 撮り始めたいところでボタンから指を離す

- 撮影一時停止の状態に戻ります。
- スタート/ストップボタンを押せば、撮影をはじめることができます。

ビデオライト

被写体が暗いときなどに、ライトで照明することができます。



1 ライトスイッチを選ぶ

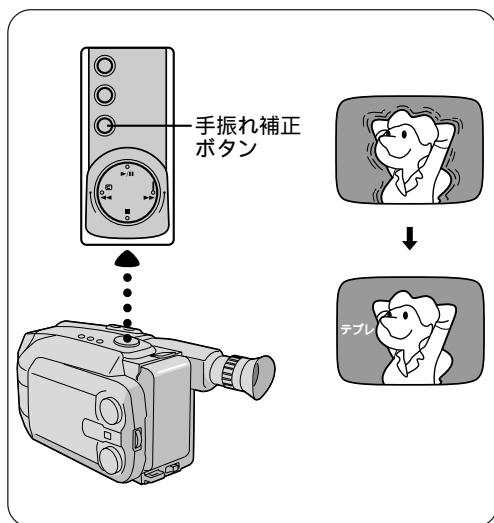
入 : 常時点灯します。
オート : 被写対の明るさを判断して、自動的に点灯します。
切 : 常時消灯します。

- 点灯中や消灯直後、ビデオライトは熱くなっています。手で触れたり物を近づけないでください。
- 小さなお子様の目などに、直接ライトの光が入らないよう注意してください。

撮影（基本）

手振れ補正

撮影中に生じる小さな揺れを自動的に補正することができます。

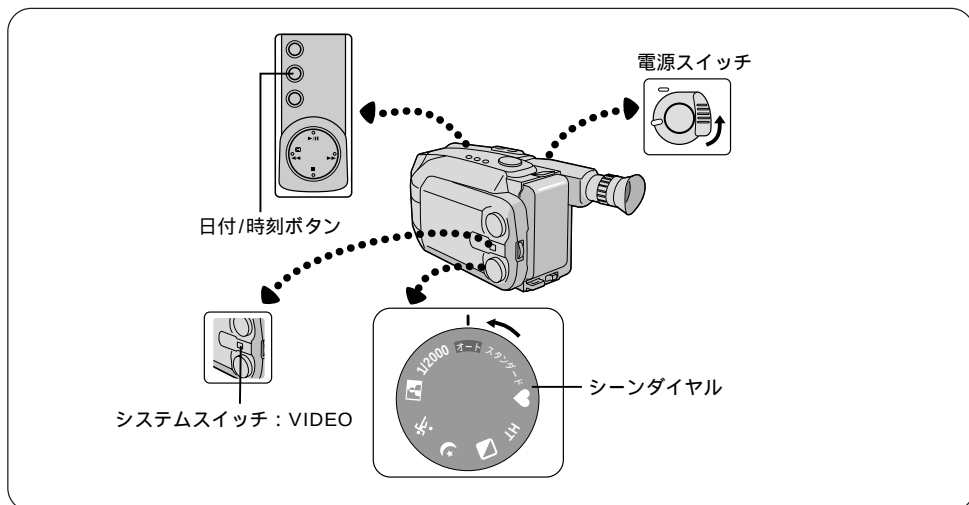


1 手振れ補正ボタンを押す

- 画面に手振れ補正表示が表示されます。
- 再度手振れ補正ボタンを押すと手振れ補正表示が消えて、手振れ補正モードが解除されます。
- 三脚をご使用の際は、手振れ補正を解除してください。
- 手振れが大きいときやコントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るときは、補正できない場合があります。

日時を入れて撮る

ビデオテープの映像に日時を入れて撮影することができます。また、お好みで入れたタイトルを入れることもできます。(☞52ページ) 日時はお買い上げ時に合わせてあります。日時が正確でないときは合わせ直してください。(☞102ページ) デジタルスチルカメラの映像には記録されません。



1

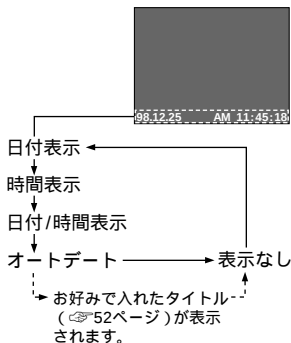
電源を入れる

- 電源スイッチを '撮影' にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。

2

表示のしかたを選ぶ

- 日付/時刻ボタンを押して選択します。
- 表示のしかたは下図のとおりです。



日付表示 	オートデート
時間表示 	オートデート
日付/時間 表示 	オートデート実行画面



表示や文字が出ないときは

ボタン電池の容量が切れているなどの理由で、日時の設定がされていない場合は、表示切替はできません。ボタン電池を交換し、日時を合わせ直してください。（☞102 ページ）

表示や文字を記録したくないときは

- '表示なし'を選んでください。
- 録画中に表示を消したいときは、日付 / 時刻ボタンを押してください。再び表示したいときは、撮影一時停止状態にし、日付 / 時刻ボタンを押し、表示を選びます。

オートデート

日付が変わったとき、テープを入れかえたとき、またオートデートを選んで最初に録画スタートするとき、約5秒間自動的に日付を表示 / 記録します。シーンダイヤルを 'オート' に合わせると、日付の表示はオートデートのみになります。

D.S.C.（デジタルスチルカメラ）の時は

撮影するときに表示は出ますが、日時を入れて記録は出来ません。

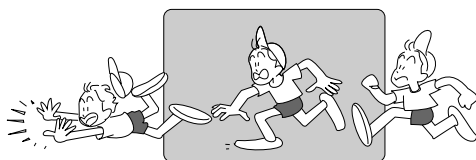
撮影の基本

安定した姿勢で撮影する

より安定した撮影のためには姿勢が大切です。



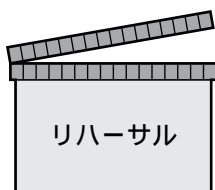
ムービーを動かさない



安定した映像で撮影するためには、ムービーを固定して撮ります。

左右に動かすとき(パンニング)は、水平にゆっくり動かします。撮りはじめと撮り終りは、ピタッと止めます。

カメラリハーサルをおこなう



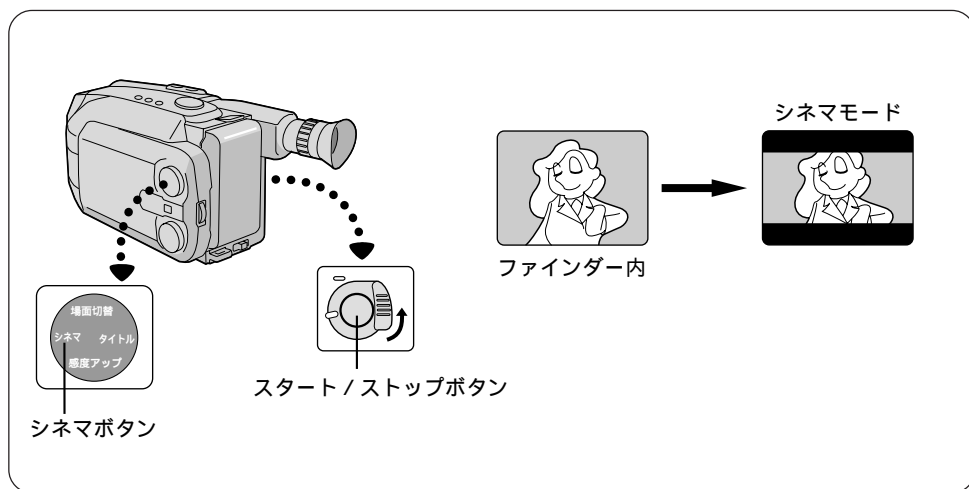
電源スイッチを、'撮影'にすれば、テープを入れなくてもムービーで撮っている映像を見ることができます。この状態で映像/音声コードをつなげば外部映像機器に出力することができます。(接続のしかたは ➡ 82 ページ)

撮影する(応用編)

シネマ効果をつける

映像の上下に黒い帯を入れて撮影することができます。

画面比率が 4 : 3 のテレビや、液晶画面またはファインダー内では、再生時、撮影時、ともに上下に黒い帯が入り 16 : 9 の映画のような映像になります。



撮影(応用)

1

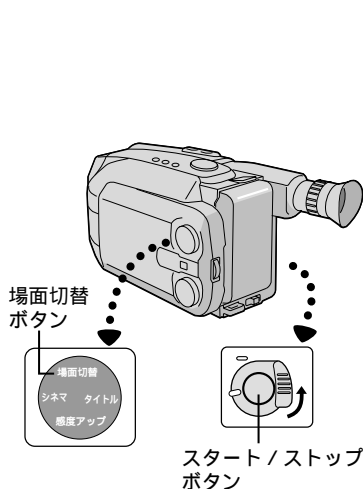
シネマを予約する

- 電源スイッチを '撮影' にします。
- シネマボタンを押します。
上下に黒い帯が出ます。

取り消したいときは、もう一度シネマボタンを押してください。押すごとに設定、取り消しを繰り返します。

場面のつなぎに変化をつける(場面切替)

場面の切り替えに変化をつけることができます。また後で編集をするときにも便利です。



フェーダー

映画やテレビのように、場面が徐々に薄れて消えていくことをフェードアウト、徐々に浮かび上がってくることをフェードインといいます。



ワイブ

映像を拭きとる(拭く=ワイブ)のように、場面が消えていくことをワイブアウト、真っ黒な場面を拭きとるようにして次の映像が現れてくることをワイブインといいます。



1

場面切替を予約する

- 電源スイッチを撮影にします。
- 場面切替ボタンを押します。
ファインダー内に次のように表示されます。

フェーダー

白い画面でフェードイン、フェードアウトします。

モザイク

モザイク画面でフェードイン、フェードアウトします。

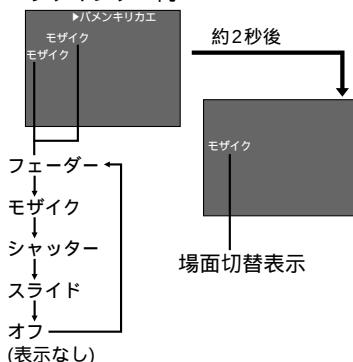
シャッター

黒い画面の中央から映像が上下に徐々にワイブインし、上下から中央にワイブアウトします。

スライド

黒い画面の右から左へ映像が徐々にワイブインし、左から右へワイブアウトします。

ファインダー内



2

場面切替を使う

スタート/ストップボタンを押します。

撮影一時停止のとき：フェードイン(またはワイプイン)しながら撮影がはじまります。

撮影中のとき：フェードアウト(またはワイプアウト)して撮影一時停止になります。

3

場面切替の予約を取り消す

- 場面切替ボタンをオフ(表示なし)になるまで押します。
場面切替表示が消えます。



フェードイン/フェードアウト状態を長くする
スタート/ストップボタンを押している間はフェードイン/
フェードアウト状態が続きます。

演出/効果と一緒に使う

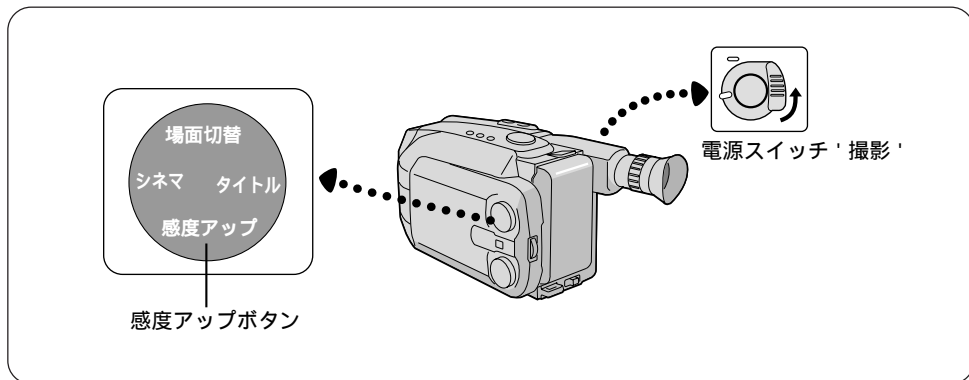
場面切替を使つての撮影時に、演出/効果(☞54ページ)を設定しておく
と、一段といろいろな映像効果が楽しめます。

D.S.C.(デジタルスチルカメラ)モードでは使えません

場面切替の表示は、D.S.C.モードでも画面に表示されますが、フェー
ダー/ワイプの機能は、ご使用になれません。

感度をあげる(感度アップ)

暗い場所で被写体を明るく撮る場合や暗いシーンをそのままの雰囲気で撮影する場合に便利です。



1

電源を入れる

電源スイッチを '撮影' にします。

2

感度アップを選ぶ

感度アップボタンを押して、使いたい感度に合わせてください。

オート

暗い場所で、被写体を明るくすることができます。電氣的な処理をしているために、暗い場所では多少映像がザラザラした感じになります。

ノーマル

薄暗い場所で、被写体を明るく撮ることができます。'オート' より画面は暗くなりますが、ザラザラ感は少なくなります。

切

暗いシーンをそのままの暗さで撮影します。



ファインダー内

約 2 秒後に表示が消えます。

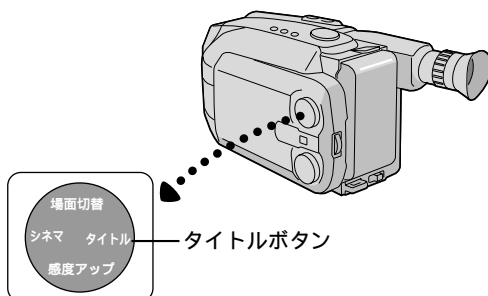
3

通常の撮影に戻したいときは

感度アップボタンを押して、'オート' にしてください。

タイトルを入れて撮る

8つのタイトルの中から映像にあったものを入れて撮影することができます。自分だけのタイトルを作って入れることもできます。(☞52ページ)D.S.C.(デジタルスチルカメラ)機能を使って撮影する場合、タイトルは記録できません。



1

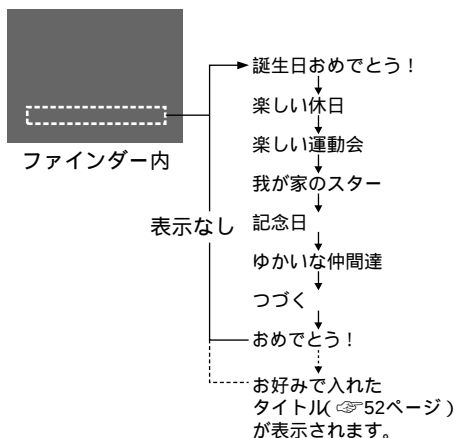
タイトルを選ぶ

- 電源スイッチを '撮影' にします。
- タイトルボタンを押してお好みのタイトルを表示させます。
- 自分だけのタイトルを作りたいときは (☞52ページ)

2

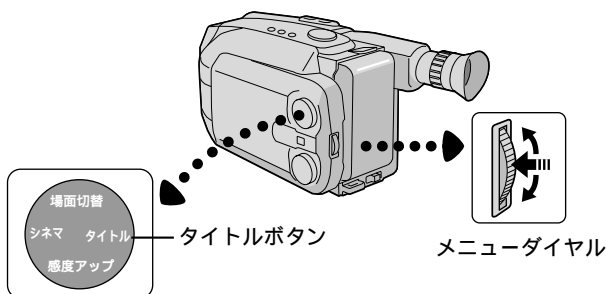
タイトルを消すには

- タイトルが消えるまでタイトルボタンを押します。



自分だけのタイトルを作る

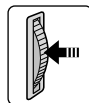
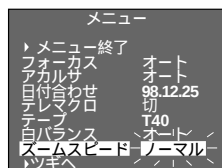
最大 18 文字までの、お好みのタイトルを作ることができます。



1

メニュー画面を表示させる

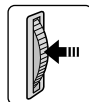
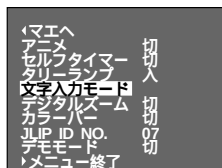
- 電源スイッチを ' 撮影 ' にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。



2

文字入力モードを選ぶ

- メニューダイヤルを文字入力モードのメニューがでくるまで下に回します。
- メニューダイヤルを回して ' 文字入力モード ' を選び、メニューダイヤルを押します。
(文字入力モードの画面が表示されま
す。)



文字入力モード画面

3

タイトルを作る

メニューダイヤルを使ってタイトルを入力します。

- メニューダイヤルを回して文字を選びます。
- メニューダイヤルを押して文字を決定します。
- 繰り返して最大18文字まで入力できます。



4

文字入力を終える

- メニューダイヤルを回してカーソルを終了に合わせます。
- メニューダイヤルを押します。



5

メニュー画面を閉じる

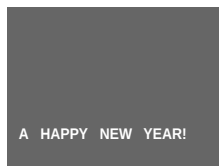
- メニューダイヤルを押します。

6

入力したタイトルを表示する

- タイトルボタンまたは日付/時刻ボタンを押して入力したタイトルを表示することができます。

(☞ 51、44 ページ)



文字を入れる位置を選ぶ

文字と文字の間をあけたり、入力した文字を書き直すことができます。

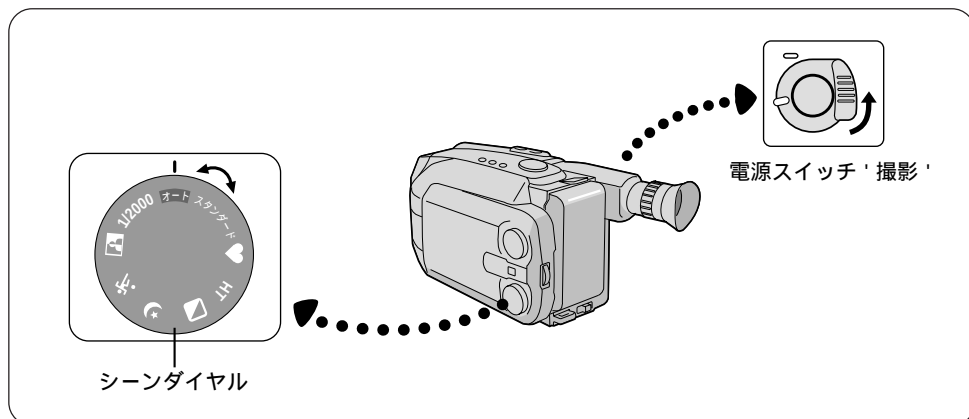
- メニューダイヤルを回して、画面下の '◀' または '▶' を点滅させます。
- メニューダイヤルを押して画面下の入力文字列の四角を左右に動かし、入れたい位置にします。
- メニューダイヤルを回して、あらたに入れたい文字を選びます。(文字と文字の間をあけたいときや、1文字だけ消したいときは、画面左上の 'M' を選びます。)

入力した文字を全て消す

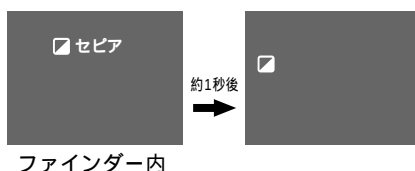
メニューダイヤルを回して、画面右下の 'クリア' を選びメニューダイヤルを押します。

映像に変化をつける(演出/効果)

映像に変化をつけて、撮影することができます。



- 1** 電源を入れる
 - 電源スイッチを '撮影' にします。
- 2** 演出/効果を選ぶ
 - シーンダイヤルを、使いたい演出/効果に合わせてください。
 - ファインダー内に選んだ演出/効果のマークと機能名が表示され、約1秒後にマークのみとなり、演出/効果が設定されます。
 - 撮影中や撮影一時停止状態でも、演出/効果を選び直すことができます。
- 3** 通常の撮影に戻したいときは
 - シーンダイヤルを 'オート' または 'スタンダード' に合わせてください。



シーンダイアル の表示	ファインダー内 の表示	機能名	こんなことができます
	 ファンタジー	ファンタジー	霧がかかったようなソフトなイメージの映像を撮影することができます。
HT	HT ハーフトーン	ハーフトーン	薄い色のサングラスをかけて見るような映像を撮影することができます。画面の白っぽさを抑えたいときに役立ちます。
	 セピア	セピア	映像がセピア色に記録され、古い映画のような雰囲気を楽しめます。 D.S.C. (デジタルスチルカメラ) モードのときは、白黒で記録されます。
	 ヤケイ	ヤケイ (夜景)	夕日が沈むときなど、夜景を撮るときザラザラしない自然な感じで撮影することができます。
	 スポーツ	スポーツ	シャッタースピードが、周囲の明るさに応じて自動で1/250秒～1/500秒に変化します。運動会での撮影など、動きのある被写体を撮るときに効果的です。スロー再生や静止画再生機能のついたビデオデッキで再生したとき、被写体をブレの少ない映像で楽しめます。
	 ネガポジ	ネガポジ反転	白い部分と黒い部分を反転してネガフィルムのように見せて記録することが出来ます。
1/2000	 2 S 1/2000	S1/2000 (1/2000秒 高速シャッター)	テニスやゴルフのスウィングなど、かなり動きの速い被写体を撮るときに効果的です。スロー再生や静止画再生機能のついたビデオデッキで再生したとき、被写体をブレの少ない映像で楽しめます。



セピアで撮影をするときは

- ・白バランス (☞58 ページ) を調節すると、ファインダー内の白バランスの表示は変わりますが、機能としては働きません。
- ・フェーダー (☞48 ページ) を合わせて使うと、白い画面が少し赤味をおびて録画されます。

高速シャッターで撮影するときは

画面が暗くなります。なるべく明るい場所で撮影してください。

場面切替と一緒に使う

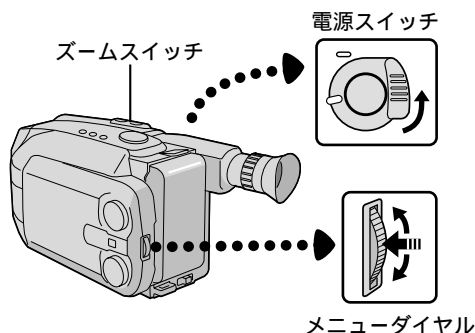
演出 / 効果を使つての撮影時に、場面切替 (☞48 ページ) を設定しておく、と一段といろいろな映像効果が楽しめます。

ヤケイで撮影するときは

- ・シーンダイアルを 'ヤケイ' に合わせると、感度アップ (AGC) は '切' の状態になります。感度アップ (AGC) を使いたいときは、あらためて設定してください。 (☞50 ページ)
- ・白バランスは  になります。お好みで変えることもできます。 (☞58 ページ)
- ・フォーカスは 10m ~ 無限遠の間で、自動的に合います。10m 以内のときは手動で合わせてください。 (☞56 ページ)

ピントを合わせる

ピントは約 1cm から無限遠まで、自動で合うようになっていきます。合いにくい場合や被写体が画面中央にないときなどは、手動でピントを合わせることをおすすめします。

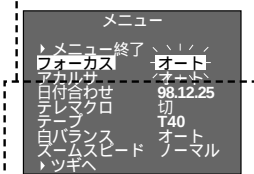


1

メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを '撮影' にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

録画中は表示されません。

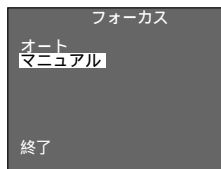


メニュー画面

2

ピントを選ぶ

- メニューダイヤルを回して 'フォーカス' を選び、メニューダイヤルを押します。
- メニューダイヤルを回して 'マニュアル' を選びメニューダイヤルを押します。ファインダー内に固定フォーカス表示 が出て、ピントが固定されます。



ピントの設定メニュー



ピントを自動調節に戻すには

- 手順 ② で「オート」を選びます。
- シーンダイヤルを 'オート' に合わせて自動調整に切り替えることができます。

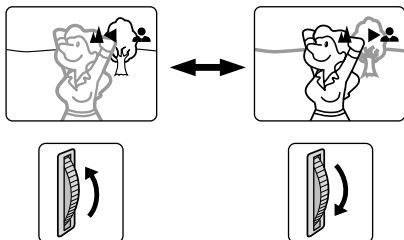
3

ピントを調節する

メニューダイヤルを回してピントを調節します。

遠くの被写体にピントを合わせる
メニューダイヤルを上に戻します。ファインダーに手動フォーカス表示 ▲◀▶ が点滅し、▶ が点滅します。手を離すとピントが固定されます。

近くの被写体にピントを合わせる
メニューダイヤルを下に戻します。ファインダーに手動フォーカス表示 ▲▶▶ が点滅し、▶ が点滅します。手を離すとピントが固定されます。



遠くの被写体に
ピントを合わせる

近くの被写体に
ピントを合わせる

4

メニュー画面を閉じる

- メニューダイヤルを 2 回押してメニュー画面を閉じます。



ピントが合わない

- 汚れやつゆつきなどでレンズにくもりがあると正しいピント合わせができません。汚れは柔らかい布などでふき取り、つゆつきは (☞18 ページ) 消えるまで待って撮影してください。
- ズームアップ状態でコントラストのほとんど無い被写体を撮影すると ▲◀▶▶ が点滅し、ピント合わせのため自動的にズームバックします。テレマクロ (☞62 ページ) 使用中はズームバックすることはありません。

▲または ▶▶ が点滅する

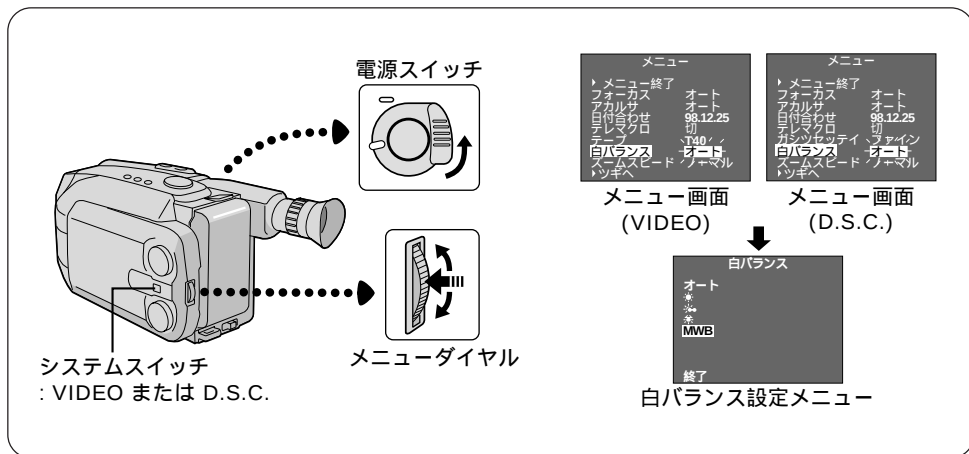
ピントが最遠点、最最近点になるとファインダー内の ▲▶▶ がそれぞれ点滅します。目安としてお使いください。

こんなときに手でピントを合わせます

- 平らな壁や青空など、コントラスト(明暗差)のほとんどない被写体を撮るとき
- 金網などの障害物が被写体との間にあるとき
- 細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
- 蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

白バランスを調節する

通常の撮影では自動で白バランスを調整しています。照明がろうそくのときと蛍光灯のときとでは、人間の目で見ても同じ色でもムービーで撮ると違った色になります。白バランスとは、それを自然な色合いに映るようにする機能です。



1

メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを'撮影'にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

白バランスを選ぶ

2

- メニューダイヤルを回して'白バランス'を選びます。
- メニューダイヤルを押します。
(白バランスの設定メニューが開きます。)

3

白バランスを設定する

メニューダイヤルを回して選択します。
オート 自動で白バランスを合わせます。

通常はこの位置で

- ☀ 晴れた日に屋外で撮影するとき
- ☁ くもりの日や日陰で撮影するとき
- 💡 ライトなどの照明を使って撮影するとき

MWB 記憶した白バランス(59ページ)で撮影するとき

4

白バランスを決定する

- メニューダイヤルを2回押します。

5

白バランスを自動に戻したいときは

手順③で'オート'を選択しメニューダイヤルを押します。

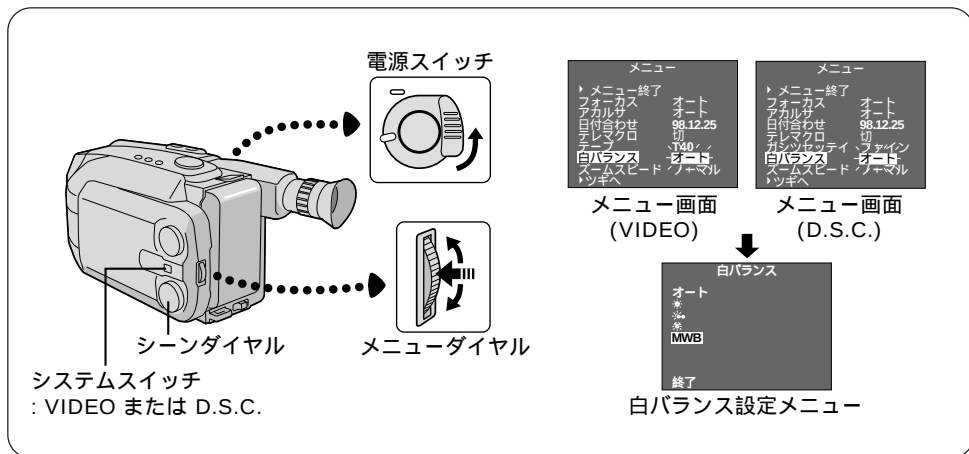
- メニューダイヤルを押します。
またはシーンダイヤルを'オート'にしてください。



液晶画面で色合いを確認する
白バランスを調節するときは、液晶画面で色合いを確認することをおすすめします。

白バランスを記憶する

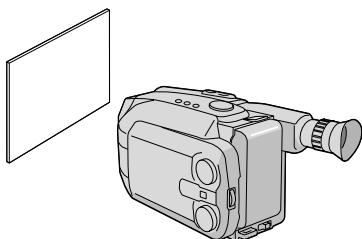
いろいろな光のあたっている被写体を撮影すると、写す位置によって色合いが変わります。そんなときは 'MWB' をえらんで、手動で白バランスを設定して記憶すると、色合いが統一され自然な感じで撮影することができます。



撮影(応用)

1 白バランスを設定する
58 ページの手順 ① ~ ③ をおこない、MWB を選択します。

2 白い紙を写す
被写体とムービーのレンズの間に白い紙を置き、画面いっぱいに写してください。



3 白バランスを記憶する
メニューダイヤルを 3 秒以上押し続けます。

• 'MWB' の表示が点滅し、白バランスを調節します。'MWB' の点滅する白バランス設定メニューからメニュー画面に変わったら記憶終了です。

4 メニュー画面を閉じる
メニューダイヤルを押します。

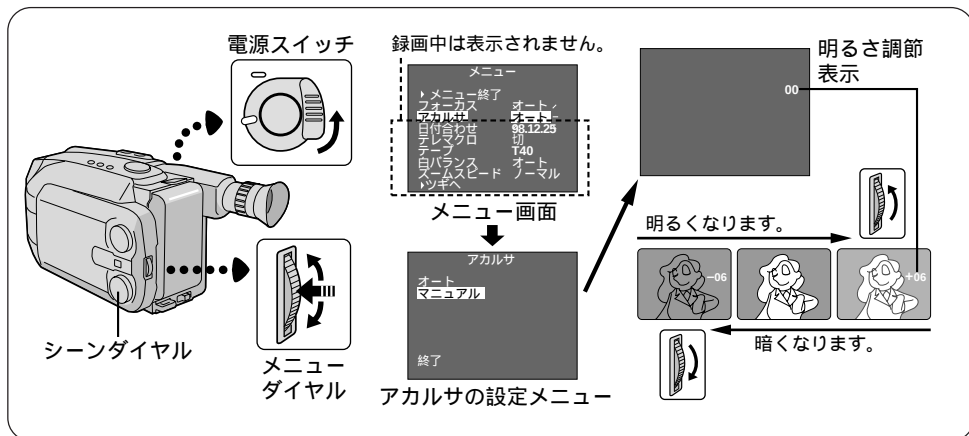
色合いを変えて撮影する

'MWB' をえらんで手動で白バランスを設定するときに、白い紙のかわりに色紙を使うと、その色を基準に色合いを調節し、少し変わった色で撮影を楽しめます。

例：赤い紙を使うと → 緑がかった色
青い紙を使うと → オレンジがかった色
黄色い紙を使うと → 青みがかった色
緑色の紙を使うと → 紫がかった色

明るさを調節する

通常は被写体をはっきり映るように、画像の明るさを自動で調整しています。被写体に合わせて手動で調節することもできます。



1

メニュー画面を表示させる

- ・電源スイッチを「撮影」にします。
- ・シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- ・メニューダイヤルを押します。

2

アカルサを選ぶ

- ・メニューダイヤルを回して「アカルサ」を選び、メニューダイヤルを押します。
- ・メニューダイヤルを回し「マニュアル」を選びメニューダイヤルを押します。

3

明るさを調節する

- ・メニューダイヤルを回して明るさを調節します。(-6から+6までの範囲で調節できます。)

4

メニュー画面を閉じる

- ・メニューダイヤルを2回押してメニュー画面を閉じます。



以下のような環境では、手動で明るさを調節することをおすすめします。

- ・逆光のときや、スキー場や海辺で光の反射が強いときなど、背景が明るすぎて被写体が暗くなるとき
- ・スポットライトの中にいる人物を撮るときなど、背景に比べて被写体が明るすぎる時

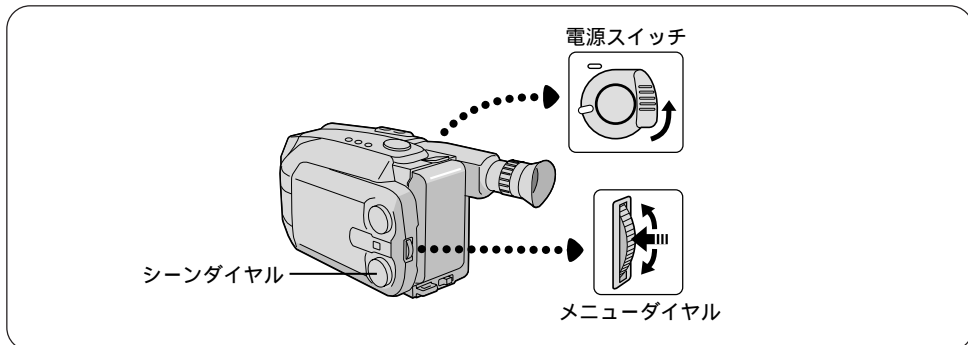


明るさ調節を自動調整に戻すには

- ・手順②で「オート」を選びます。
- ・シーンダイヤルを「オート」に合わせて自動調整に切り替えることができます。

メニューを使って機能設定をする

メニュー画面を使っていろいろな機能を設定することができます。



1

メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを「撮影」にします。
- シーンダイヤルを「スタンダード」に合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

2

設定したい項目を選ぶ

- メニューダイヤルを回して項目を選びます。
- メニューダイヤルを押します。
(項目の設定メニューが開きます。)

3

機能を設定する

- 「フォーカス」、「アカルサ」、「日付合わせ」のときはそれぞれのページをご覧ください。
フォーカス：☞56ページ、
アカルサ：☞60ページ
日付合わせ：☞102ページ
- 「JLIP ID NO」のときは
 - メニューダイヤルを押すと数字が点滅します。
 - メニューダイヤルを回して数字を変更し、メニューダイヤルを押します。
 - メニューダイヤルを回して「終了」を選びます。
- その他の機能のときは
 - メニューダイヤルを回して設定を選びます。
 - 項目の設定メニューが開く前の設定に戻りたいときは、「終了」を選びます。

4

設定を終える

- メニューダイヤルを押します。
メニュー画面に戻ります。
- メニューダイヤルをもう一度押すとメニュー画面が消えます。

次ページへつづく

撮影する(応用編)(つづき)

メニュー機能一覧表

機 能 名		こんなことができます
フォーカス	オート	自動的にピントを調節します。
	マニュアル	手動でピントを合わせるときに選択します。(☞56ページ)
アカルサ	オート	自動的に明るさを調節します。
	マニュアル	手動で明るさを調節するときを選択します。(☞60ページ)。
日付合わせ	日付、時間を設定するとき。(☞102ページ)	
テレマクロ	切	通常はこの位置で。
	入	近くにある被写体を、画面いっぱいにズームアップして撮影することができます。(目安:約60cmの距離まで近づいて撮影できます。)ただし、ズーム中はフォーカスが合わないこともあります。テレマクロが「切」になっていると、ズームの最望遠点で1m以上離れないとフォーカスは合いません。
テープ	T20 / T30 / T40	テープの長さを選びます。システムスイッチが「VIDEO」のときに表示されます(☞32ページ)
画質設定	ファイン/スタンダード	D.S.C.(デジタルスチルカメラ) 画像の画質を選びます。システムスイッチが「D.S.C.」のときに表示されます(☞36ページ)
白バランス	オート	自動で白バランスを合わせます。通常はこの位置で。
	MWB	MWB 記憶した白バランスで撮影するとき。(☞59ページ)
		晴れた日に屋外で撮影するとき
		くもりの日や日陰で撮影するとき
		ライトなどの照明を使って撮影するとき
ズームスピード	ノーマル / スロー	ズームスピードを遅くすることができます。(☞41ページ)
アニメ	アニメ撮影(☞66ページ)、タイムラプス撮影(☞68ページ)をおこなうときに設定します。	
セルフタイマー	セルフタイマー撮影(☞64ページ)、タイムラプス撮影(☞68ページ)をおこなうときに設定します。	
タリーランプ	入 / 切	タリーランプ(撮影中ランプ)を「切」にできます。
文字入力モード	自分だけのタイトルを作るとき。(☞52ページ)	

メニュー機能一覧表（つづき）

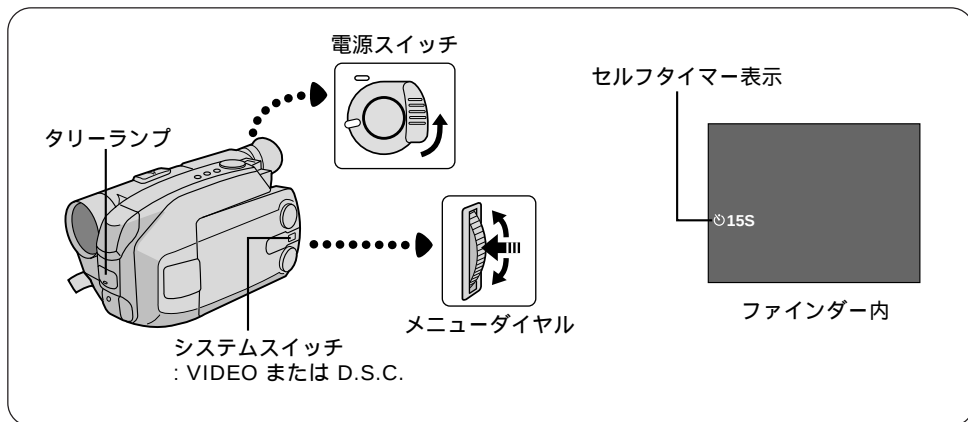
機 能 名		こんなことができます
デジタルズーム	切	光学式ズーム(レンズの性能)で約2.2倍まで拡大できます。
	入	光学式ズームで拡大した映像をさらにデジタル処理を行って倍の4.4倍まで拡大します。光学式ズームに比べるとやや画質は落ちます。
カラーバー	切	カラーバーは表示されません。通常は ' 切 ' にします。
	入	カラーバーが出力されます。カラーバーをテープの最初または最後に記録しモニターテレビのカラーまたは色相コントロールの調節を行うことができます。カラーバーが表示されている間は他の機能の操作はできません。
JLIP ID NO.	別売のJLIP対応機種を使ってパソコンとムービーをつなぎ、動かすためのものです。01～99まで設定できます。出荷時の設定は06です。	
デモテープ	切 / 入	フェーダーやインスタントタイトルなどをデモンストレーションで確認できます。デモモードを'入'にするにはテープを取り出すか、テープの消去防止用ツメをOFFにしてから選択します。'入'を選びメニュー画面を閉じると、デモンストレーションが始まります。デモンストレーション中は、ズーム、テープの出し入れ、電源の入 / 切以外の操作は出来ません。デモンストレーションをやめるには、消去防止用のツメが ' ON' になったテープを入れるか、電源を切 / 入します。

撮影
応用

：シーンダイヤルが ' オート ' のときは、この内容に設定されます。

セルフタイマー撮影をする

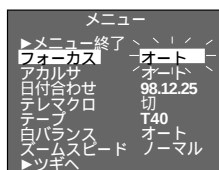
スタート/ストップボタンを押してから録画が始まるまでの時間を、15 秒、30 秒、1 分、5 分の中から選んで設定することができます。ムービーを固定して、撮影していた人も画面に入れます。D.S.C. (デジタルスチルカメラ) でも利用できます。



1

メニュー画面を表示させる

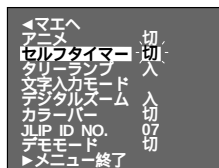
- 電源スイッチを '撮影' にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。



2

セルフタイマーを選ぶ

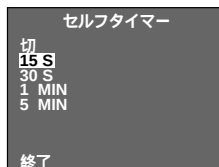
- メニューダイヤルを回して 'セルフタイマー' を選びます。
- メニューダイヤルを押します。
(セルフタイマーの設定メニューが開きます。)



3

撮影開始までの時間を選ぶ

メニューダイヤルを回して、'15 S' (15 秒後)、'30 S' (30 秒後)、'1 MIN' (1 分後)、'5 MIN' (5 分後)、'切' の中からお好みの時間を選びます。



4

メニュー画面を閉じる

メニューダイヤルを 2 回押してください。
通常画面に戻ります。



5

セルフタイマー撮影をする

スタート/ストップボタン、又はスナップショットボタンを押します。タリーランプが点滅をはじめ、撮影開始 5 秒前に早い点滅となり、撮影開始と同時に点灯に変わります。

6

撮影をやめる

- もう一度スタート/ストップボタンを押せば、撮影一時停止になります。
- セルフタイマー撮影をくり返したいときは ②～⑥ の操作をおこなってください。

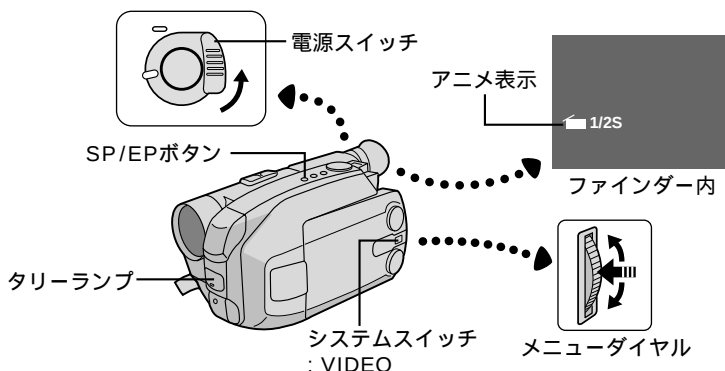
撮影
(応用)



タリーランプの点滅中にセルフタイマーを解除したい場合は、スタート/ストップボタンを押して点滅を止め、セルフタイマーの設定を '切' にしてください。

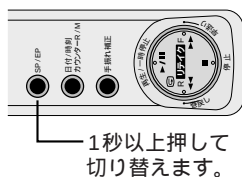
アニメ撮影をする

人形などを少しずつ動かして、短い時間で繰り返し撮影し、再生すると、ひとりでに動いているような映像を楽しめます。D.S.C.(デジタルスチルカメラ)では利用できません。



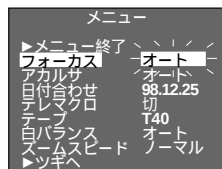
1 録画モードを SP にする

- 電源スイッチを'撮影'にし、SP/EPボタンを押して、録画モードをSPにしてください。(32ページ)EPではアニメ撮影はできません。
- システムスイッチを'VIDEO'にしてください。



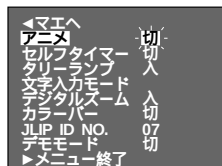
2 メニュー画面を表示させる

- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。



3 'アニメ' を選ぶ

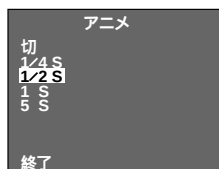
- メニューダイヤルを回して'アニメ'を選びます。
- メニューダイヤルを押します。
(アニメ設定メニューが開きます。)



4

撮影時間の長さを設定する

メニューダイヤルを回して、1/4S (1/4秒ずつ) ' 1/2S (1/2秒ずつ) ' 1S ' (1秒ずつ) ' 5S ' (5秒ずつ) ' 切 ' の中からお好みの時間を選びます。



5

メニュー画面を閉じる

メニューダイヤルを2回押してください。通常画面に戻ります。



6

アニメ撮影をする

被写体をムービーの前に置き、スタート/ストップボタンを押します。設定した時間、撮影したあと、自動的に一時停止の状態になります。撮影を繰り返して映像をつくっていきます。

7

通常の撮影に戻したいときは

設定したときと同様に、メニュー画面で「アニメ」の設定を「切」にします。

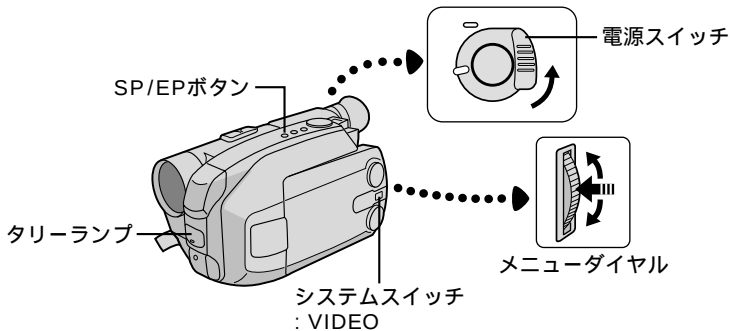
撮影（応用）



- アニメ撮影のときには、場面切替（48ページ）は使えません。
- 誤動作を防ぐためアニメ撮影が終わったら、必ず設定を「切」にしてください。

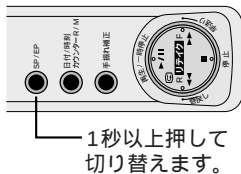
タイムラプス撮影をする

セルフタイマー（64 ページ）とアニメ撮影（66 ページ）を合わせて使います。一定間隔で自動的に、短い時間の録画スタート/ストップを繰り返します。交差点で人の流れを撮ったりすると、映画のように凝った映像を楽しめます。D.S.C.（デジタルスチルカメラ）では利用できません。



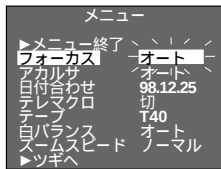
1 録画モードをSPにする

- 電源スイッチを‘撮影’にしSP/EPボタンを押して、録画モードをSPにしてください。(➡32ページ)EPではタイムラプス撮影はできません。
- システムスイッチを‘VIDEO’にしてください。



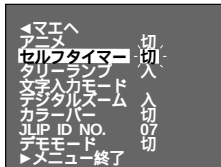
2 メニュー画面を表示させる

- シーンダイアルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイアルを押します。



3 セルフタイマーを選ぶ

- メニューダイヤルを回して「セルフタイマー」を選びます。
- メニューダイヤルを押します。
(セルフタイマーの設定メニューが開きます。)



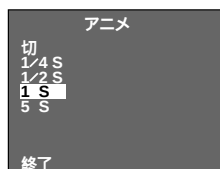
4 撮影の間隔を設定する

- メニューダイヤルを回して、‘15S’ (15秒後) ‘30S’ (30秒後) ‘1MIN’ (1分後) ‘5MIN’ (5分後) ‘切’の中から好みの時間を選びます。
- メニューダイヤルを押します。メニュー画面に戻ります。



5 撮影時間の長さを設定する

- メニューダイヤルを回して‘アニメ’を選びます。
- メニューダイヤルを回して、‘1/4S’ (1/4秒ずつ) ‘1/2S’ (1/2秒ずつ) ‘1S’ (1秒ずつ) ‘5S’ (5秒ずつ) ‘切’の中から好みの時間を選びます。



6 メニュー画面を閉じる

メニューダイヤルを2回押してください。通常画面に戻ります。



7 タイムラプス撮影をする

スタート/ストップボタンを押すと、設定した間隔で自動的に、録画スタート/ストップを繰り返します。

8 通常の撮影に戻したいときは

スタート/ストップボタンを押して撮影をやめ、設定したときと同様に、メニュー画面で‘セルフタイマー’と‘アニメ’の設定を‘切’にします。



- タイムラプス撮影のときには、場面切替(48ページ)は使えません。
- 誤動作を防ぐために、タイムラプス撮影が終わったら、必ず‘セルフタイマー’と‘アニメ’の設定を‘切’にしてください。

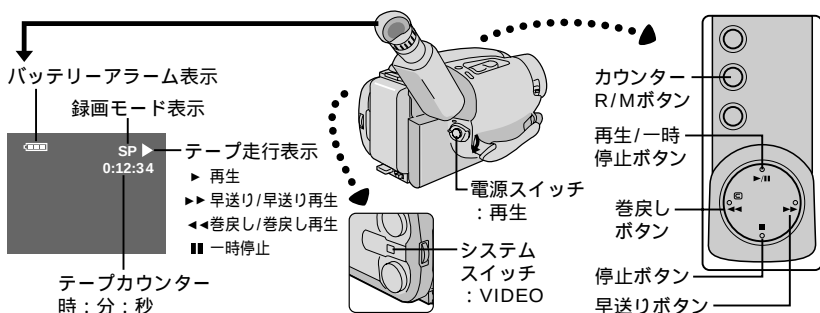
再生する

テープを再生する

撮影した映像を、ファインダー内または液晶画面で見ることができます。

再生をする前に、以下の準備をしてください。

- ・電源を準備する（➡26 ページ）
- ・撮影したテープを入れる（➡33 ページ）



1 モードを選ぶ

- ・システムスイッチを 'VIDEO' にします。
- ・バッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを '再生' にします。



テープの早送り / 巻戻し

停止ボタンを押してから、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押します。テープの初めや終わりまで早送りや巻戻しをすると自動的に停止します。

VHS-Cテープをビデオデッキで見には（➡72 ページ）

カセットアダプター C-P6（付属）を使えば、そのままビデオデッキで見ることができます。

2 テープを巻き戻す

巻戻しボタンを押します。

3 再生をする

再生ボタンを押します。

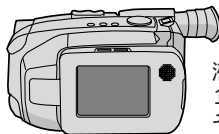
- ・液晶画面で見るときは、液晶画面を 45°以上開いてください。ファインダーは自動的に '切' になります。

4 再生をやめる

停止ボタンを押します。

- ・5分以上停止の状態を続けると、節電のため自動的に電源が切れます。再生を続けたいときは、電源スイッチ '切' にしてから '再生' にしてください。

液晶画面を見ながら再生する場合



液晶画面を開いて 180°回転させ、そのまま閉じます。



テレビ画面で見たいときは 82 ~ 83 ページをご覧ください、テレビに接続します。

トラッキングの調節

画面に出るノイズを調節して画面をよくします。ムービーが自動的に調節（オートトラッキング）しますが、合いにくい場合は手で調節します。再生中メニューボタンを押します。メニューダイヤルを回し、画面がよくなるように調節します。

- 自動に戻すにはメニューダイヤルを押します。‘AT’表示が出て自動でトラッキングを調節します。‘AT’表示が消えたら調節終了です。
- 他のビデオで録画されたテープは、十分に調節できないことがあります。

静止画再生

再生画を一時止めて見るができます。

再生中、一時停止ボタンを押します。再生に戻したいときは、もう一度一時停止ボタンを押して下さい。

- 静止画再生を約5分以上続けると、テープ保護のため自動的に電源が切れます。再生を続けたいときは、電源スイッチを‘切’にしてから‘再生’にしてください。
- 静止画再生中は画面にノイズが出たり、白黒になったり、暗くなったりしますが故障ではありません。特にSP（高画質）モードの場合はノイズが多くなります。
- 音声はできません。

高速再生

早送りや巻戻しをしながら高速で再生することができます。

- 再生中、早送りボタンまたは巻戻しボタンをボンと一度押すと、高速再生します。見たいシーンで再生ボタンを押せば通常再生になります。
- 指を離さずに、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続けると、高速で再生します。見たい場面で指を離せば、通常再生になります。
- 高速再生中は画面にノイズが出たり、白黒になったり暗くなったりしますが故障ではありません。特にSP（高画質）モードの場合はノイズが多くなります。
- 音声はできません。

カウンターメモリ

見たい場面で自動的にテープを止めることができます。

再生中、見たい場面でカウンターR/Mボタンを約2秒以上押し、カウンターが0:00:00になったら続けてもう一度カウンターR/Mボタンを軽くボンと押します。

- カウンターがM0:00:00になり、カウンターメモリが設定されます。テープが停止した状態で早送りボタンや巻戻しボタンを押すと、0:00:00付近で自動的に停止し、再生ボタンを押せば、見たい場面を見ることができます。カウンターメモリを取り消したいときは、カウンターR/Mボタンを軽くボンと押して‘M’を消してください。
- カウンターメモリを使ってテープを止めた後、すぐに早送りや巻戻しをすると、また0:00:00付近で止まってしまうことがあります。そんなときはカウンターメモリを取り消してください。



テープカウンターを0:00:00に戻すにはカウンターR/Mボタンを約2秒以上押してください。

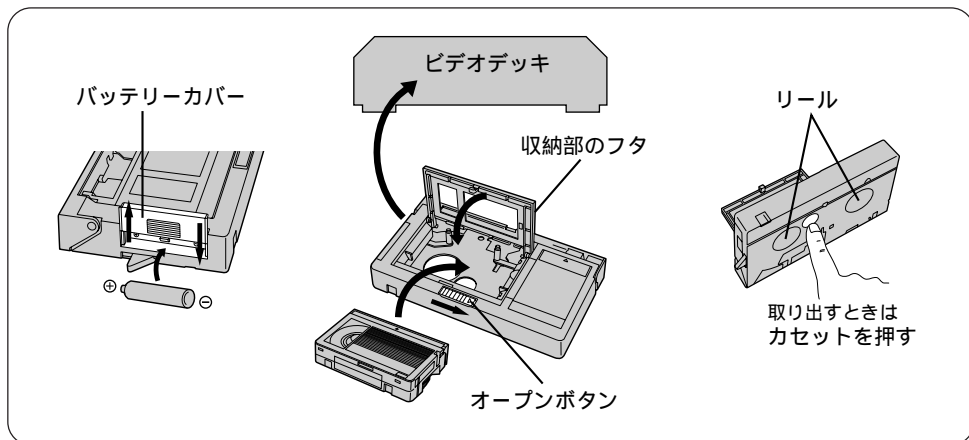
- カウンター値は無記録部分では変わりません。
- テープを取り出すと、0:00:00に戻ります。
- 0:00:00を越えて巻戻すとーが表示されます。
- 再生途中でも、カウンターR/Mボタンを約2秒以上押せば、カウンターを0:00:00に戻すことができます。

液晶画面 / ファインダー表示について

- 液晶画面を開くと‘バッテリー残量表示’が5秒間表示され自動的に消えます。バッテリー残量が残りが少ない場合は、‘バッテリーアラーム表示’が点滅します。
- 停止、早送り、巻戻し中は、ファインダーには何も表示されません。

カセットアダプターを使う

撮影したテープを付属のカセットアダプター（C-P6）に入れると、そのままビデオデッキで再生することができます。



1

バッテリーを入れる

- バッテリーカバーを上を押して外し、付属の乾電池（単三1本）を正しく図のように入れます。
- バッテリーカバーを閉めます。

2

コンパクトビデオカセットを入れる

- オープンボタンを矢印の方向にカチッと音がするまで動かす。（収納部のフタが開きます）
- カセットを入れて収納部のフタを閉めます。
- テープにタルミがある場合は、リールを回し、テープのタルミをなくしてください。

3

再生する

- ビデオデッキにカセットアダプターを入れます。
- ビデオデッキの再生ボタンを押します。
- 再生が終わったらビデオデッキのイジェクトボタンを押します。

4

カセットを取り出す

- オープンボタンを矢印の方向にカチッと音がするまで動かす。（収納部のフタが開きます）
- カセットアダプターの底面の穴からカセットを押すと取り出しやすくなります。
- 取り出した後は、収納部のフタを閉めます。

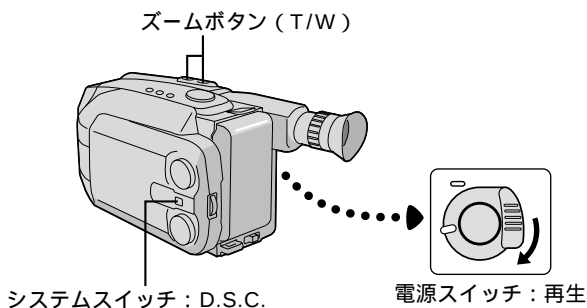


- テープが装着されるまでの時間が長くなってきたら、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。
- カセットアダプターを使用したとき、再生するビデオデッキによっては、録画した最初の部分が欠けることがあります。

D.S.C.(デジタルスチルカメラ)再生

D.S.C. を再生する

撮影した記念写真は、自動的に番号が付けられて内蔵メモリーに番号順に記憶されます。記憶された記念写真を 1 枚ずつページをめくるように見ることができます。



1

モードを選ぶ

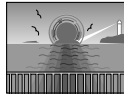
- システムスイッチを ' D.S.C. ' にします。
- バッテリーなどの電源を取り付け電源スイッチを ' 再生 ' にします。

2

再生する

- ズームボタン (T または W) を押して希望の画像を選びます。
T : 次の画像を再生します。
W : 前の画像を再生します。
- 最新の画像は、一番最後に撮影した画像になります。
- ファインダーの画像は白黒です。カラーでご覧になるには、液晶画面を 45° 以上開いてください。

T を押す
(次の写真を再生します)



W を押す
(前の写真を再生します)

再生

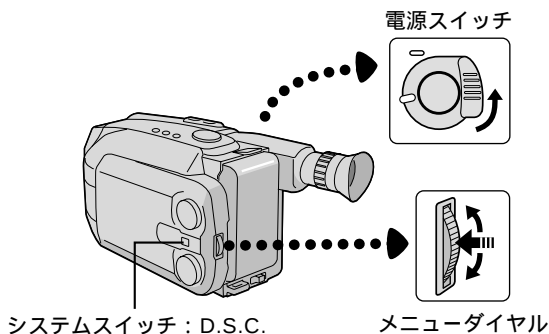


- 液晶画面を 45° 以上開くと、ファインダーではご覧になれません。
- ページを戻して次の撮影をおこなっても、前に撮影した画像の次に撮影されます。上書きされません。

D.S.C.(デジタルスチルカメラ)再生(つづき)

再生メニューの設定

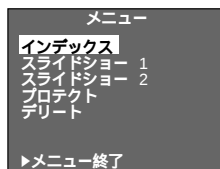
D.S.C. で撮影した画像の再生について、いろいろな設定をすることができます。



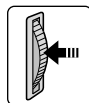
1

メニュー画面を表示させる

- システムスイッチを 'D.S.C.' にします。
- 電源スイッチを '再生' にします。
- メニューダイヤルを押します。



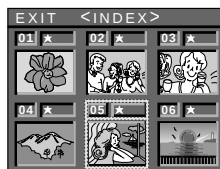
メニュー画面



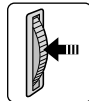
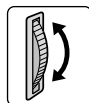
2

再生の設定する

- メニューダイヤルを回して選択します。(メニューは、インデックス、スライドショー 1、スライドショー 2、プロテクト、デリートの 5 種類です。)
- メニューダイヤルを押して選択した再生メニューの設定をします。



インデックス画面



3

設定終了

- メニューダイヤルを押します。(メニューが再び表示されます。)
- メニューダイヤルを回して 'メニュー終了' を選びます
- メニューダイヤルを押します。(メニューが消えます。)



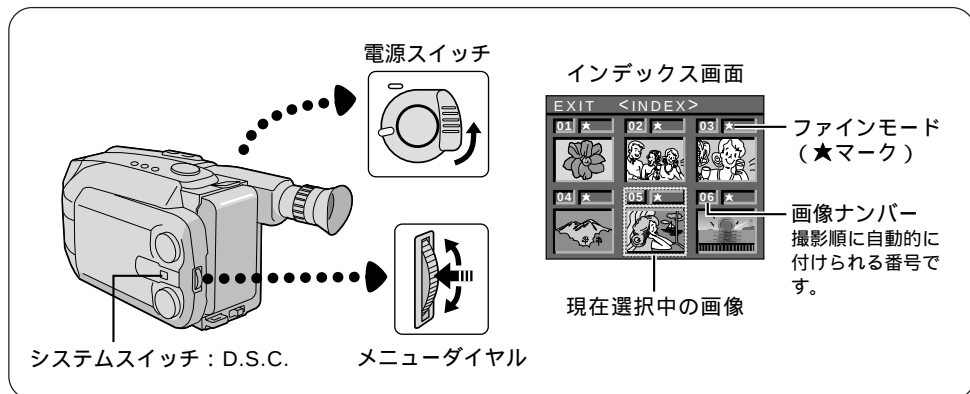
再生画面

メニュー機能一覧表

機能名	こんなことができます
インデックス	記念写真ボタンを押して撮影した、内蔵メモリーに記憶されている画像を一度に6枚ずつ表示します。 インデックス画面  ファインモード (★マーク) 現在選択中の画像 どのような画像が記憶されているか確認するときに便利です。操作方法の詳細についてはインデックス画面（☞76ページ）を参照してください。
スライドショー1	内蔵メモリーに記憶されている画像が1枚ずつページをめくるように自動的に切り替わり、表示されます。（☞77ページ） 
スライドショー2	内蔵メモリーに記憶されている画像が、つながってゆっくりと下から上に向かって移動しながら表示されます。画像が完全に表示されるとちょっと止まり再度移動を開始します。（☞77ページ） 
プロテクト	画像にプロテクト（削除防止）をかけると  マークがインデックス画像の上に付きます。プロテクトをかけた画像は、プロテクトをはずさないと削除できません。大切な画像を誤って削除することを防ぎます。（☞78ページ）
デリート	撮影した画像を削除します。全画面削除（オール）と選択画面削除（セレクト）があります。（☞80ページ） ご注意 削除実行中（'実行' が点滅しているあいだ）は決して電源を切らないでください。メモリーが壊れてしまいます。

インデックス画面

撮影した画像を6枚づつインデックス表示できます。記憶した画像を確認するときに便利です。画質モードや、プロテクトされているか等も確認できます。



1

メニュー画面を表示させる

- ・システムスイッチを 'D.S.C.' にします。
- ・電源スイッチを '再生' にします。
- ・メニューダイヤルを押します。

2

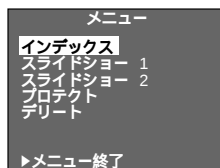
インデックス画面を表示させる

- ・'インデックス'を選択し、メニューダイヤルを押してインデックス画面を表示させます。
- ・メニューダイヤルを下に回すと6枚づつ新しい画像に切り替わります。上に回すと前の画像に戻ります。
- ・メニューダイヤルを回して画面を選択し、メニューダイヤルを押すと選択した画面が大きく再生されます。

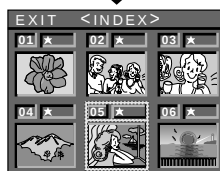
3

設定終了

- ・左上の'EXIT'にカーソルを合わせてメニューダイヤルを2回押します。(メニューが再び表示され、消えます。)



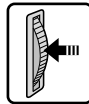
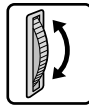
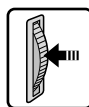
メニュー画面



インデックス画面



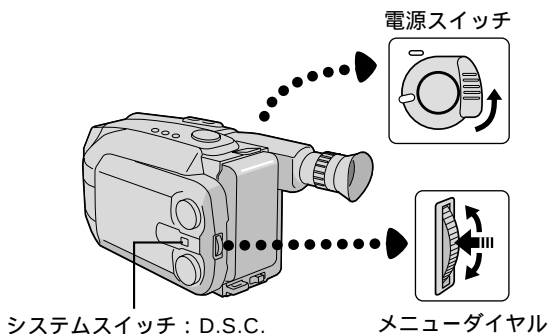
再生画面



画像が記憶されていないと、インデックスはグレーになり選択できません。

スライドショー

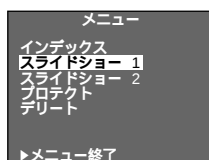
D.S.C. で撮影した画像を自動的に再生します。2 種類の自動再生モードがあります。



1

メニュー画面を表示させる

- システムスイッチを 'D.S.C.' にします。
- 電源スイッチを '再生' にします。
- メニューダイヤルを押します。



メニュー画面



再生

2

スライドショーを設定する

- メニューダイヤルを回して選択します。('スライドショー 1' と 'スライドショー 2' の 2 種類があります。)
- メニューダイヤルを押します。
- 表示されている画像から再生がはじまります。

スライドショー 1



画像が 1 枚づつ、ページをめくるように切り替わります。

スライドショー 2



画像がつながってゆっくりと下から上に向かって移動します。画像が完全に表示されるとちょっと止まり、再度移動を開始します。

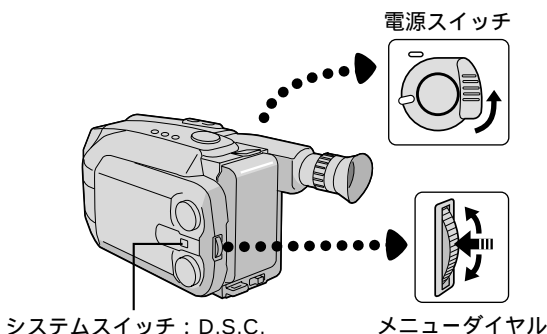
3

設定終了

- メニューダイヤルを 2 回押します。(メニューが再び表示され消えます。)

プロテクト(削除防止)をかける

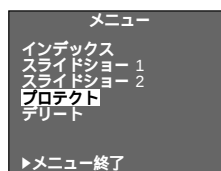
大切な画像を誤って消さないために、プロテクト(削除防止)をかけておくことができます。



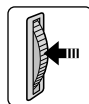
1

メニュー画面を表示させる

- システムスイッチを 'D.S.C.' にします。
- 電源スイッチを '再生' にします。
- メニューダイヤルを押します。



メニュー画面



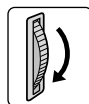
2

プロテクトをかける

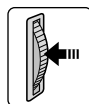
- メニューダイヤルを回して 'プロテクト' を選択しメニューダイヤルを押してプロテクト画面を表示させます。
- メニューダイヤルを下に回すと6枚ずつ新しい画像に切り替わります。上に回すと前の画像に戻ります。
- メニューダイヤルを回して画面を選択してメニューダイヤルを押すと、選択した画面に鍵マークが表示されます。(再度押すと消えます。)
- プロテクトをかけたい画面にすべて鍵マークを付けます。



プロテクト画面



鍵のマークが表示されます



3

設定終了

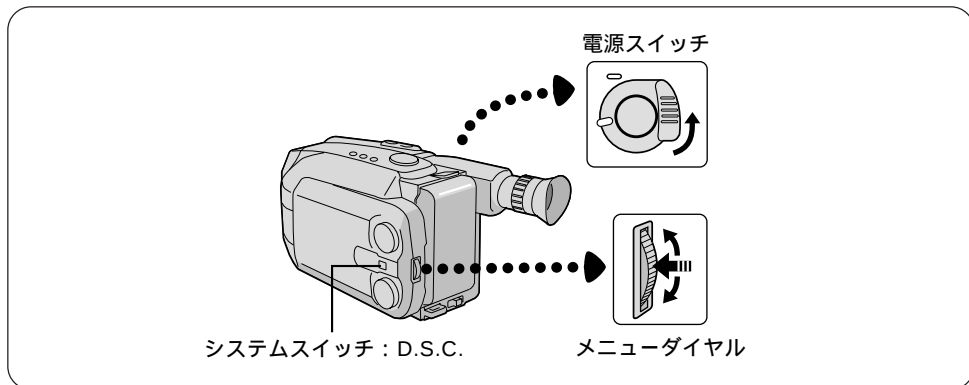
- 左上の 'EXIT' にカーソルを合わせてメニューダイヤルを 2 回押します。(メニューが再び表示され、消えます。)



画像をプロテクトしても、フォーマット(➡108ページ)した場合は削除されます。必要な画像はテープにインサート(➡88ページ)してください。

プロテクト（削除防止）をはずす

誤ってプロテクトをかけたり、不要になったプロテクト画像を削除するには、プロテクトをはずす必要があります。



1

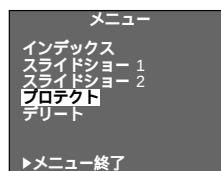
メニュー画面を表示させる

- ・システムスイッチを 'D.S.C.' にします。
- ・電源スイッチを '再生' にします。
- ・メニューダイヤルを押します。

2

プロテクトをはずす

- ・メニューダイヤルを回して 'プロテクト' を選択し、メニューダイヤルを押してプロテクト画面を表示させます。
- ・メニューダイヤルを下に回すと6枚づつ新しい画像に切り替わります。上に回すと前の画像に戻ります。
- ・メニューダイヤルを回してプロテクトをはずしたい画面を選択してメニューダイヤルを押すと、選択した画面の鍵マークが消えます。（再度押すと表示します。）
- ・プロテクトをはずしたい画面の鍵マークをすべて消します。



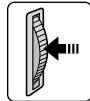
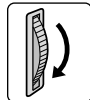
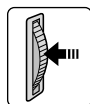
メニュー画面



プロテクト画面



鍵のマークが消えます



このマークを消します

再生

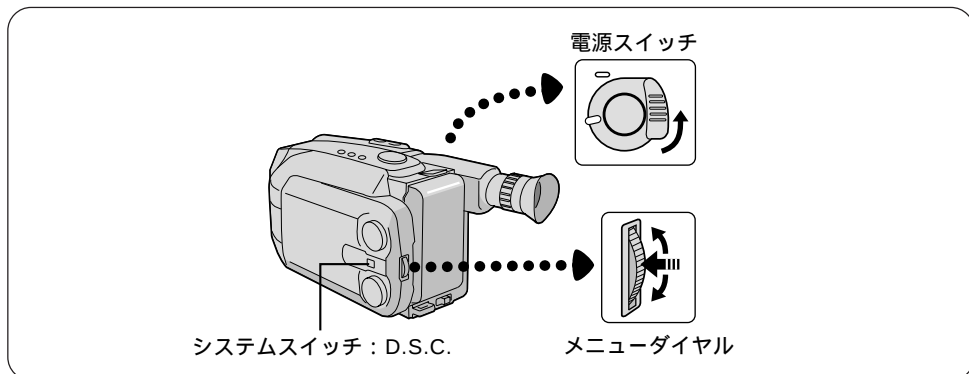
3

設定終了

- ・左上の 'EXIT' にカーソルを合わせてメニューダイヤルを 2 回押します。（メニューが再び表示され、消えます。）

画像を削除する

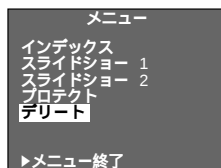
不要な画像を削除すると、削除した分だけメモリーに空きができ撮影出来る枚数を増やすことができます。削除には全画面削除（オール）と選択画面削除（セレクト）があります。



1

メニュー画面を表示させる

- システムスイッチを 'D.S.C.' にします。
- 電源スイッチを '再生' にします。
- メニューダイヤルを押します。
(メニュー画面が表示されます。)

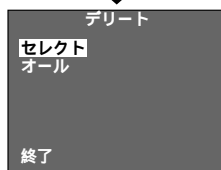


メニュー画面

2

削除メニューを設定する

- メニューダイヤルを回して 'デリート' を選択し、メニューダイヤルを押します。
(削除モード画面が表示されます。)



削除モード画面

↓ 'セレクト' を選択

3

削除モードの設定

- メニューダイヤルを回して削除モード（セレクトまたはオール）を選択します。
- メニューダイヤルを押します。
全画面（オール）の場合は手順 ⑤ の 2 項目めへ進みます。
選択画面（セレクト）の場合は次の手順に進んでください。（削除選択メニュー画面が表示されます。）

'オール' を選択



プロテクトしてある画像は削除できません。プロテクトを解除（☞ 79 ページ）してから削除してください。

4

セレクトを選択した場合 削除画面の設定

- メニューダイヤルを下に回すと6枚ずつ新しい画像に切り替わります。上に回すと前の画像に戻ります。
- メニューダイヤルを回して削除したい画面を選択してメニューダイヤルを押すと選択した画面に 'x' マークが表示されます。
(再度押すと 'x' マークが消えます。)
- 削除したい画面にすべて 'x' マークを付けます。

5

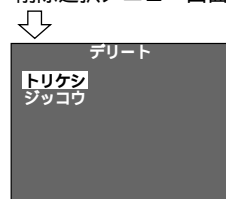
削除の実行

- 左上の 'NEXT' にカーソルを合わせてメニューダイヤルを押します。
(削除実行メニューが表示されます。)
- メニューダイヤルを回して 'ジッコウ' にカーソルを合わせてメニューダイヤルを押します。
('ジッコウ' が点滅して選択した画面が削除されメニュー画面が表示されます。)

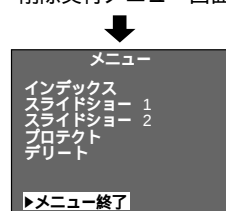
'セレクト' を選択



削除選択メニュー画面

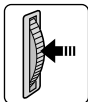
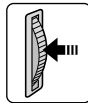
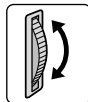
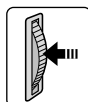
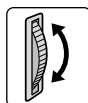


削除実行メニュー画面



メニュー画面

'オール' を選択

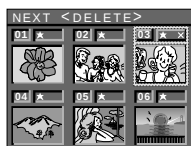


再生

6

メニュー画面を閉じる

- メニューダイヤルを押します。



削除選択メニュー画面
03の画面を選択して
削除すると



インデックス画面
03が削除されて後ろ
の画像が前に詰まって
表示されます。

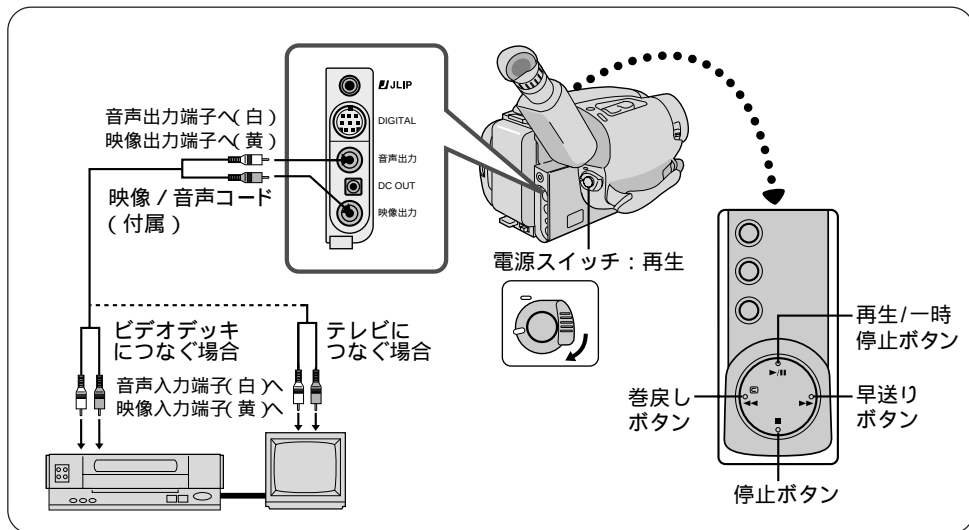


削除実行中 ('ジッコウ' が点滅中) に、電源を切ったり、バッテリーやACパワーアダプターをはずしたりしないでください。内蔵メモリーが壊れて使用できなくなる場合があります。

接続と編集

テレビやビデオデッキにつないで見る

再生や編集のための接続のしかたです。ご家庭のテレビやビデオデッキの取扱説明書もお読みください。電源は付属の AC パワーアダプター AA-V15 を使うことをおすすめします。



テレビにつないで見る

- 1** ムービーとテレビをつなぐ
付属の映像 / 音声コードで、図のようにムービーとテレビをつなぎます。
- 2** 電源を入れる
ムービーの電源スイッチを「再生」にし、テレビの電源を入れます。
- 3** テレビの入力を替える
ムービーからの映像と音声を受けるために、テレビの入力をムービーをつないでいる端子にします。テレビによって違いますので、お使いになるテレビの取扱説明書を見ながらおこなってください。(例 ビデオ 2、ビデオ 3、ムービーなど) ムービーからの映像と音声が、テレビに出ます。
- 4** 再生する
ムービーの再生ボタンを押すと、ムービーからの映像と音声がテレビに出ます。再生をやめたいときは停止ボタンを押してください。



テレビに映像 / 音声入力端子がない場合は RF ユニット RF-V5 (別売) をお使いください。くわしくは RF-V5 の取扱説明書をご覧ください。

ビデオデッキにつないで見る

1 ムービーとビデオデッキをつなぐ

付属の映像 / 音声コードで、図のようにムービーとビデオデッキをつなぎます。

2 電源を入れる

ムービーの電源スイッチを「再生」にし、ビデオデッキ、テレビの電源を入れ、テレビのチャンネルをいつもビデオを見ている位置にします。

3 ビデオデッキを外部入力にする

ビデオデッキによって違いますので、お使いになるビデオデッキの取扱説明書を見ながらおこなってください。(代表的な例を下にあげてあります。)

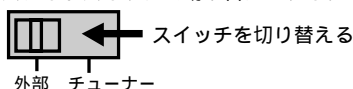
4 再生する

ムービーの再生ボタンを押すと、ムービーからの映像と音声 テレビに出ます。再生をやめたいときは停止ボタンを押してください。

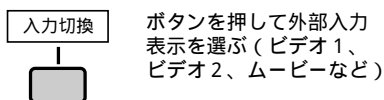


ビデオデッキを外部入力にするにはビデオデッキによって違います。お使いになるビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

例1 スライドスイッチで切り替えるタイプ



例2 入力切り替えボタンのタイプ



ダビングをする

ビデオデッキとつないで、撮影したテープを見ながら簡単にもう一本同じテープを作れます。

1 ムービーとビデオデッキをつなぐ

「ビデオデッキにつないで見る」の①～③の操作をしてください。

2 テープを入れる

撮影済みのテープをムービーに、録画するテープをビデオデッキに入れてください。

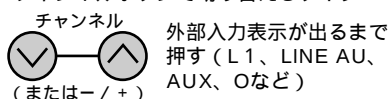
3 ダビングをする

ビデオデッキを録画一時停止の状態にし、ムービーの再生ボタンを押すと、ムービーからの映像と音声 テレビに出ます。ダビングしたいところでビデオデッキの録画をスタートしてください。

- ・ダビング中、カットしたいところはビデオデッキを録画一時停止にしてください。
- ・ダビングを終えるには停止ボタンを押してください。

外部入力にするとムービーからの映像と音声、テレビから出ます。

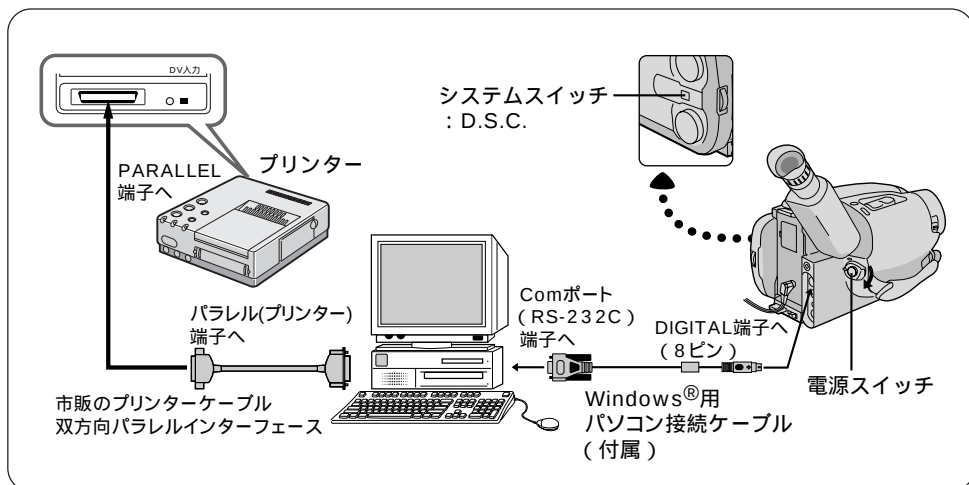
例3 チャンネルボタンで切り替えるタイプ



パソコンにつないで見る

内蔵メモリーに保存された静止画像を付属のパソコン接続キットを使用して、パソコンに転送できます。画像データのバックアップをとったり、デジタルプリンターを接続して出力することができます。

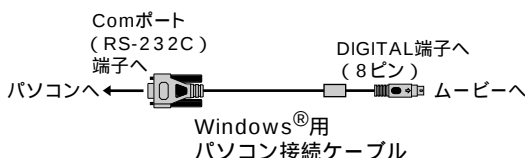
- ・パソコン接続ケーブル(付属)には、ノイズフィルターを取り付けてください。(別紙「ノイズフィルターの取り付け方」参照)



1

パソコンと接続する

- ・付属のパソコン接続ケーブルを本機のDIGITAL端子とパソコンのCOMポート(RS-232C)に接続します。
- ・PC98シリーズとの接続や変換アダプターについては付属のソフト取扱説明書をご覧ください。



- ・必ず電源を切った状態で接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。
- ・本機の電源には、ACパワーアダプターをお使いください。

2

ムービーを設定する

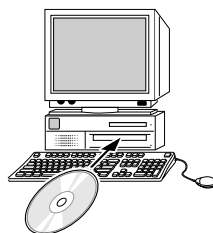
- ・システムスイッチは 'D.S.C.' にします。
- ・電源スイッチは '再生' にします。

3

付属の

CD-ROM をパソコンに入れる

- アプリケーションソフトがインストールされます。
- 詳細はソフト取扱説明書を参照してください。



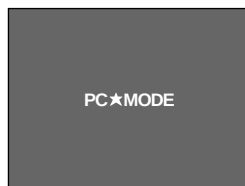
4

ピクチャー

ナビゲーター

Picture Navigatorを起動してパソコンに画像を取り込みます

- パソコンにインストールされた Picture Navigator を起動してムービーのメモリーからパソコンに画像データを転送します。
- パソコンへのデータ通信中は、ムービーの液晶画面またはファインダー内に右図のような表示が出ます。
- 詳細はソフト取扱説明書を参照してください。



通信中のムービーの画面

5

パソコンでのデータ処理

- パソコンに取り込まれたデータを画像処理したり、デジタルプリンターでの出力も可能です。
- 大切なデータはバックアップしてください。

編集
接続

6

終了

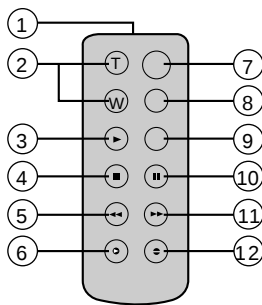
- Picture Navigator を終了します。
- パソコンとムービーの電源を切ります。
- 接続をはずします。



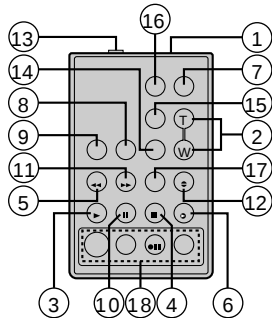
パソコンや、接続機器（プリンター等）の取扱説明書もご覧ください。

リモコン

付属のリモコン RM-V705 を使って、テープの再生中や編集中に、ムービーをリモートコントロールすることができます。ムービーのリモコン受光部に向けて使用します。また、別売リモコン RM-V706 を使えばム - ビ - 本体に付いていない機能を使うこともできます。



リモコン RM-V705（付属）



リモコン RM-V706（別売）

リモコンのボタン名称	各操作ボタンの働き	
	ムービーの電源スイッチ：' 撮影 '	ムービーの電源スイッチ：' 再生 '
① リモコン送信部	コントロール信号が送信されます。	
② ズーム	ズームアップ/バック (㊦ 41 ページ)	—
③ 再生	—	再生 (㊦ 70 ページ)
④ 停止	—	停止 (㊦ 70 ページ)
⑤ 巻戻し	リテイク R (逆転再生) (㊦ 42 ページ)	巻戻し (㊦ 70 ページ)
⑥ インサート	—	インサート (一時停止ボタンと同時押し) (㊦ 90 ページ)
⑦ スタート/ストップ	ムービーのスタート/ストップボタンと同じ	
⑧ セルフタイマー/インターバル	セルフタイマー/タイムラプス (㊦ 64、68 ページ)	—
⑨ アニメ/録画タイム	アニメ/タイムラプス (㊦ 66、68 ページ)	—
⑩ 一時停止	—	一時停止 (㊦ 71 ページ)
⑪ 早送り	リテイク F (正転再生) (㊦ 42 ページ)	早送り (㊦ 70 ページ)
⑫ アフレコ	—	アフレコ (一時停止ボタンと同時押し) (㊦ 92 ページ)
⑬ 編集端子	—	自動編集する時に使います (㊦ 94 ページ)
⑭ 設定	—	ビデオデッキのメーカー設定 (㊦ 94 ページ)
⑮ VISS	インデックスの記録	—
⑯ 記念写真ボタン	記念写真撮影 (㊦ 36 ~ 39 ページ)	—
⑰ ビデオ	—	ビデオデッキ操作時に使います (㊦ 94 ページ)
⑱ プログラム編集	—	自動編集するときに使います (㊦ 94 ページ)

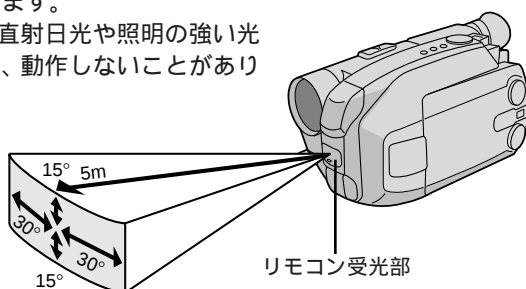
⑬ ~ ⑱ は RM-V706（別売）にのみついています。

リモコンの使用可能範囲

操作範囲は屋内で約 5m です。

ムービーのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。

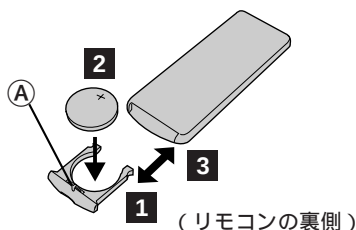
また、ムービーのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たるとムービーが誤動作したり、動作しないことがあります。



リモコン用電池の入れかた

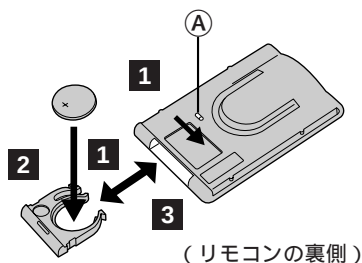
RM-V705（付属）

- 1 ①の部分にボールペンなどを差し込み、電池取り付け部を矢印方向に引き出す
- 2 ボタン電池（CR2025）の+側を上にし、電池取り付け部にのせる
- 3 電池取り付け部を矢印方向にカチッと音がするまで差し込む



RM-V706（別売）

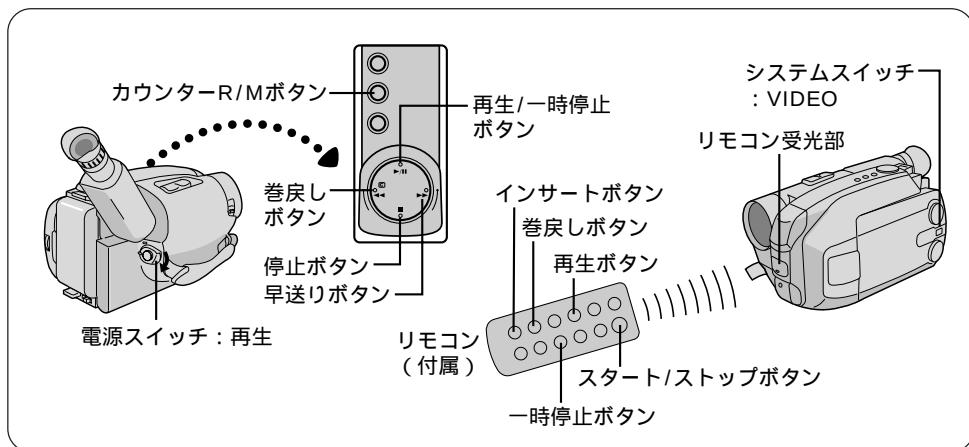
- 1 ①の部分にボールペンなどを差し込み、スライドさせながら電池取り付け部を矢印方向に引き出す
- 2 ボタン電池（CR2025）の+側を上にし、電池取り付け部にのせる
- 3 電池取り付け部を矢印方向にカチッと音がするまで差し込む



D.S.C. からテープへのインサート

撮影済みのテープに、D.S.C. の画像を挿入（インサート）することができます。D.S.C. 画像のメモリーバックアップとしても使えます。

インサート編集は付属のリモコン（☞86 ページ）を使用しておこないます。



1

システムスイッチを
VIDEO にする

- 電源スイッチを '再生' にします。

2

テープを再生し、インサート編集を終える場面まで
ムービーを一時停止させる

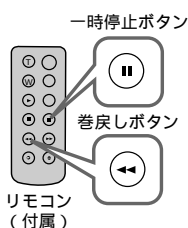
3

カウンターメモリーをする

- カウンター R/M ボタンを 1 秒以上押し、テープカウンターが 0 : 00 : 00 になったら、もう一度カウンター R/M ボタンを軽くポンと押します。
- テープカウンターが M0 : 00 : 00 になります。

4

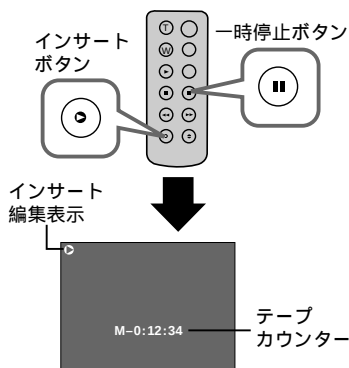
インサート編集を開始する場面まで
テープを巻き戻し、
一時停止ボタンを押す



5

リモコンの
インサートボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

- 液晶画面またはファインダー内に、インサート編集表示とテープカウンターが表示されます。



6

システムスイッチを
D.S.C. にする

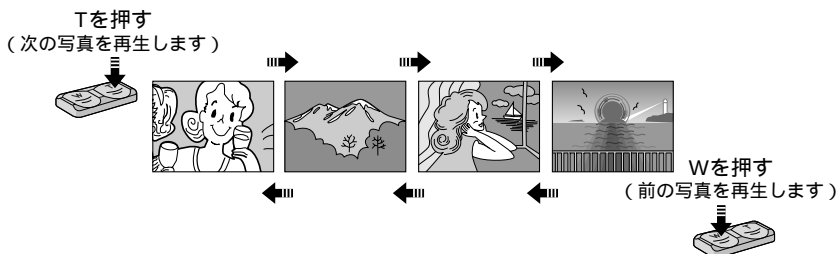
7

インサートしたい画像を選ぶ

- ムービーのズームボタン（TまたはW）を押して希望の画像を選びます。

T：次の画像を再生します。

W：前の画像を再生します。



8

リモコン、またはムービーのスタート/ストップボタンを押して、選択したメモリーの画像をインサートする

- 再度スタート/ストップボタンを押すとインサートがストップします。
- 手順⑦～⑧を繰り返して必要な画像をテープにインサートします。
- テープカウンターがM0:00:00になると自動的に編集が終わります。

9

停止ボタンを押して、インサート編集を終了する

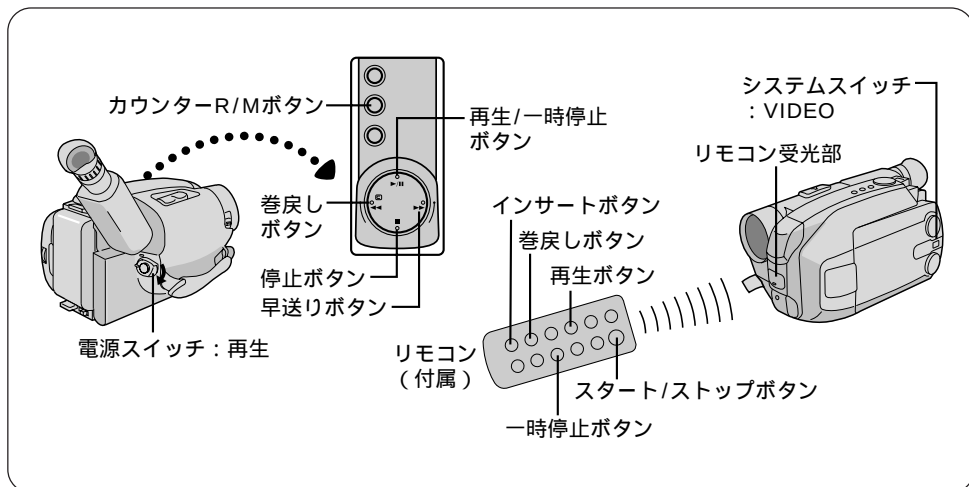
編集
集結



- SP/EPの設定に関係なく、編集するテープと同じ録画モードになります。
- こんなときはきれいにインサート編集できません。
テープの無記録部分でインサート編集すると、映像や音声がかかります。

映像を入れかえる（インサート編集）

撮影済みのテープに、後でタイトルなど別の場面を挿入（インサート）することができます。タイトルを書いた紙などを用意してからインサート編集を行ってください。インサート編集は付属のリモコン（☞86 ページ）を使用しておこないます。



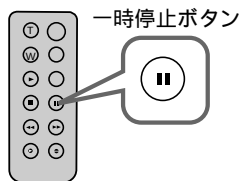
1

システムスイッチを
VIDEO にする

- 電源スイッチを ' 再生 ' にします。

2

テープを再生し、インサート編集を終える場面で
ムービーを一時停止させる

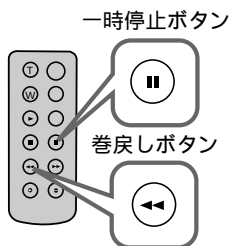


リモコン（付属）

3

カウンターメモリーをする

- カウンター R/M ボタンを 1 秒以上押し、テープカウンターが 0 : 00 : 00 になったら、もう一度カウンター R/M ボタンを軽くポンと押します。
- テープカウンターが M0 : 00 : 00 になります。



4

インサート編集を開始する場面まで
テープを巻き戻し、一時停止
ボタンを押す



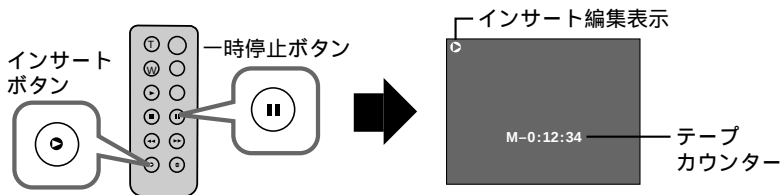
インサート編集集中画面に演出効果を加えた
いときは ☞54 ページをご覧ください。

5

リモコンの

インサートボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

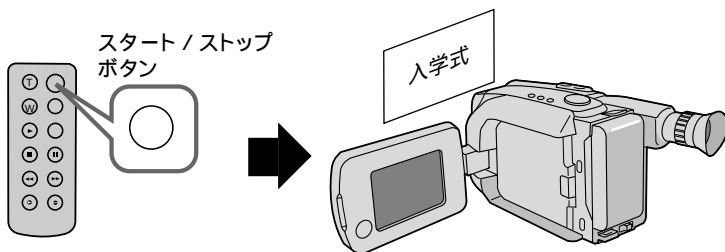
- 液晶画面またはファインダー内にインサート編集表示とテープカウンターが表示されます。



6

リモコン、またはムービーのスタート/ストップボタンを押して、用意してあるタイトルなどをインサートする

- 再度スタート/ストップボタンを押すとインサートがストップします。
- テープカウンターが M0 : 00 : 00 になると自動的に編集が終わります。



7

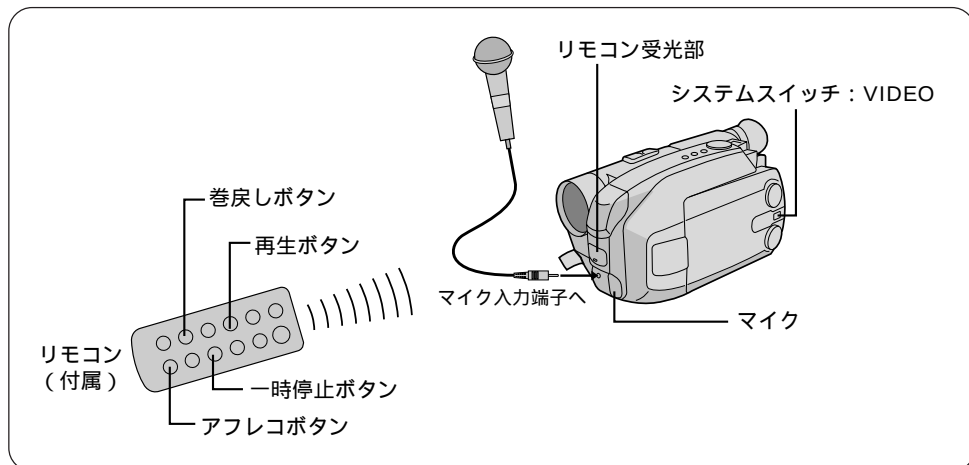
停止ボタンを押して、インサート編集を終了する

編集
集結

- SP/EPの設定に関係なく、編集するテープと同じ録画モードになります。
- こんなときはきれいにインサート編集できません。
テープの無記録部分でインサート編集すると、映像や音声がかかります。

音声を入れかえる（アフレコ編集）

録画したテープの音声を入れかえることができます。（ナレーションなど）アフレコ編集は、付属のリモコン（☞86 ページ）を使用しておこないます。



1

システムスイッチを
VIDEO にする

- 電源スイッチを '再生' にします。

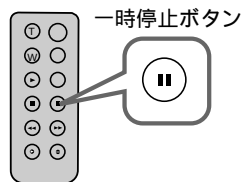
2

テープを再生し、アフレコ編集を終える場面で
ムービーを一時停止させる

3

カウンターメモリーをする

- カウンター R/M ボタンを 1 秒以上押し、テープカウンターが 0 : 00 : 00 になったら、もう一度カウンター R/M ボタンを軽くポンと押します。
- テープカウンターが M 0 : 00 : 00 になります。



リモコン（付属）

4

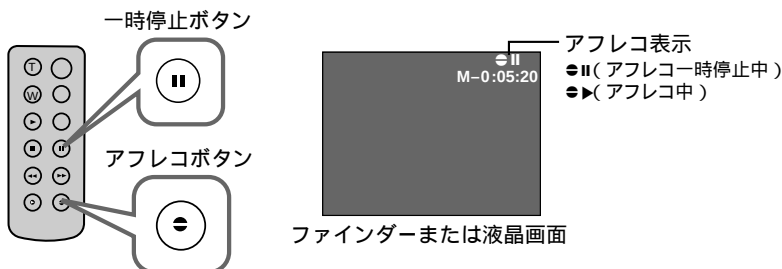
アフレコ編集を開始する場面まで
テープを巻き戻し、一時停止
ボタンを押す

5

リモコンの

アフレコボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

- 画面にアフレコ編集表示が表示されます。

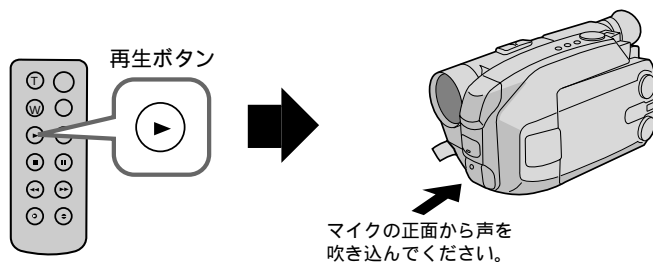


6

リモコンの

再生ボタンを押し、ムービーのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む

- アフレコ編集が始まり、吹き込んだ声が記録されます。
- 一時停止ボタンを押すとアフレコ編集がストップします。再開したいときは再生ボタンを押してください。
- テープカウンターが M0:00:00 になると自動的に編集が終わります。



7

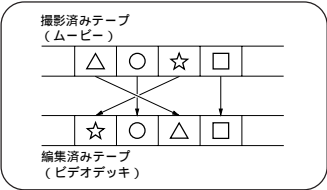
停止ボタンを押して、アフレコ編集を終了する



別売のモノラルマイクを使ってアフレコ編集したいときは
ムービーのマイク入力端子 (➡ 92 ページ) にマイクを接続してナレ
ーションなどを吹き込みます。

ビデオを自動で編集する（自動編集）

撮影済みのビデオの中から好きな場面を8場面まで選んで、ビデオデッキのテープに自動的にダビングすることができます。自動編集は、ムービー、および別売のリモコン（86ページ）とご家庭のビデオデッキを接続しておこないます。



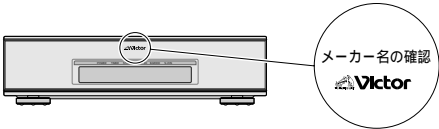
ビデオデッキをリモコンに登録する

自動編集では、別売のリモコンを使用してご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、自動編集を行う前に、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。ビデオデッキをリモコンに登録しておく、自動編集以外でもリモコンでご家庭のビデオを操作できるようになります。

1 ビデオデッキの電源を切る



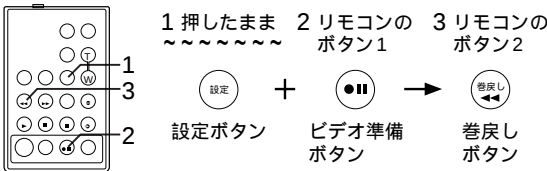
2 ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する



3 設定ボタンを押したまま「メーカー別リモコン設定表」(次ページ)に
対応したボタンを順番に押す

- ビデオデッキの電源が入れば設定終了です。
- 同じメーカーでも信号の種類は複数あります。
- 「リモコン信号 A」でビデオデッキが反応しないときは、「リモコン信号 B」「リモコン信号 C」... の順でボタンを押してください。

例：ビクター（リモコン信号 A）の場合



リモコン登録後のビデオの操作方法

ビデオボタンを押したまま、ビデオ操作ボタンを押します。

ビデオボタン

リモコン RM-V706（別売）

リモコンメーカー設定表

メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2	対応機種
ビクター	A	ビデオ準備	巻戻し	全機種
	B	ビデオ準備	停止	
	C	ビデオ準備	ビデオ	
アカイ	A	停止	早送り	'85～'86 発売全機種
	B	停止	再生	
	C	ここから/ここまで	ここから/ここまで	
サンヨー	A	ビデオ	停止	'83～現行機種
	B	ビデオ	一時停止	
	C	ビデオ	入/切	
	D	ここから/ここまで	ビデオ準備	
シャープ	A	巻戻し	一時停止	'85～現行機種
	B	巻戻し	入/切	
ソニー	A	停止	一時停止	全機種
	B	停止	入/切	
	C	ビデオ	ビデオ準備	
	D	ビデオ	巻戻し	
東芝	A	停止	ビデオ準備	'84～現行機種
	B	停止	巻戻し	
NEC	A	ビデオ	ここから/ここまで	'85～現行機種
	B	ビデオ	修正	
日立	A	停止	停止	'84～現行機種
	B	停止	ビデオ	
フナイ	A	ここから/ここまで	ビデオ	'92～現行機種
松下	A	巻戻し	ビデオ	'82～現行機種
	B	巻戻し	ここから/ここまで	
	C	巻戻し	巻戻し	
	D	ビデオ準備	再生	
	E	巻戻し	修正	
三菱	A	停止	ここから/ここまで	'85～現行機種
	B	停止	修正	



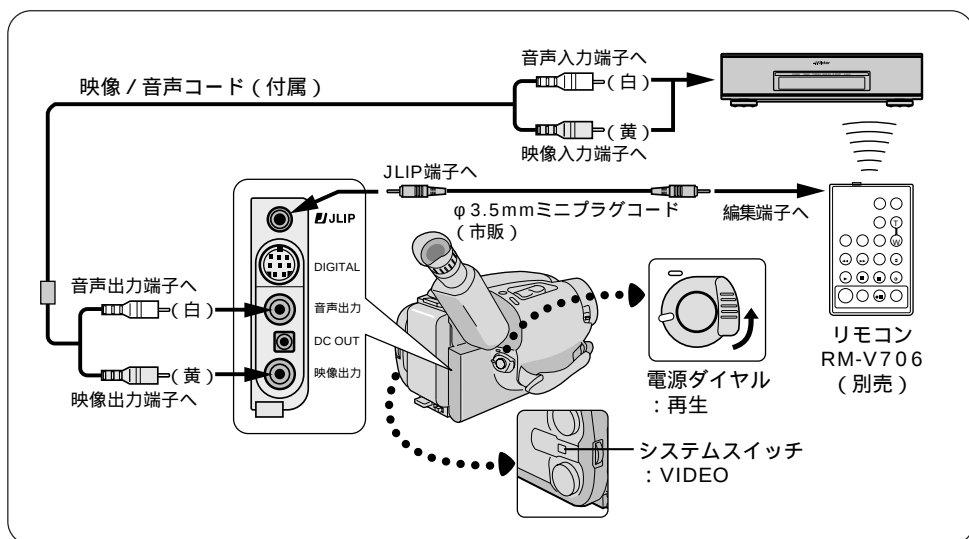
- ・リモコンのボタン電池がなくなったときは
設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。ボタン電池
を交換してメーカー設定をやり直してください。
- ・リモコンでビデオデッキを操作できないときは
機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないも
のや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

接続と編集（つづき）

好きな場面を選んでダビングする

撮影済みのビデオの中から好きな場面を8場面まで選んで、ビデオデッキのテープに自動的にダビングします。

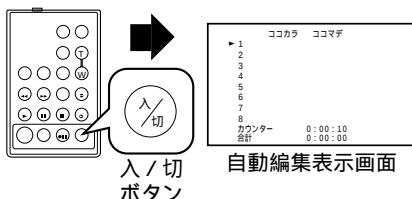
- ・別売リモコンRM-V706にビデオデッキのメーカーを登録してからおこなってください。（☞94ページ）
- ・映像／音声コード（付属）には、ノイズフィルターを取り付けてください。（別紙「ノイズフィルターの取り付け方」参照）
- ・市販のφ3.5mmミニプラグコードをお買い求めください。



1

自動編集の準備をする

- ・ムービーと別売リモコンRM-V706、およびご家庭のビデオデッキを上図のように接続し、電源を入れます。
- ・撮影済みテープをムービーに、ダビングするテープをビデオデッキに入れます。
- ・ビデオデッキを外部入力にします。（☞83ページ）



2

リモコンの再生ボタンを押し

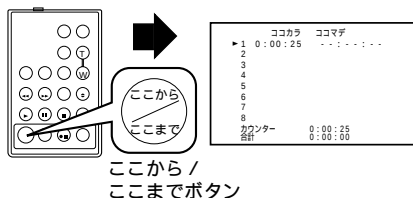
自動編集の入／切ボタンを押す

- ・再生がはじまり、液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。

3

早送りや巻き戻しをして編集をはじめたい場面を表示させ
リモコンのここから / ここまでボタンを押す

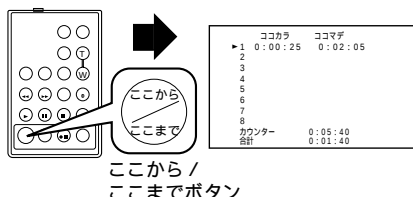
- ムービーの液晶画面やテレビに編集開始場面のカウンターが表示されます。



4

ムービーの液晶画面やテレビに編集終了場面の映像を表示させ
リモコンのここから / ここまでボタンを押す

- ムービーの液晶画面やテレビに編集終了場面のカウンターが表示されます。



5

手順 ③、④ を繰り返して自動編集したい場面を登録する

- 画面を見ながら、巻戻しボタンや早送りボタンを使って録画したい場面を探し、はじめと終わりで、'ここから / ここまで' ボタンを押します。設定画面に 'ここから' と 'ここまで' の各カウンター値が表示されます。
- 'ここから' と 'ここまで' は場面 1 ~ 場面 8 の 8 つまで設定できます。'ここから' と 'ここまで' の間隔は 15 秒以上あけてください。
- テープの無記録部分には設定できません。
- 設定を間違えたときは、リモコンの修正ボタンを押してください。下から順に設定したカウンター値が消えます。
- 途中で編集をやめたいときはリモコンの入 / 切ボタンを押してください。設定画面が消え、通常の画面になります。

	ココカラ	ココマデ
1	0:00:25	0:02:05
2	0:07:18	0:08:31
3	0:03:33	0:05:53
4	0:09:30	0:13:15
5	0:15:55	0:16:10
6		
7		
8		
カウンター	0:16:20	
合計	0:09:17	

編集
集続

接続と編集（つづき）

好きな場面を選んでダビングする（つづき）

6

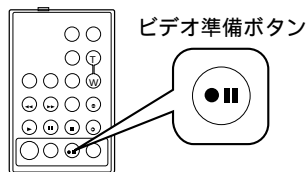
最初に登録した場面1の付近までテープを巻き戻し、ムービーを一時停止する

- リモコンやムービーの巻き戻しボタンでテープを巻き戻し、一時停止ボタンを押します。

7

ビデオデッキのリモコン受光部に向けて
リモコンのビデオ準備ボタンを押す

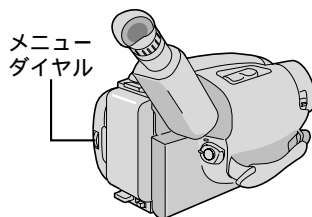
- ビデオデッキが録画一時停止になります。一時停止にならないときは、手動でビデオデッキを操作して録画一時停止にしてください。



8

ムービーのメニューダイヤルを押す

- 自動編集が始まり、指定した場面を最後まで自動的にダビングします。ダビングが終了するとムービーが一時停止し、ビデオデッキは録画一時停止状態になります。



9

ムービーとビデオデッキを停止させ、編集を終了する

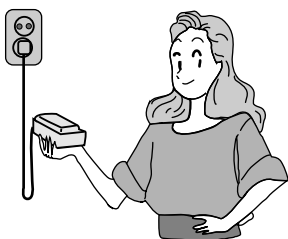


- 編集したい場面を早く探したいときは ➡ 71 ページ
- 自動編集の登録場面を修正したいときは
リモコンの「修正ボタン」を押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。



- ビデオデッキを別売リモコン RM-V706 で操作するときは
リモコンをビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。
- こんなときは自動編集できません
- 編集終了場面のカウンターの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。
- 編集終了場面と開始場面までの早送り時間がビデオデッキの一時停止可能時間(当社の場合約 5 分以内)
を超えるときは、自動編集できません。
- リモコンのプログラム編集入 / 切ボタンを押して ' 切 ' にしたときは、自動編集に登録した内容すべてが
消えてしまいます。
- 編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック (青い画面) を記録してしま
うことがあります。
- 自動編集中にムービーを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。
- 編集終了場面を決めずにダビングしたときは
テープの最後まで自動的にダビングします。

海外でお使いになるには



このムービーは海外でもお使いになれます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。AC パワーアダプターを使ってバッテリーの充電をするために、訪問国のコンセントに合った変換プラグを空港内売店などでお買い求めください。くわしくは旅行代理店にご相談ください。



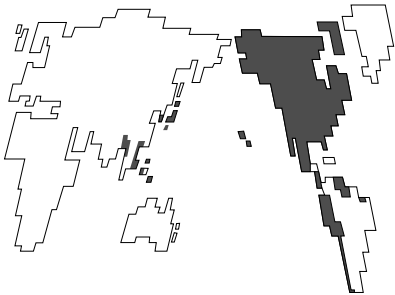
コンセントの形状					
使用する変換プラグ	AC/パワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。主に北米、南米など				
		主にオーストラリア	主にヨーロッパ		

現地のテレビで見るとは撮影したテープをテレビで見るとは、NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。

再生できるテープはこのムービーで再生できるのは、日本と同じ NTSC 方式で撮影したテープです。

海外で万一故障した場合はお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。(海外でのアフターサービスについてはご容赦ください。)

日本と同じ NTSC 方式の国です

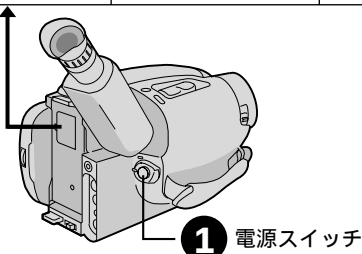
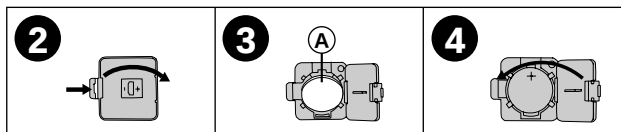


- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアム
- 韓国
- チリ
- ドミニカ
- トリニダード・トバゴ
- ニカラグア
- パミューダ
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- グアテマラ
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- バルバドス
- ミャンマー
- ベトナム
- フィリピン
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- メキシコ
- 台湾

ボタン電池(時計用)を入れかえる

時計用電池の交換

日時や文字入力記憶を保つために必要です。お買い上げ時はすでに取り付けられています。電池の容量がなくなると、ムービーの電源を入れたとき、液晶画面またはファインダー内に時計表示  が 10 秒間点滅します。ボタン電池を交換してください。



ご注意ください

電池は幼児の手の届かないところにおいてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

1

電源を切る

電源スイッチを「切」にし、バッテリーなどの電源をムービーからはずしてください。

2

電池取り付け部のフタを開ける

矢印方向へ押しながら開けます。

3

ボタン電池を入れかえる

古いボタン電池を取りはずし、新しいボタン電池を + 側が見えるように入れます。取りづらい時は、先の細い金属以外のものを (A) の部分に差し込んで取り出してください。

4

電池取り付け部のフタを閉める

矢印方向へ閉めます。交換後は日時を合わせ直してください。

その他



電池を交換する時期は

- お買い上げ時に取り付けられているのはサービス電池ですので、長くもたないことがあります。
- 電池の容量が無くなると、ムービーの電源を入れたとき、液晶画面またはファインダー内に時計表示  が点滅します。

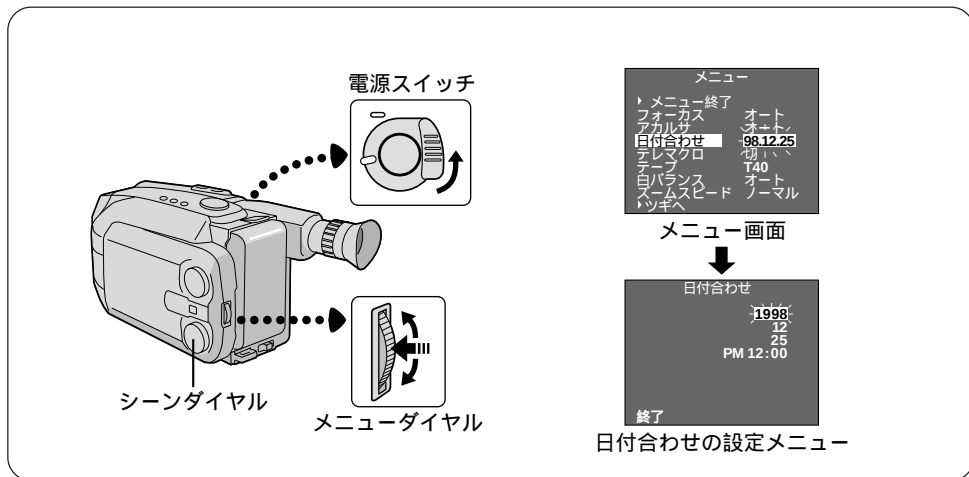
電池を交換するときは

- ボタン電池 (CR2025) を最寄りの電気店またはカメラ店などでお求めください。
- ‘安全上のご注意’ (8 ~ 17 ページ) のボタン電池についての注意文もよく読みください。

日時を合わせる

時計合わせ

お買い上げ時は、すでに日時を合わせてあります。ボタン電池（時計用）を入れかえたときなど（☞101 ページ）は合わせ直してください。



1

メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを「撮影」にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

2

日付合わせを選ぶ

- メニューダイヤルを回して「日付合わせ」を選びます。
- メニューダイヤルを押します。（日付合わせの設定メニューが開きます。）



日付合わせの設定メニュー

3

修正する年月日または時間を選ぶ

- メニューダイヤルを回して修正する項目（年または月、日、時間）にカーソル（白い帯）を合わせます。
- メニューダイヤルを押します。（選択した項目が点滅します。）

4

年月日または時間を修正する

- メニューダイヤルを回して正しい数字に合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

時間修正の場合は最初に時を修正して、メニューダイヤルを押し、次に分を修正します。

間違えたときは手順 ③ からやり直してください。

5

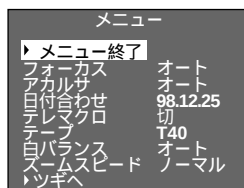
日付修正を終了させる

- メニューダイヤルを回して'終了'に合わせます。
- メニューダイヤルを押します。
(メインメニューに戻ります。)

6

メニューを閉じる

- メニューダイヤルを押します。
(カーソルが'メニュー終了'に来ている時に押します。)



102, 103 ページのメニュー表示は、システムスイッチが'VIDEO' のときの表示です。'D.S.C.' でも時計合わせは可能です。



日時を入れて撮る

撮影をするときの画面上の日時は、表示のしかたを、オートデート、日付、時間、日時の中から選ぶことができます。

(☞ 44 ページ)

故障かな？と思ったら

このムービーはマイコンを使用しています。

雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。

そんなときはムービーから電源（バッテリー、ACパワーアダプターなど）およびボタン電池を一度はずしてしばらく置き、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

D.S.C.（デジタルスチルカメラ）については  106 ページをご覧ください。

症状	処置	ページ
電源		
電源が入らない	● バッテリーが充電されているか、確かめてください。 ● 電源が正しく接続されているか、確かめてください。	26 26 ~ 28
電源が突然切れて入らない	● バッテリーの容量がなくなっていないか確かめてください。 ● テープを取り出し、バッテリーなどの電源およびボタン電池をはずして数分待ち、電源を入れてください。それでも電源が入らない場合はお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。 ● バッテリーの容量が少ないとビデオライトがついたときにバッテリーアラーム表示（ 25 ページ）が点滅していても電源が切れることがあります。	26 43
撮影		
撮影ができない	● ツメなしテープで撮影していないか、確かめてください。 ● 電源スイッチが '再生' になっていないか、確かめてください。 ● 電源スイッチを '撮影' 側に合わせてからスタート/ストップボタンを押してください。	33 34 34
自動でピントが合わない	● フォーカスが手動になっていないか確かめてください。 ● 暗いところや明暗差のないものを撮影すると合わないことがあります。手動で合わせてください。 ● ファインダーのピントを合わせてあるか確かめてください。 ● レンズが汚れていると、ピントが合わないように見えます。やわらかい布などでよくふき取ってください。	56 56 31 -
日時やタイトルが液晶画面またはファインダーに出ない	● 日時表示の設定が、'表示なし' になっていないか確認してください。 ● ボタン電池が入っているか、また容量が残っているか確認し、日時を合わせ直してください。	44 100 ~ 103
ファインダーに画像が表示されない	● 液晶画面を閉じてください。 ● ムービーの節電とテープ保護のため約 5 分間一時停止をおこなうと自動的に電源が切れます。電源を入れるときは、電源スイッチを一度 '切' にしてから再度 '撮影' に合わせてください。	34
手振れ補正が働かない	● 手振れ補正が '切' になっていないか確認してください。	43

症状	処置	ページ
撮影		
液晶画面の映像が暗い、または白くなる	● 液晶画面の明るさを調節してください。 ● 寒い場所で画像を再生していませんか？寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ● 液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	30
再生		
画像が出ない	● 電源をもう一度入れ直してください。 ● 映像 / 音声入力端子つきテレビの場合は、テレビのチャンネルを 'ビデオ' にしてください。(テレビのチャンネルがビデオ専用チャンネル 1 か 2 以外になっていませんか。)	70 82 ~ 83
画面にノイズが出る	● トラッキング調節をしてください。 ● ビデオヘッドが汚れ、または摩耗しています。クリーニングカセット TCC-2 (別売) で清掃してください。	71 19
早送り、巻戻し中に途中でテープが止まる	● カウンターメモリーされていませんか。	71
再生、早送り、巻戻しができない	● 電源スイッチが '再生' 側になっているか確かめてください。 ● テープが早送り、巻戻しを完了していないか、確かめてください。 ● システムスイッチが 'VIDEO' 側になっているか確かめてください。	70
その他		
テープが取り出せない	● バッテリーが充電されているか、確かめてください。	26
いろいろな機能が使えない	● シーンダイヤルを 'オート' 以外に合わせてください。	40
被写体に強い光が入ると縦に白い線が出る	● 大きなコントラストの違いによる現象で、故障ではありません。	-
画面上にひし型や三角形の光が写る	● 太陽が正面や斜め上前方にあると写ります。太陽光がレンズに入らないよう、ムービーの向きやズームを少し動かしたり、レンズの上に手をかざしたりしてみてください。	-
レンズや液晶画面が、指紋などで汚れてしまった	● やわらかい布で、あまり力を加えずに汚れをふき取ってください。また、かたい布などでこすらないでください。キズがついたり割れたりすることがあります。	-

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	処置	ページ
その他		
記憶したタイトルや日付が消えてしまった	● 電源を切らずにバッテリーなどの電源を取りはずすと、記憶したタイトルや日付が消えてしまいます。取りはずすときは、必ず電源を切ってください。	-
液晶画面またはファインダー内に見れないマークが出た	● '液晶画面とファインダー内の表示'をご覧ください。	24
液晶画面またはファインダー内に E03 などの表示が出た	● 拡大故障を防ぐため操作ができなくなります。テープを取り出しバッテリーをはずして数分待ち、表示が消えてからお使いください。表示が消えない場合は、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。	-
ニューダイヤルを押してもメニューが表示されない	● シーンダイヤルを 'オート' 以外に合わせてください。	40
ビデオライトがついたり消えたりする	● ライトスイッチが 'オート' になっていると周囲の明るさによってはついたり消えたりします。'入'または'切'のどちらかにセットしてください。	43
液晶画面に表示むらが出る	● 液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくで元に戻ります。	-
液晶画面に小さな点や黒い点が出る	● 液晶画面は非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。	-

D.S.C. モードの場合

症状	処置	ページ
撮影		
記録したタイトルや日付が消えてしまった	● D.S.C. モードでは、日付やタイトルは、記録されません。 ● システムスイッチを 'VIDEO' にして記念写真を撮れば表示したままテープに記録されます。	45 38
撮影したはずの記念写真がメモリーに記憶されていない	● 記念写真残量表示が 0 になって点滅していませんか？ 0 になってもシャッターは切れます。システムスイッチを 'VIDEO' にして記念写真を撮れば、テープとメモリーの両方に記録できるため、記念写真残量表示が 0 でもテープには記録されます。	37 39

症状	処置	ページ
撮影		
撮影できない	● 電源スイッチが '再生' になっていませんか？ '撮影' に切り替えてください。	36
シーンダイヤルで 'セピア' を選択して撮ったのに白黒で撮れている	● D.S.C. モードでは 'セピア' を選択しても白黒で記憶されます。どうしてもセピアで撮りたいときはシステムスイッチを 'VIDEO' にして記念写真を撮ってください。セピアの画像がテープに記録されます。	55
再生		
再生されない	● VIDEOモードになっていませんか？ システムスイッチを 'D.S.C.' に切り替えてください。	73
ズームスイッチを押しても画像が切り替わらない	● VIDEOモードになっていませんか？ システムスイッチを 'D.S.C.' に切り替えてください。	73
メニューダイヤルを押してもメニューが表示されない	● VIDEOモードになっていませんか？ システムスイッチを 'D.S.C.' に切り替えてください。	73
スライドショーが止まらない	● 故障ではありません。メニューダイヤルを押してください。	77
その他		
画像を削除できない	● プロテクトされていませんか？ プロテクトをはずしてから削除してください。	79
通信時エラー表示出る	● パソコンケーブルが正しく接続されていますか？ ● ソフトは正しくインストールされていますか？ ● 接続およびソフトについては付属のソフトの取扱説明書をご覧ください。	84
撮影した画像がメモリーの異常（エラーメッセージ）などで正しく記憶 / 再生できない	● メモリーをフォーマットしてください。 ● プロテクト画像も全て消去されます。	108

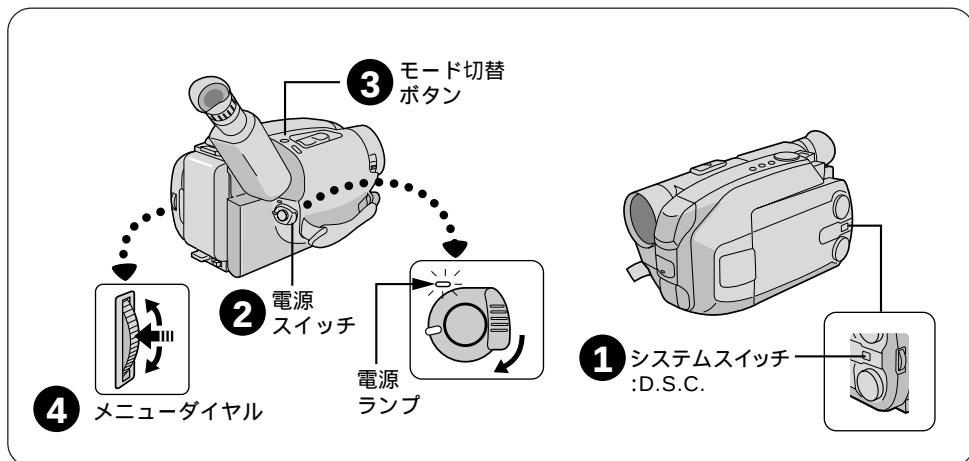
故障かな？と思ったら（つづき）

D.S.C. メモリーのフォーマット（初期化）

通常はフォーマットする必要はありません。

撮影した画像が再生できないなどの異常があったときにフォーマットします。

フォーマットすると、内蔵メモリーの画像はすべて削除されます。



① システムスイッチをD.S.C. にする

- D.S.C. モードにします。

② 電源を入れる

- バッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを「再生」にします。

③ モード切替ボタンを5秒以上押す

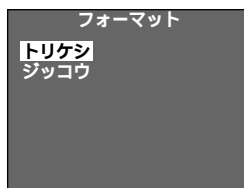
- フォーマットメニューが表示されます。



フォーマット中（「ジッコウ」が点滅中）に電源を切ったり、バッテリーやACパワーアダプターをはずしたりすると内蔵メモリーが壊れて使用できなくなる場合があります。

④ フォーマットする

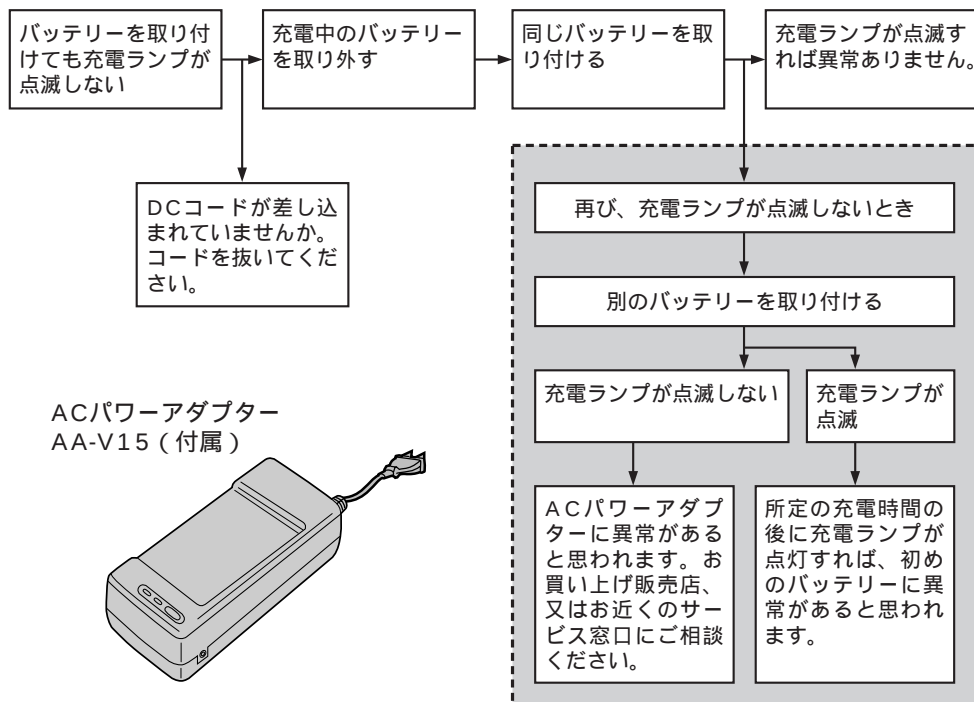
- メニューダイヤルを回して「ジッコウ」を選択します。
- メニューダイヤルを押します。（フォーマットが始まり「ジッコウ」が点滅します。）
- フォーマットが完了すると、ブルーバック画面になります。



フォーマットメニュー画面

AC パワーアダプターの点検

AC パワーアダプター AA-V15（付属）のランプが点滅したり、点灯しなくなったときは異常が考えられます。次の手順でご確認ください。



購入直後のバッテリーや、長期放置したものは、最初の充電のときに充電ランプが点滅しないことがあります。バッテリーを取りはずし、もう一度充電してください。充電後、充電ランプが点滅から点灯に変わったら、そのバッテリーは正常です。

その他

主な仕様

ビデオムービー

電源	: DC6V
消費電力	: 6.6 W(ファインダー使用時) 6.9W(液晶画面使用時) 7.6W(ファインダーと液晶画面使用時) 2.9W(ビデオライト)
信号方式	: NTSC日米標準信号
録画方式	: VHS 規格
使用テープ	: VHS (S-VHS)マーク付のもの
テープ速度 (SP)	: 33.35 mm/秒
(EP)	: 11.12 mm/秒
録画時間 (SP)	: 最大 40分(TC-40使用時)
(EP)	: 最大 120分(TC-40使用時)
早送り・巻戻し時間	: 約6分(TC-40使用時)
レンズ	: f=3.8 ~ 83.6 mm F1.6 光学22倍、総ズーム44倍(デジタルズーム使用時) フィルター径46φ
ファインダー	: 0.5型白黒液晶ファインダー
液晶画面	: 3型、TFT LCDパネル
記憶メディア	: 内蔵フラッシュメモリー、1MB
圧縮方式	: JPEG(準拠)
画質	: ファイン/スタンダード
撮影可能枚数	: ファイン22枚、スタンダード44枚
白バランス調整	: 自動/手動
アイリス	: 自動
映像出力	: 1 Vp-p(75 Ω不平衡)

音声出力	: -8 dBs(Low)
デジタル	: ミニDIN 8ピン
JLIP	: Φ3.5mm 4極 小型単頭ジャック
マイク	: モノラル
許容動作温度	: 0 ~ 40
許容相対湿度	: 35 ~ 80 %
許容保存温度	: -20 ~ 50
外形寸法	: 幅116×高さ117×奥行き242 mm
質量	: 撮影時質量 約1,270 g (バッテリーBN-V12、コンパクトビデオテープTC-40、ショルダーストラップ、本体約1020g)
付属品	: ・ACパワーアダプター AA-V15×1 ・DCコード×1 ・バッテリーBN-V12×1 ・映像/音声コード×1 ・ボタン電池(CR2025)×1 (本体の電池は取り付け済みです。) ・リモコン(RM-V705)×1 ・カセットアダプター(C-P6)×1 ・CD-ROM×1 ・パソコン接続ケーブル×1 ・ショルダーストラップ×1 ・ノイズフィルター×2

部分は、D.S.C. の仕様です。

バッテリーについて

充電 / リフレッシュ時間

バッテリー	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約 1 時間 10 分	約 3 時間 30 分
BN-V15	約 1 時間 25 分	約 5 時間
BN-V22	約 2 時間 10 分	約 7 時間
BN-V25	約 2 時間 40 分	約 10 時間
BN-V50	約 2 時間 50 分	約 8 時間 30 分
BN-V65	約 2 時間 10 分	約 7 時間

ACパワーアダプターAA-V15(付属)使用の場合

- ・リフレッシュ時間は、容量いっぱいまで充電した状態からの目安です。

連続撮影時間

バッテリー	液晶画面入 / ファインダー切	液晶画面切 / ファインダー入	液晶画面入 / ファインダー入
BN-V12	50 (35) 分	50(35)分	45(30)分
BN-V15	70 (45) 分	70(50)分	60(45)分
BN-V22	105 (75) 分	110(75)分	95(70)分
BN-V25	145 (100) 分	150(105)分	130(95)分
BN-V50	135 (90) 分	140(95)分	120(85)分
BN-V65	105 (75) 分	110(75)分	95(70)分



使用するバッテリーは6Vです。
BN-V12、V15、V22、V25、V65 はニカド電池、BN-V50 はニッケル水素電池です。

保証とアフターサービス

保証書(別途添付しています)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間で。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオムービーの補修用性能部品の、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」(104～105ページ)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは(持込修理)

104～109ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
万一本機およびコンパクトビデオテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	ビデオムービー
型名	GR-AXM700
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	() -

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検



●長年ご使用のビデオムービーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか

- 再生しても映像や音が出ない。
- 電源プラグ、コードが異常に熱い。
- 異常な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。
- その他の異常な故障がある。

➡

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオムービーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

その他

111

サ - ビス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはご購入の販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスを依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	T E L	所在地
北 海 道			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005 札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032 苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012 旭川市神居2条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037 北見市山下町4-7-19
	釧路S.C.	(0154)24-0797	085-0036 釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806 帯広市東六条南12-11
函館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東 北			
青 森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844 青森市森木4-6-17
	弘前S.S.	(0178)44-4521	031-0804 八戸市青葉2-21-2
	八戸S.S.	(0172)28-0165	036-8084 弘前市高田1-13-1
岩 手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835 盛岡市津志田12地割字新田堀94番地1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815 水沢市天文台通り3-12
秋 田	秋田S.C.	(0188)24-3189	010-0953 秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874 秋田市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064 横手市赤坂字大道向3-6
宮 城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011 仙台市若林区六丁目の西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853 石巻市龍ヶ崎四番谷地8-18
山 形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412 山形市山形3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842 酒田市竜ヶ崎2-6-50
福 島	郡山S.C.	(0249)52-6331	963-0205 郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034 いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022 会津若松市滝沢町1-5
福 島 S.S.	(0245)53-9437	960-0103	福島市内本字南原26-1
関 東 圏			
新 潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(025)241-4003	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084 新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012 長岡市下丁条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081 上越市五智1-11
佐 渡 S.S.	(0259)57-3127	952-1314	佐渡郡佐和田町河原田本町177
長 野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(026)221-7607	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913 長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837 松本市鎌田2-3-50
群 馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(027)255-5982	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854 前橋市大渡町1-19-1
栃 木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(028)635-2938	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864 宇都宮市吉住町17-9
茨 城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(03)5803-2888	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0051 土浦市真鍋6-1-25
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836 水戸市元吉田町1077
山 梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(0552)27-5773	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府S.S.	(0552)37-4016	400-0864 甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	T E L	所在地
千 葉			
千 葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(03)5803-2888	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001 千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000 木更津市清見台2-1-3グレイスビル1F
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863 柏市豊四季512-10-67
浦 安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当島2-13-27
東 京			
東 京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(03)5803-2888	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021 東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014 東京都練馬区豊玉南1-19-1
大 田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
八 王 子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
【業務用機器専門】のご相談窓口			
【出張サービスセンター】	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼 玉			
埼 玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(03)5803-2888	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037 大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(0485)53-5105	361-0057 行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106 川越市小室491-1
神 奈 川			
神 奈 川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	【出張サービスセンター】	(03)5803-2888	113-0033 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028 横浜市中区笠町1-3-1
	横浜S.S.	(0468)34-9261	239-0831 横浜貿易区久里浜6-6-4
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024 川崎市宮前区南平3-2(第2石原ビル)
平 塚 S.C.	(0463)23-2687	254-0033	平塚市若松町4-9(木村ビル)
小田原S.S.	(0465)24-0681	250-0004	小田原市浜町4-1-12
相 模 原 S.C.	(0427)76-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静 岡			
静 岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006 静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041 沼津市岡井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041 浜松市北島町785
東 海 ・ 北 陸			
愛 知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041 西春日井郡西春日町九之坪鴨田121-1
	豊橋S.S.	(0564)26-1005	444-2133 岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853 豊橋市佐藤5-19-1
岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三 重	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
津 S.S.	(0592)29-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富 山 S.C.	(0764)25-2397	930-0083	富山市総曲輪4-3-5
石 川 S.C.	(0762)31-5242	920-0867	金沢市長士郷2-1-27
福 井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開3-2-11

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0998

都府県名	拠 点 名	T E L	☎	所 在 地	都府県名	拠 点 名	T E L	☎	所 在 地					
近 畿					中 国									
滋 賀	【サービス関連全て】のご相談窓口				岡 山	岡 山 S.C.	(086) 243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23					
	滋 賀 S.S.	(0775) 82-5812	524-0033	守山市浮気町268		広 島	島 S.C.	(082) 243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17				
京 都	【出張修理専門】のご相談窓口				広 島	福 山 S.S.	(0849) 31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15					
	大 阪 S.C.	(06) 304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28		山 口	山 口 S.C.	(0839) 73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28				
京 都	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				山 口		徳 山 S.S.	(0834) 27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35				
	京 都 S.C.	(075) 313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91		下 関 S.S.	(0832) 51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23					
京 都	【サービス関連全て】のご相談窓口				四 国									
京 北	福知山 S.S.				(0773) 22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2	香 川	高 松 S.C.	(0878) 66-1200	761-8057	高松市田村町205-1		
	【出張修理専門】のご相談窓口				大 阪 S.C.	(06) 304-5731	532-0027		大阪市淀川区田川2-4-28	徳 島	徳 島 S.C.	(0886) 22-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
奈 良	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				大 阪	大 阪 S.C.	(06) 304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	高 知	高 知 S.S.	(0888) 82-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
	奈 良 S.S.	(07442) 4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2		松 山 S.C.	(0899) 23-0372	791-8015	松山市中央1-4-12					
大 阪	【出張修理専門】のご相談窓口				大 阪	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40	愛 媛	新居浜 S.S.	(0897) 67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
	大 阪 S.C.	(06) 304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28		九 州・沖 縄								
大 阪	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				福 岡	福 岡 S.C.	(092) 431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1					
	大 阪 S.C.	(06) 304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28		久 留 米 S.C.	(0942) 39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192					
和歌山	【業務用機器専門】のご相談窓口				福 岡	北 九 州 S.C.	(093) 921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3					
	大 阪 S.C.	(06) 768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16		筑 豊 S.S.	(0948) 29-1146	820-0068	飯塚市片島2-22-27					
和歌山	【サービス関連全て】のご相談窓口				佐 賀	佐 賀 S.S.	(0952) 26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1					
	和歌山 S.S.	(0734) 72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8		長 崎	長 崎 S.C.	(095) 862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13				
兵 庫	【出張修理専門】のご相談窓口				大 分		佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2				
	田 辺 S.S.	(0739) 22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18		大 分 S.C.	(097) 543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2					
兵 庫	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				宮 崎	熊 本 S.C.	(096) 353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10					
	神 戸 S.C.	(078) 252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16		宮 崎	宮 崎 S.C.	(0985) 24-5401	880-0032	宮崎市露島町3-59				
兵 庫	【サービス関連全て】のご相談窓口				鹿 児 島		延 岡 S.S.	(0982) 35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3				
	明 石 S.S.	(079) 924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F		沖 縄	鹿 児 島 S.C.	(099) 267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28				
兵 庫	【出張修理専門】のご相談窓口				島 根		沖 縄 S.S.	(098) 898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16				
	姫 路 S.S.	(0792) 34-3833	670-0975	姫路市地中環町11-1		山 陰								
鳥 取	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)				鳥 取	(0852) 31-8900		690-0823	松江市西川津町1484-3					
	出雲営業所 サービス係					(0853) 21-4611		693-0001	出雲市今市町854					
鳥 取	出雲営業所 サービス係				鳥 取	(0855) 22-1584		697-0023	浜田市長沢町671-1					
	鳥取営業所 サービス係					(0857) 23-2151		680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1					

●海外でのビデオムービーの修理ご相談窓口

■北米・ハワイ■

カナダ JVC CANADA INC.

- ・ト ロ ン ト { 416-293-1311 }
- 21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA

- ・ア ト ラ ン タ { 770-339-2522 }
- 1500 Lakes Parkway Lawrenceville, GA 30243-5857
- ・サンフランシスコ { 415-871-2666 }
- 890 Dubuque Avenue, S. San Francisco, CA 94080-1804
- ・シ カ ゴ { 630-851-7855 }
- 705 Enterprise Street Aurora, IL 60504-8149
- ・ニュージャージー { 973-808-9279 }
- 107 Little Falls Road, Fairfield, NJ 07004-2105

- ・ヒューストン { 713-935-9331 }
- 10700 Hammerly, Suite 110, Houston, TX 77043
- ・ボ ス ト ン { 508-881-5923 }
- 230 Elliot Street, Ashland, MA 01721-2377
- ・ホ ノ ル ル { 808-833-5828 }
- 2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040
- ・マ イ ア ミ { 954-472-1960 }
- 8192 State Road 84, Davie FL 33324
- ・ロサンゼルス { 714-229-8011 }
- 5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
- ・ハリウッド { 310-659-5262 }
- 8764 Beverly Boulevard West Hollywood, CA 90048

(注)・ヨーロッパその他の地域ではテレビジョン方式の違い等の問題がありますので、おでかけの前に下記お客様ご相談センターにご相談ください。
・海外では日本の保証書は適用されませんので、修理は全て有料となります。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03) 5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル
	(06) 765-4161	543-0028	



こころのかよう
サービス

113

索引

あ

明るさ調節(画像の)	60
明るさ調節表示	25
アニメ撮影	66
アニメ表示	25
アフレコ編集	92
インサート編集	90
インサート編集(D.S.C. からテープ)	88
インデックス	76
液晶画面	35
液晶画面の表示	24
演出 / 効果	54
オート	40
オートデート	45
オートトラッキング	71
オール	80

か

海外で使う	100
カウンター	71
カウンターメモリー	71
鍵マーク	79
画質設定	36
カセットアダプター	72
カセット取出しスイッチ	33
カーバッテリーチャージャー (別売)	29
カメラリハーサル	35
画面の明るさ調節	30
カラーバー	63
感度アップ	50
感度アップ (AGC) 表示	50
記念写真ボタン	36
逆光のとき	60
クイックレビュー	42
グリップバンド	29
高速再生	71
高速シャッター	55
誤消去防止	33

さ

再生する	70
再生メニュー	74
削除	80
撮影一時停止	34
撮影一時停止表示	25
撮影の確認(クイックレビュー)	42
三脚取付け	31
視度調節リング	30
シネマ効果	47
充電	26
上手な充電	20
ショルダーストラップ	29
白バランス	58
白バランス表示	25
シーンダイヤル	40
シーンダイヤル表示	25
スタンダード	40
スピーカーの音量調節	30
スポーツ	55
ズームスイッチ	41
ズームスピードの設定	41
ズーム表示	25
スライドショー	77
静止画再生	71
接続	82
セピア	55
セルフタイマー	64
セルフタイマー表示	25
セレクト	80

た

タイトル	51
タイトル表示	25
タイムラプス撮影	68
対面撮影	41
ダビング	83
タリーランプ	34
つゆつき	18
テープオワリ表示	25
テープ残量表示	35
テープについて	33
テープの長さ表示	25
テープを入れる	33
テープの長さを選ぶ	32
デジタルズーム	63

デジタル端子	84
手振れ補正	43
デモモード	63
デリート	80
テレビで見る	82
テレマクロ	62
電源（コンセントで）.....	28
（車で）.....	28
（バッテリー）.....	26
時計表示	25
トラッキング	71
撮る姿勢	46

な

日時合わせ	102
日時表示	25
ネガポジ	55
ノイズが出たら	71

は

ハーフトーン	55
バッテリー	26
バッテリーアラーム	25
パッド	29
パンニング	46
日付 / 時計合わせ	102
ビデオライト	43
ピントを合わせる	56
ピンナップモード	37
ファインダー内の表示	24
ファインダーのピント合わせ	31
ファンタジー	55
フェーダー	48
フェーダー表示	25
フェードイン / フェードアウト	48
フォーカス表示	25
フォーマット	108
フルモード	37
プロテクト	78
ヘッドの汚れ	19
ボタン電池	101
ホワイトバランス(白バランス)	58

ま

マクロ撮影	41
メニューを使う	61,74

や

ヤケイ（夜景）.....	55
--------------	----

ら

リテイク	42
リフレッシュ	27
レンズカバー	34
録画表示	25
録画モード	32
録画モード表示	25

わ

ワイプ	48
ワイプイン / ワイプアウト	48

英数字

AC パワーアダプター	26
AGC	50
CD-ROM	14
DC コード	4
DSC 再生	73
JLIP ID NO.	63
MWB	58
NTSC 方式	100
RF ユニット（別売）.....	82
SP/EP モード	32



省エネで
守る環境
豊かな暮らし

故障かな？と思ったら

修理に出す前に104 ~ 109ページをご確認ください。

修理相談

「お買い上げ販売店」へご相談ください。

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼
にれない場合は 111ページの「保証とアフターサービス」
をお読みの上 112~113ページの「ビクターサービス窓口」
にご相談ください。

お買物相談

お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様
ご相談センター」にご相談ください。

東京お客様ご相談センター

 (03) 5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪お客様ご相談センター

 (06) 765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ

インターネット上にビクターのホームページを設けました。

ホームページアドレス

<http://www.jvc-victor.co.jp/>



JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)450-2550